

JSCLA

第11回日本臨床検査自動化研究会

EXHIBITORS' CATALOGUE

9/27-29,1979,OSAKA

第11回日本臨床検査自動化研究会 臨床検査自動化機器・試薬展示会開催にあたって

昭和54年度、第11回の自動化研究会を大阪で開催することになり、在阪の機器、試薬メーカー、商社の方々による展示業務会幹事会の大変な御努力によって、本年も盛大なる展示会が開催されることになりました。

本年の研究会はさらに規模が大きくなり、演題数も昨年の123題から175題に増加し、さらにシンポジウム1題、パネルディスカッション2題を含めると、2日間の会期では処理できず、例年の2会場を3会場での開催にふみきらざるを得なくなりました。同様に展示会も、出展メーカー、商社は昨年の65社から81社に増加し、会場面積も昨年の2,710㎡から3,123㎡と増設を余儀なくされ、それ以上の申込みには断わらざるを得なかったほどの盛況をみせております。大阪での開催は3回目ですが、4年前の第7回研究会では、現状の $\frac{1}{2}$ の会場面積で、満杯にするために出展の願いを重ねたことからみると、まさに昔日の感があります。

臨床検査の領域における学問、技術、業務の発展は、教育と研究とともにその基礎を形づくる機器、試薬の発展と自動化に負うところが非常に大きく、今回の臨床検査は、もはや自動分析装置、自動検査装置なくしては考えることができないまでになっています。その自動分析用の機器も、機器の側からの試薬の開発や、試薬あるいは分析法の側からの機器の開発があつたりして、両々相まって非常な発展をみせております。研究会、展示会の年々の盛況も、こうしたことのあかしでありましょう。

本年の研究会は、日本臨床化学会の臨床化学シンポジウムにひきつづき開催されますので、展示会も研究会前日より3日間の開催となりました。基礎あるいは臨床医学者と臨床検査領域の人達が、共に展示を参観することによって、日々の研究や業務に益することが多々あると思います。

最後に昨年より会場の確保、出展案内、配置、設営、搬入、搬出など、準備から撤去まで一年にわたって、多忙な社用の合間に御苦労いただいた業務会幹事ならびに諸関係者に心から感謝の意を表します。

昭和54年9月

第11回日本臨床検査自動化研究会

会長 林 長 蔵

第11回日本臨床検査自動化研究会

展示品目録（掲載品目は展示品目に限っております）

目 次

臨床化学分析機	1～28
1. 滲透圧計, 2. 分光々度比色計, 3. 電解質測定装置(炎光法), 4. 電解質測定装置(電極法), 5. 原子吸光々度計 6. デンシトメーター電気泳動装置, 7. クロマトグラフ, 8. 簡易分析装置, 9. 専用分析装置, 10. 多項目分析装置 11. 血球計数器, 12. 血液凝固測定器, 13. 血小板凝集測定器, 14. 赤血球抵抗測定器, 15. 血液像分類器 16. 骨髓像分類器, 17. 血液ガス測定器, 18. 血液単項目分析装置, 19. 血液多項目分析装置, 20. 尿分析器 21. RIA, 22. 血清反応用機器, 23. 細菌検査用機器, 24. 肺機能検査装置, 25. 染色・塗抹装置 26. 分注器, 27. 希釈器, 28. 振とう器, 29. 遠心分離器, 30. 洗浄器 31. 天秤, 32. コンピューター, 33. プリンター, 34. その他	
コントロール血清・試薬他	29～51
コントロール血清, コントロール血液, 標準液, 試薬	
主要商品紹介	52～125
機械関係, 試薬関係（五十音順）	
展示会社住所録（五十音順）	126～141

いま、お使いの医療機器、調子いいですか？

予算は増えないが、導入設備は増やしたい。

リースシステムなら、限られた予算を2倍、3倍に大きく生かれます。

いまご使用中の医療機器たち、快調ですか？ 1台でも多く新製品を導入したい、という現場。しかし予算は増やせない…こんな時こそ私たち住商リースにご一報ください。リースをご利用になれば、1台分の購入ご予算で数台の最新医療機器が導入できます。手続きも簡単。しかも保険、償却などのわずらわしい付

帯事務の必要もありません。技術革新のめざましい今日、ぜひリースによる無理のない導入方法をお考えください。

住商リースの 医療機器リース

住商リースは

●CT ●超音波診断装置 ●リハビリテーション関連機器 ●各種X線装置のリース
その他あらゆる機械設備導入のご相談に応じます。

 住商リース株式会社

住商リースの取扱いリース機器 / 医療機器・情報関連機器・自動車・流通・商業設備・輸送運搬機器・産業機械設備・建設土木機械・公害防止機器・その他あらゆる機械設備
大阪本社 / 〒550 大阪市西区土佐堀1-2-37(幸福ビル11・12F) ☎(06)441-6031
東京本社 / 〒160 東京都新宿区西新宿2-6-1(新宿住友ビル24F) ☎(03)344-1631
名古屋支店 ☎(052)963-2473 福岡支店 ☎(092)451-2901 営業所 / 広島・高松・富山・仙台・札幌 出張所 / 静岡・浜松 駐在員事務所 / 岡山

臨床化学分析機

2. 分光々度計・比色計

会社名	型式名	サンプル量	波長範囲	処理能力	床面積	使用電力	重量	価格・備考
		μl	nm又は $\text{m}\mu$	検体/毎時	巾×奥行(cm)	W	kg	
ヘレナ研究所	SEA III		330~710		42×40	200	18	
	デジスベック		330~710		32×32	100	6	
ヤトロシ	フォトメーターPCP-6121	200	302~623	Rate 50 End 250	34×40	105	12	166.8万、ミニコン内蔵 エーペンドルフ
富士工業	ADS-D	1,000		手動	28×35	70	12	比色法、40万、濃度直読
東芝メディカル	SPM-60A	500~8,000	340~700	600	50×48	400	37	183万
日立製作所	701A	1,500	415~850	750	90×111	130	54	
	100-26	1,000	200~900		96×44	250	46	

3. 電解質測定装置（炎光法）

会社名	型式名	サンプル量	波長範囲	処理能力	床面積	使用電力	重量	価格・備考
		μl	nm又は $\text{m}\mu$	検体/毎時	巾×奥行(cm)	W	kg	
エルマ光学	ET-181	150		180	45×45	250	35	
コーニングメディカル	M435	30(1)		100以上	43×59	300	40	
	M460	70(40)		100以上	83×60	450	76	
"	M455	40(1)		100以上	43×49	300	40	
日本分光メディカル	FLAME-30	20~150		180	50×50	170	32	
ベックマン・ジャパン	KLiNa	20		120	40×44	300	35	
利康商事	343型	1	Na, 589, K, 776 Li, 671	180	42×46	400	38.6	米国アイエル社
	643型	16 32	Ca, 852 他は343と同じ	60	42×53.3	500	36.4	"

3. 電解質測定装置（炎光法）

会社名	型式名	サンプル量	波長範囲	処理能力	床面積	使用電力	重量	価格・備考
		μl	nm 又は $\text{m}\mu$	検体/毎時	巾×奥行(cm)	W	kg	
アーンスト・ハンセン商会	AFM5051	10~100		120	125×45	635	61	西独・エッペンドルフ社
日立製作所	775	200	589, 671, 766.5	120	77×59	200	60	回折格子, タイリュータ・サンブラ付可
医用技術研究所	EMA 310	100	589, 671, 766	100	48×63	300	40	Na, K, Cl^-

4. 電解質測定装置（電極法）

備考欄の記号は使用可能サンプルB=全血 P=血漿 S=血清 U=尿

会社名	型式名	サンプル量	同時測定項目	処理能力	床面積	使用電力	重量	価格・備考
		μl	数	検体/毎時	巾×奥行(cm)	W	kg	
エイ・エッチ・エス・ジャパン	NOVA-1	300	Na, K	60	39.4×52.3	130	44	248万 (B, P, S, U)
	NOVA-2	350	Ca	45	39.4×52.3	130	44	295万 (B, P, S)
#	NOVA-3	300	Cl, TCO_2		39.4×52.3	130	44	(B, P, S)
島津製作所	CIM-101	250	2	60	44×68	260	約30	クリニカルイオンメーター (B, P, S, U)
常光	C-50AP	20	1	360	38.5×37	100VA	約13	クロライドメーター (P, S, U)
セントラル科学貿易	PUA-4M	300	4	48	165×50	250	66	マスターマインド型 (P, S, U)
二光機材	NOVA-1	250	2	65	39.4×52.3	250	44	AHSと同製品 (B, P, S, U)
	NOVA-2	350	1	48	39.4×52.3	150	44	# (B, P, U)
日科機	オリオンSS-20	500以下	1	20	50×59	100	22	イオン化カルシウム (B, S, P)
	オリオンSS-30	500以下	2	75	50×59	100	22	Na, K, (B, S, P)
日機装	AMT-AI-3	400	5	60	43×48	400	37	(B, P, S, U)
	AMT-CI-3	400	5	20	28×48	400	23	(B, P, S, U)

4. 電解質測定装置（電極法）

備考欄の記号は使用可能サンプル B=全血 P=血漿 S=血清 U=尿

会社名	型式名	サンプル量	同時測定項目	処理能力	床面積	使用電力	重量	価格・備考
		μl	数	検体/毎時	巾×奥行(cm)	W	kg	
日光分光メディカル	C L-10型	20又は100	Cl ⁻	400	33×33	30	8	クロライドメータ (P, S, U)
ベックマン・ジャパン	ASTRA 4	130	4		132×62	500	109	(S, U)
日立製作所	702	100	3	60				(S)
平沼産業	C L-5	50	Cl	120	30×38	100	15	(P, S, U)
堀場製作所	セラ-100	200	2	90	26×35	10	5	(S)
東亜電波工業	NAKL-1	150	3	60	41.6×34	50	12	Na,K,Cl 可能 (B, P, S)

5. 原子吸光々度計

会社名	型式名	サンプル量	波長範囲	処理能力	床面積	使用電力	重量	価格・備考
		μl	nm又はmμ	検体/毎時	巾×奥行(cm)	W	kg	
安部商事	5000型	2,000	180~900	300	164×75	300	173	1,380万、HGA500万 パーキン・エルマー社製
利康商事	151型	1,000	190~900	180	109.1×45.7	230	127.3	米国アイエル社
	251型	1,000	190~900	180	109.1×45.7	230	134.1	米国アイエル社

6. デンシトメーター・電気泳動装置

会社名	型式名	処理能力	OD測定範囲	記録方式	床面積	使用電力	重量	価格・備考
		検体/毎時	数値	感熱他	巾×奥行(cm)	W	kg	
英弘精機産業	ELPHOMAT-3	約90	0.16~2.200	ペンレコーダー	51×39	400	19	ドイツベンダーアンドホーバイン社
オリンパス光学工業	AES	48S/H	0~1.8	感熱ペン	140×67	1.5	150	完全自動システムオリンパス販売(株)

6. デンシトメーター・電気泳動装置

会社名	型式名	処理能力	OD測定範囲	記録方式	床面積	使用電力	重量	価格・備考
		検体/毎時	数値		巾×奥行(cm)	W	kg	
萱垣医理科工業	ADC-20SP	80	0~2.0	ペン書プロッター	47×56	150	38	240万オンライン可
コーニングメディカル	M-720	8検体/回	0.01~4.0	インクペン方式	36.8×58.4	90	20	
常光	DENSITRON PAN-FV	120	0.2~3.0	グラフィックプリント	60×59	300	約46	
	DENSITRON マイコン-20	240	0~2.0	グラフィックプリント サーマルプリント	59×48	300	約30	
長瀬産業	B D-3000	300	0~1.5AbS	感熱式	51×43	150	38	ナショナルデンシトメータ
ベックマン・ジャパン	CDS-100	120	0.2~2.5	感熱	56×50	200	27	
ヘレナ研究所	クリニスキャン	350	0.1~5	感熱	62×42	400	64	
	オートスキヤナー Flur Vis	100	0.2~3	感熱	38×46	200	16	
平沼産業	HAD-301							
協和醗酵		—			30×25	100	7	免疫電気泳動・デンマーク製
コスモ	FED-1	450/7.5H	0.2~2.0	熱ペン	140×65	600	220	サーマル方式
	D-101 S							

7. クロマトグラフ

会社名	型式名	サンプル量	分析(測定)方法	床面積	使用電力	重量	価格・備考
		μl		巾×奥行(cm)	W	kg	
安部商事	SERIES 3	1~100		60×61	800	70	860万 バーキン・エルマー社製
エイ・エッチ・エスジャパン	マイクロメリティクス	1500~	HPLC				コンポーネントタイプ

7. クロマトグラフ

会社名	型式名	サンプル量	分析(測定)方法	床面積	使用電力	重量	価格・備考
		μl		巾×奥行(cm)	W	kg	
島津製作所	LC-3A	10~5,000	液体クロマトグラフィ	75×75	約850	約100	高速液体クロマト
	CCA-1A	10~5,000	" , けい光検出	103×70	約850	約120	カテコールアミン分析計
日本ウォーターズリミテッド	ALC-GPC204	5~2,000	カラムクロマトグラフィ	120×50	850	70	システム全巾 約180cm
日本電子	JLC-6AH	800	ニンヒドリン発色法	75×65	2.5 K	約240	
	JLC-8AH	800	ニンヒドリン発色法	75×65	2.5 K	約240	
"	JLC-10D	300	ニンヒドリン発色法	100×80	3.0 K	440	
	JAS-47K		—	110×86	2.0 K	400	シーケンスアナライザ

8. 簡易分析装置

会社名	型式名	サンプル量	同時測定	処理能力	測定項目	床面積	使用電力	重量	価格・備考
		μl	項目数	検体/毎時	項目又は数	巾×奥行(cm)	W	kg	
オリンパス光学工業	QUICKRATE	10~100	1	20	20以上	30×52.7	250	15	90万 販売元オリンパス販売
京都第一科学	アイトーン MARK II	50以上	1	33~60	BUN, GLU, T-Bil	10×17.5	約3	0.4	18万 (付属一式)
立石電機	U-CAシステム HEB	20 50	16	項目による	16	31×34.5	200	約13	58万
中外製薬	RaBA-SUPER	20~500			25	本体48×39 電源14×30	200	17	110万, 放電記録
長瀬産業	ミニスタット-S	10~100		70	24	37.5×35	25	11.5	
日機装	MEPA-1	20~100	1	30	20	33×36	80	6	
富士工業	ADS-D	1,000	1	手動	比色法すべて	28×35	70	12	40万, 直読濃度計

8. 簡易分析装置

会社名	型式名	サンプル量	同時測定	処理能力	測定項目	床面積	使用電力	重量	価格・備考
		μl	項目数	検体/毎時	項目又は数	巾×奥行(cm)	W	kg	
マイルス・三共	デキスター	全血1滴	1	約60	血糖	11×18	3	1.2	スティック使用, エームス事業部
山之内製薬	レフロマート	約10	1	約30	血糖	18×25	9	1.7	全血一滴
日立製作所	ハイスタット700	50	1	50	20	50×44	250	27	
コスモ	RABO MARK-Σ	1,000		600	28	47.5×36.5	250	22.5	

9. 専用分析装置

会社名	型式名	サンプル量	処理能力	測定項目	床面積	使用電力	重量	価格・備考
		μl	検体/毎時	項目又は数	巾×奥行(cm)	W	kg	
京都第一科学	DN-2110	50以上	約40	2(血漿蛋白13)	33.5×26	80	12.5	69万(付属一式)
				アミラーゼ, リパーゼ				
協和精密	K-606AD	50	1	アミノ酸	124×72	1.5 K	190	800万
	K-505BD	50	3	カテコールアミン	170×57	1.5 K	220	800万
シノテスト商事	Glucoroder-S	5~20	130~150	血糖	54×46.5	300	32	310万, 全自動
二光機材	フェロケム3050	10~100	45	2	31×30	200	11.4	
日科機	YSI-23A	250	48	血糖	33×21	60	6.8	
日本分光メディカル	GULCO-20	20	80	血糖	25×20	30	7.5	
ベックマン・ジャパン	L. P. S	50	50	HDL, LDL, VLDL				処理能力はCHOの場合
	クリアチニン2形	25	60	CRE	38×36	50	19	

9. 専用分析装置

会社名	型式名	サンプル量	処理能力	測定項目	床面積	使用電力	重量	価格・備考
		μl	検体/毎時	項目又は数	巾×奥行(cm)	W	kg	
ベックマン・ジャパン	コレステロール2形	50	50	CHO	36×31	50	18	
	グルコース2形	10	67	GLU, UA	36×31	50	18	
"	BUN 2形	10	67	BUN	36×31	50	18	
マイルス・三共	グルコライザー	10	約80	血糖, 尿糖	36×42	180	21	プリンタ付, エームス事業部
三菱化成工業	GL-101	10	120	GLU	60×50	500	35	固定化酵素カラム使用
ヤトロロン	M-7000	10	80	GLU	43×28	17 (入電時72)	12.8	139万
医用技術研究所	EMA-110	100	200	血糖	48×63	250	35	

10. 多項目分析装置

会社名	型式名	サンプル量	同時測定	処理能力	測定項目	床面積	使用電力	重量	価格・備考
		μl	項目数	検体/毎時	項目又は数	巾×奥行(cm)	W	kg	
アボット	ABBOTT VP	1.25~25	1	465	30	61×61	300	86	1,450万
	ABA-100	2.5~25	1	310	30	47×55	250	53	700万
アムコ	プリズマ2480	7	~40	最大300	最大64ch	206×126	10K	900	スウェーデンLKB
エイ・エッチ・エスジャパン	COBAS	2~80	1	^{250-enz} 350-SUB	30	86×56	2.5K	130	
オリンパス光学工業	ACA-6008R	6~100	8ch	120S	25以上	322×124	5.5K	920	8~16ch 選択可
	ACA-6020C	6~100	20ch	240S	24以上	477×115	10.5K	1825	8~20ch "
島津製作所	CL-12	10~50	1~12	80	27	205×88	4K	600	

10. 多項目分析装置

会社名	型式名	サンプル量	同時測定	処理能力	測定項目	床面積	使用電力	重量	価格・備考
		μl	項目数	検体/毎時	項目又は数	巾×奥行(cm)	W	kg	
セントラル科学貿易	ロトケムIIa-36E	50~4,500	最大17	6	17	261×105	2 K	500	項目選択可
	ロトケムIIa-36	50~500	1	385	25	261×105	2 K	500	
長瀬産業	セントリフィケムシステム400	3~50		120~600	30以上	100×64	4 K	250	
二光機材	ハイセルHMA-1600	10~100	16	8	16	66×61	500	72.5	
	ハイセル-M	80~660	1~30	120	30	74×153	6 K	500	
日科機	ギルフォード・システム3500	10~100	1	148	23	78×70	500	131	
日商メディ・サイエンス	aca-II	20~600	1~29	97テスト	29選択	153×78	2 K	545	3,500万,米・デュボン社
	aca-III	5以上	1~35以上	97テスト	63まで可	153×78	2 K	545	4,200万,米・デュボン社
日本光電工業	ジュムサック	2~50	1	225平均	30以上	300×100	1.5 K	500	
	ジュムナイ	10~60	1	180平均	20以上	100×100	600	50	
日本テクトロン	テクトロンXA	30~60	6	120	31以上	168×60	1.5K	180	
日本テクニコン	SMACジュニア	1,000~2,500	6~18ch	90	24ch	260×300			寸法は12chの場合
日本電子	JCA-MS24	500~1,000	24	480/6項目 240/12項目	35	500×120	8 K	1,250	2,880テスト/時
	JCA-MS18	380~750	18	2,160テスト	35	500×120	8 K	1,230	360/6項目, 120/18項目
"	JCA-US8	160~400	8(16)	960テスト	35	280×90	3 K	530	240/4項目, 120/8項目
	JCA-HS12	400~800	12	120	35	250×90	3 K	740	
"	JCA-HS6	400	6	120	35	170×90	2.5 K	440	
	JCA-SIM6	125~250	1(6)	120テスト	32	100×80	1 K	250	
"	JCA-S16	110~660	1(6)	120テスト	32	95×80	1 K	240	
日立製作所	726	500	16	150	20~25	400×200	5 K	800	
	712	500	12	40	20~25	200×100	3 K	450	

10. 多項目分析装置

会社名	型式名	サンプル量	同時測定	処理能力	測定項目	床面積	使用電力	重量	価格・備考
		μl	項目数	検体/毎時	項目又は数	巾×奥行(cm)	W	kg	
ベックマン・ジャパン	ASTRA 8	180	9	75	9	132×76		220	
	ASTRA 4	130	5	75	5	132×62		109	
利康商事	AKES	5~100		120	25	140×45	400	100	オランダ・ビタトロン、ディスクリット
	PA-800	5~100		120	30	155×50	400	120	" , "
"	MCA-III	2~20	1~3	250	30	150×67.3	2 K	160	米・1L、遠心方式
東芝メディカル	TBA-880	5~50	16	90	標準26	160×80	3 K	540	
	TBA-360	8~56	6	最大120	標準25	130×65	0.6 K	180	

日本臨牀 1979年夏季増刊 (通巻第444号)

好評発売中

現代

臨床機能検査

—その実際と解釈

B 5判 1,300頁・図版1,500・索引 30頁

◆本書の特色

1. 各検査とも“その実際と解釈”の記述に重点をおき、特に測定の手順を視覚的に図式化した。
2. 臓器別の“タテ情報”ばかりでなく、免疫機能検査、腫瘍細胞機能検査など“ヨコ情報”をも併載した。
3. RIを用いた核医学的機能検査を積極的にとりあげた。
4. 臨床機能検査の今日的事典として活用できるよう巻末に邦・欧語索引を付した。

〔第1部〕

総論ならびに機能検査の分析法

〔第2部〕

- A 免疫機能検査
- B 腫瘍細胞機能検査
- C 遺伝学的検査
- D 代謝機能検査
- E 酸・塩基機能検査
- F 水・電解質検査

〔第3部〕

- G 脳・神経・筋機能検査
- H 循環器機能検査
- I 呼吸器機能検査
- J 血液・造血器機能検査
- K 消化管機能検査
- L 肝・胆管系機能検査
- M 膵外分泌機能検査
- N 内分泌機能検査
- O 腎臓機能検査

全418篇

定価7,800円

(送料：書籍小包280円)

本社・大阪市東区道修町3-1 電話・204-2381 番代・振替大阪112531 番 支局・東京都中央区日本橋本町2-9 電話・241-0726 番

株式会社 日本臨牀社

血液検査機器

12. 血液凝固測定器

会社名	型式名	測定項目	分析(測定)方式	床面積	使用電力	重量	価格・備考
		項目又は数		巾×奥行(cm)	W	kg	
エイ・エッチ・エスジャパン	オートファイ	PT, PTT, Fib, 因子定量	フィラメント付着法	103×58	600	68	680万
	バイオマティック 2000	PT, PTT, Fib他	バイブレーション	26×42	125	10	69万, 59万
#	アメルング-4	PT, PTT, Fib他	フック法	32.7×25.7	125	9	75万-4ch, 47万-2ch
エルマ光学	TE-40	スロンボエラスト		49.6×28.8	30	31	2ch
	コリサグラフ	7	特殊光電	42.5×31.5	250	13	
国際試薬	コアクスタット BC 2210	PT, PTT, Fib, F-A	光散乱法	40×38	120	13.5	120万, (製)京都第一科学
							レコーダ付マイクロプロセッサ方式
三光純薬	クロテック	PT, PTT, Fib他		27.9×21.9		2.2	40万
二光機材	PAC-2D	凝固2, 凝集2	反射光, 透過光	83×44	120	20	
日科機	コアグ-A-メイト	3	光学方式	48×52	125	23	デュアルタイプ
日機装	クロットタイマー-202A	6	エーゼ法	34×30	200	8	
バシフィック科学貿易	MLAエレクトラ 600	PT, APTT他	光学方式	54×43.5	300	68	全自動システム
	MCM	PT, APTT, Fib, スロンボ他	圧力センサー ニューマティック	17×28	150	7	98万サンプルは手技の1/2
#	バイオブリッジ	全血凝固時間	インピーダンス方式	58×23	88	35	パターン認識
利康商事	CP-8	16	比濁法	49.5×46	100	25	米・バイオデータ社
	スロンブ・D	1	粘弾力性法	25×26	50	13.5	西独・ヘリゲ社
朝日ライフサイエンス	コアギュライザー-0123型	PT, APTT他12	透光度変化感知	75×51	4	44	
三共		PT, APTT, Fib, 因子定量	散乱光変化検出	96×48	600	95	開発中, 価格未定

15. 血液像分類器

会社名	型式名	測定項目	処理能力	カウント数	床面積	使用電力	重量	価格・備考
		項目又は数	検体/毎時	個/検体	巾×奥行(cm)	W	kg	
エルマ光学	77型	12		100,200	22.5×35	25	2.5	
日立製作所	806							参考出品

16. 骨髓像分類器

会社名	型式名	測定項目	処理能力	カウント数	床面積	使用電力	重量	価格・備考
		項目又は数	検体/毎時	個/検体	巾×奥行(cm)	W	kg	
荻垣医理工業	MMT-420	42	600	500, 1,000	30×36	30	6.5	60万、オンライン可
立石電機	LADIC 3T2-3	46	5/S	500, 1,000	36×40	35	約15	55万-

17. 血液ガス測定器

会社名	型式名	測定項目	処理能力	床面積	使用電力	重量	価格・備考
		項目又は数	検体/毎時	巾×奥行(cm)	W	kg	
アムコ	AVL-940	10	20	71×58	350	42	スイスAVL社
コーニングメディカル	M-175	10		69×50.8	750	61	
	M-168	6		44.5×58.4	200	23.7	
"	M-165	6		42×34	60	29	
利康商事	マイクロ-13	3	20~30	61×33	480	21	326型恒温槽含、米・アイエル社
	813	6	50	35×65	200	42	"

尿分析器

臨床検査技師必携

医薬ジャーナル 別冊

臨床検査 安全マニュアル

監修・大阪大学中央検査部助教授・林 長蔵

■ B5版 ■ 定価 1,600円

近年、臨床検査業務の増大に伴ない、検査の精度管理を徹底するため、大型検査機器、検査薬の導入が急速にすすめられています。しかし、大量の機器、試薬の導入を急ぐあまり、それらの安全管理が忘れられている面もあります。こうした現状から、機器、放射性物質、危険試薬などの安全管理に早急に取り組む必要があります。

本書は、危険試薬の安全性アター一覧、保守管理の方法、機器、器具の取扱い法など、大阪大学中央検査部の日常業務から工夫、改善された具体的事例をもとに、まとめられたものです。

本書は安全志向の臨床検査業務をすすめる目的でまとめられた安全マニュアルで、臨床検査技師の必携書です。さらに、業務のスムーズな流れと事故防止に意図をはかった設計基準、各検査部門のレイアウトなども、建築学の立場からレポートしております。また事故にあった場合の応急処置にも役立つ1冊です。

- 1, 安全に対する考え方
- 2, 臨床検査室の設備基準
- 3, 危険試薬の取扱い法
- 4, R I の取扱い法
- 5, 機器・器具の取扱い法
- 6, 高圧・爆発性ガスの取扱い法
- 7, 検体による感染予防法
- 8, 応急処置法

大阪大学中央検査部助教授 林 長蔵

中部工業大学建築科教授 岡島暢夫

大阪大学中央検査部 甲田一馬・有末一隆

阪和記念病院R I部 猪熊正克

大阪大学中央検査部 古川一郎・竹田繁美

大阪大学中央検査部 古川一郎

大阪大学微研病院 東堤 稔

大阪大学特殊救急部 杉本 侃

医薬ジャーナル社の定期刊行物

■ 医薬品情報誌

医薬ジャーナル

■ B5版 ■ 月刊誌
■ 年間購読料11,400円
(年間購読の場合のみ
送料当社負担)

■ ME 専門誌

臨床ME

■ B5版 ■ 隔月刊誌
■ 年間購読料 5,880円
(年間購読の場合のみ
送料当社負担)

ご送金は振替口座(口座番号, 大阪33353), または直接当社宛郵便で



株式会社 医薬ジャーナル社

大阪市東区平野町1-23・丸米ビル 06(202) 5284・7280 / 東京都千代田区神田神保町2-2・神田ビル 03(265) 7681

20. 尿分析器

会社名	型式名	測定項目	分析(測定)方法	サンプル量	処理能力	床面積	使用電力	重量	価格・備考
		項目又は数		μl				検体/毎時	
栄研化学	UMS-20	蛋白,糖,ウロビリ, pH		20~50ml	約100	35×50	300	30	300万、オートサンブラ別
京都第一科学	HS-7	7	光反射率	約50以上/項目	360	62.5×43	130	35	290万(付属一式含)
	PSP-3110	PSP排泄率	二波長同時比色	10ml以上	360	35×27		10	
マイルス三共	クリニラプ	8	二波長測定	240	120	80×76	400	84	オンライン可
	クリニテック	8	"		60	29×27	60	4.5	プリンタ別
山之内製薬	UA-6	6	光反射率	約10ml	約100	40×32	45	8	

日常業務に直結した 最新ニュースをお届けします!!

■ニュース: 臨床検の情報をより多くの確迅速に報道

■解説と論説: きめ細かく話題のポイントを分析と展望

■学会・企業便り: 各種学会や企業の動向と新製品紹介



■毎月1日・15日発行 ■購読料をお振り込み頂きますと毎号発送いたします。

■タブロイド版8頁または12頁。■年間購読料2000円(送料共)問合せは電話でも。

薬事日報 臨床検査版

薬事日報社

発行所 〒101 東京都千代田区神田和泉町1-11 代表電話(862)2141 振替番号 5-80665番
大阪支社 〒541 大阪市東区道修町2-19山口ビル 電話(203)4191-4

免疫血清反应用機器
細菌検査用機器
生理機能検査機器
RIA, 周辺機器他

21. R I A

会 社 名	型 式 名	処理能力	チャンネル数	再現性	床面積	使用電力	重 量	価 格 ・ 備 考
		検体/毎時		CV%		巾×奥行(cm)		
ア ム コ	PRIAS PGD	240~504	2		63×72	600	175	米・パッカード社
セントラル科学貿易	ニューRIA トータルシステム	200	4	6	230×89	7.5K	399	
東芝メディカル	RDI-52A	504	2		104×93	1K	約300	
藤沢メディカルサプライ	ARIA II	120	7	項目による	74×81	700	325.5	さらに5項目開発中

22. 血清反応用機器

会 社 名	型 式 名	処理能力	チャンネル数	測定項目	床面積	使用電力	重 量	価 格 ・ 備 考
		検体/毎時		項目又は数		巾×奥行(cm)		
エイ・エッチ・エスジャパン	C-7M	95	12	クームス	43×35	600	21	190万,
京都第一科学	DN-2110	40	1	15	33.5×26	80	12.5	69万(付属一式),ネフェロメトリー
三 光 純 薬	オートダイリユータ II 380-01		12	血球細菌凝集, ASLO 補体結合他	50×45	25		148万
	SRD II 350-02		12	" , "	50×37	25		60万
"	オートマチック ピベッタ-222-1A		96	" , "	35×30	50	12	130万
日 科 機	IDT FIAX	40	1	9	34×31	100		
和光純薬工業	ZD-801	20/回	1	IgG, IgM, IgA・CRP他	72×45.5		45	レーザーネフェロメーター
ヘキスト・ジャパン	ペーリング レーザーネフェロメーター	240		20	75×33	400	41~47	マイコンとの接続でプリント可

22. 血清反応用機器

会社名	型式名	処理能力	チャンネル数	測定項目	床面積	使用電力	重量	価格・備考
		検体/毎時		項目又は数				
日本トラベノール	P.D.Qオートシステム	90		11	50×55	300	40	レーザーネフェロメーター、サンプル 5~10μl
武藤化学薬品	LASAC							レーザーネフェロメーター、II型320万
ベックマンジャパン	I.C.S	60	1	10	80×43	250	29	
協和醸酵		—	4	免疫電気泳動	30×25	100	7	デンマーク・ホルムニールセン社

23. 細菌検査用機器

会社名	型式名	測定項目	分析(検査)方法	床面積	使用電力	重量	価格・備考
		項目又は数					
アボット	MS-2 リサーチシステム	バイオアッセイ 尿細菌 感受性等5	濁度測定	180×73	910	112	1,540万88キューベット
	MS-2 クリニカルシステム			125×74	760	88	1,390万176キューベット
アムコ	BACTEC 301	好・嫌気性菌	カルチャメディア	27×52	200	14	
	BACTEC 460	"	"	62×80	750	110	
バシフィック科学貿易	バクトブリッジ	多数	インピーダンス	58×23	88	35	

24. 肺機能検査装置

会社名	型式名	測定項目	床面積	使用電力	重量	価格・備考
		項目又は数				
利康商事	M-100	4(46)	5×100	1K	80	
	M-800 オートボックスシステム	(22)	127×203	500	80	米・SRL社製
旭メデイカル	ASC-2000	VC, FVC, MVV 24以上	45×41	200	23	"
	ASC-1000	VC, FVC, MVV 17以上	38×29	20	5.4	

26. 分注器

会社名	型式名	処理能力	チャンネル数	分注容量	床面積	使用電力	重量	価格・備考
		検体/毎時						
バシフィック科学貿易	CarVo-2000型			10~5,000	7×13	16	3	
富士工業	ペリスベンサー	600	1	可変	12×21	50	7	ダイヤル可変, 30.8万
	スーパー分注器	900	1	0.2~50ml	12×21	50	7	18.8万
ヤトロ	ディスベンセット	720	1	0.4~10ml	15×8	—	0.5	29.5万, 西独ブランド社, 手動
	ディスベンサー 5211	1,500	1	10~1,000	15.5×15	12	3	55万, エッペンドルフ

27. 希釈器

会社名	型式名	処理能力	チャンネル数	希釈方式	床面積	使用電力	重量	価格・備考
		検体/毎時						
アーンスト・ハンセン商会	5232	562		シリンダー	15.5×27	14	約6	西独・エッペンドルフ社
	5206	1,500			12×20	15	約3	"
エムエス機器	DILU GIL-V			自動式	21×24	200	9	フランス・ギルソン社製
エルマ光学	AD-60		2		21.7×19.5	15	6.8	
東亜医用電子	AD-220	240	2	定量希釈	18×26	25	9	
日科機	マルチダイリューター		8		26×24		5.4	容量5~10,000μl
バシフィック科学貿易	Carvo-1500型		多数		13×13	16	4	分注器の代用可, 精度±0.05%以下
富士工業	ヴァリアブル	600	7	シリンダー	23.5×20	50	10.5	ダイヤル可変, 44.8万
	MK-III	600	1	"	14×20	50	7	19.8万
ヤトロ	ダイリュエット	720	1	シリンダー	19×8	—	0.6	9.8万, 西独ブランド社, 手動
	ダイリューター 5232	560	1	"	15.5×27	14	6	90万, エッペンドルフ
利康商事	2000シリーズ	360	1	ピストン式	17×26	100	8	米国ヨーク社

28. 振とう器

会社名	型式名	同時セット数	しんとう数	試料容量	床面積	使用電力	重量	価格・備考
			数/分					
アーンスト・ハンセン商会	5432	40		1,500	18.5×18.5	30	2.8	西独・エッペンドルフ
東亜医用電子	SH-510	80	100~200	10,000	37×40	20	7.5	
ヤトロ	シェーカー 5432	24, 40	—	1.5ml	18.5×18.5	30	2.8	13.5万, エッペンドルフ

29. 遠心分離器

会社名	型式名	同時セット数	遠心回数	試料容量	床面積	使用電力	重量	価格・備考
			数/分					
アーンスト・ハンセン商会	5412	12	約15,000	1,500, 400	21×28.5	100	5.8	西独・エッペンドルフ (高速)
	5413	40	約11,500	1,500, 400	21×28.5	150	7.5	" (高速)
エイ・エッチ・エスジャパン	イムヒュージ	12			21×27	300	4.5	18.5万, 血球洗浄用 (低速)
	イムテック	12						自動血球洗浄装置, 200検体/日 (低速)
久保田商事			5,000	850ml×6	100×69		260	0~90分調節可 (低速冷却式)
東亜医用電子	PC-810	40	940±30	1,000	36×36	150	9	(低速)
ベックマン・ジャパン	Airfuge	6	100,000	175	28×38		10	(高速)
	B	48	13,000	250	17×17	100	6	(低速)
"	TJ-6R				83×60	1,300(600)	88	卓上, 冷却型(取りはずし可), 低速冷却式
ヤトロ	5412	12	15,000	1.5ml, 400	21×28.5	100	5.8	25万, エッペンドルフ (高速)
	5413	40	11,500	1.5ml, 400	21×28.5	150	7.5	40万, エッペンドルフ (高速)
利康商事	細胞遠心器	12	0~1,800	500~2,000				英・シャンドン社 (低速)

30. 洗浄器

会社名	商品名	処理能力	同時セット数	床面積	使用電力	重量	価格・備考
		検体/毎時	検体数	巾×奥行(cm)	W	kg	
コスモ	ミレー713	3,000	3	60×60	12.8K	79	
	ミレー715	3,000	3以上	90×60	12.8K	77	

31. 天秤

会社名	型式名	秤量	読取限度	床面積	使用電力	重量	価格・備考
		最大(g)	mgまで	巾×奥行(cm)	W	kg	
バシフィック科学貿易	A-200T	200	10	15×23	25	5.4	プリンター付有
アーンスト・ハンセン商会	3300	30/300	1/10	18.7×27.9		5.5	49.5万

32. コンピューター

会社名	型式名	取扱項目数	メモリー容量	データ容量	床面積	使用電力	重量	価格・備考
		項目及び検体	K B	K B	巾×奥行(cm)	W	kg	
伊藤忠データシステム	WANG-2200MVP		16~256					米・WANG社製
	WANG-2200VP		16~64					"
住友電工	MUMPS 臨床検査システム	任意、1万~	128~	5,000~	500~250	3K~	510	
東亜医用電子	DPS-430	29,500	14	29	147.3×39	200	46	
長瀬産業	クロス400	40	16	520	120×90	7	60	
	クロスM	40	64	5,200	240×90	20	400	
日本テクニコン	THDP				75×73.5		100	
日本電子	JCSシステム	75	32	100		0.2K		JCAクリナライザー用

34. その他

会社名	商品名	型式名	特長	床面積	使用電力	重量	価格・備考
				巾×奥行(cm)	W	kg	
伊藤忠データシステム	フロッピーディスク装置	2270	256KB×3				米・WANG社
	カートリッジ ディスク装置	2280	30～320MB				〃
〃	マークシートリーダ	OPSCAN-17	最大A4版				米・OPSCAN社
英弘精機産業	投影顕微鏡	ビソバン314	対物4～63倍 スクリーン50～800倍	30×40	100	5	ライトヘルト社、スクリーンサイズ200φ
テルモ	採血器具	ペノジェクト	血液検査全般用				
		プレザバック	血液ガス測定用				
東京計器	血液流体特性検査装置	バイオレオライザー	サンプル0.5ml、デジタル記録	60×25	75	25	測定範囲0.3～600CP
パシフィック科学貿易	自動包埋装置	ヒストマチック166	200ブロック/1回	89×51	750	68	溶媒循環式、溶-10、バラー2槽
	マイクロピペット	MLA	10～1,000μl、チップ4種				2・3段切換えオートクレーブ可
ユニフレックス	分析装置消耗部品	エルケイ	サンプルカップ、チューブ メンブレン他				
	検査一般消耗品	〃	ピペットチップ、RIAチューブ 遠沈管				
日立工機	血液前処理装置	CSD-240					
堀場製作所	PHメータ	F-7AD					
		H-7AD					
堀場製作所	PHメータ	F-7II					
東亜電波工業	PHスタット	HSM-10A					胃液酸度測定
	PHメータ	HM-18E					デジ・アナ形
旭メディカル	質量分析計	MS-2	1～200カドラボール	83×54	1500	123	マスレンジ方式

医歯薬出版図書ごあんない

救急診断検査 マニュアル

小酒井 望<順天堂大学教授> 監修
椎名 晋一<東京医科歯科大学教授>
星 和 夫<東京医科歯科大学講師> 編集
只野寿太郎<東海大学助教授>

B5判 206頁 図107・表53 4,000円 千200円

●本書は2編より構成され、まず《臨床編》では緊急検査の臨床的背景、重要性が理解できるように急性症状別に鑑別診断に至るポイントを表形式で示し、検査の読み方、すすめ方を解説し、次に《検査編》ではそれに必要な緊急検査の手法をわかりやすくシエーマで示している。

●緊急検査法とその背景を理解するうえで欠かせない知識を提供する実用書である。

タンパク分画と 免疫電気泳動像 —臨床的意義と読み方—

松田重三<帝京大学講師 第1内科> 著

B5判 174頁 図150 4,000円 千200円

●医師、検査技師、学生に向けた血清タンパク分画の入門書。総論では血漿タンパク成分とその臨床的意義を簡潔に解説。各論ではその臨床応用として豊富な症例による臨床の経過と対応させながら、多くのタンパク分画像と免疫電気泳動像を示し、その各々のパターンの読み方を詳述。血清タンパク理解の実際的な書である。

血漿タンパク質

—構造・機能・病態—

平山千里<鳥取大学教授> 編
右田俊介<金沢大学教授>

B5判 482頁 図188・表126 14,000円 千280円

●血漿タンパクを1つの視野のもとに体系づけ、その包括的概観を試みた定本。血漿タンパクの基礎と臨床にわたる膨大な分野をコンパクトにまとめ、新見も紹介している。

●主な目次：血漿タンパク質—史的展望／血漿タンパク質の分析法および分画法／主要血漿タンパク質の構造と機能／血漿タンパク質の代謝／血漿タンパク質の病態／血漿タンパク質による疾患の予防と治療

婦人科鑑別 細胞診断図譜

野田 定<大阪府立成人病センター> 著

B5判 202頁 カラー写真・図多数 11,000円 千240円

●本書は総論と各論からなり、総論では鑑別診断に必要な基礎的概念を主としてシエーマを用いて説明し、WHO分類を中心とする最近の細胞診に関する世界の趨勢をも理解できるように解説をこころみた。また、各論では各病変の項目ごとに主として発生、分類、細胞所見などについて解説を行い、各病変の項目ごとに鑑別診断のキー・ポイントを列記し、カラー写真によって実際の症例を呈示した。

臨床検査学雑誌

(B5判)

月刊 Medical Technology

'79年料金 ●1部400円 千41円(4月号,11月号は千45円)

●特集号(3月号,9月号)各500円 千45円

●臨時増刊号1,700円 千61円

Vol. 5 No.13<臨時増刊号> 1,700円 千61円

染色法のすべて

Vol. 6 No.3<特集号> 500円 千45円

機器分析の基礎知識

Vol. 6 No.9<特集号> 500円 千45円

輸血検査法

Vol. 6 No.13<臨時増刊号> 1,700円 千61円

尿定量検査のすべて

Vol. 7 No.3<特集号> 500円 千45円

細菌検査の簡易化・ 自動化

Vol. 7 No.9<特集号> 9月発売500円 千45円

Enzymeimmunoassay (EIA)

Vol. 7 No.13<臨時増刊号> 1,700円 千61円

電気泳動法のすべて

(12月発行予定)

医歯薬出版株式会社 ☎113 東京都文京区本駒込1-7-10 ☎03(944)3131 (大代表)

コントロール血清
試薬他

コントロール血清

栄研化学(株)

製 品 名	測 定 項 目	種 類 (正常・異常の別)	分析値表示 未分析の別(○×)	包 装 単 位 (ml)	価 格 (円)	備 考
TZセラム“栄研”	TTT, ZTT	異常	○	3 ml×5	5,500	

国際試薬(株)

製 品 名	測 定 項 目	種 類 (正常・異常の別)	分析値表示 未分析の別(○×)	包 装 単 位 (ml)	価 格 (円)	備 考
モニターール	電解質・酵素・脂質他	正常・異常	○	5 ml×6, 10 ml×10	8,500, 27,000	栄・テイド社製, 販売国際試薬, ミドリ十字
モニターール・X	〃	〃	×	10 ml×10	14,500	〃, 〃
ラブ・トロール	電解質 その他	正常	○	3.5 ml×10	5,000	〃, 〃
バソ・トロール	〃 〃	異常	○	3.5 ml×6	5,000	〃, 〃
エンザ・トロール	酵素	異常	○	3 ml×6	7,500	〃, 〃
ユレス・トロール	CHO	異常	○	3.5 ml×6	5,000	〃, 〃
ビリルビン・トロール	BIL	異常	○	3 ml×6	9,800	〃, 〃
肝機能検査用コントロール	TTT, CCF	異常	○	3 ml×6	8,800	〃, 〃
リピッド・トロール	脂質	異常	○	3 ml×10	31,500	〃, 〃
トライ・ラック	ホルモン	(正・異)濃度	○	5 ml×6	29,500	〃, 〃 三濃度, RA用
クオントラ	血液ガス分析全般	(正・異)濃度	○	30アンプル	22,000	栄・テイド社製, 販売国際試薬, ミドリ十字
CH・60	血球計算全般	正常・異常	○	5 ml×5	29,000	〃, 〃

三光純薬(株)

製 品 名	測 定 項 目	種 類 (正常・異常の別)	分析値表示 未分析の別(○×)	包 装 単 位 (mℓ)	価 格 (円)	備 考
コントロール血清Ⅰ	電解質、酵素、脂質他	正常	○	5mℓ×6	7,600	ハイランド製、(輸)日本トラベノール
コントロール血清Ⅱ	"	正常・異常	○	5mℓ×6	7,600	" " "
マルチエンザイム血清A	酵素	正常	○	5mℓ×6	13,000	" " "
マルチエンザイム血清B	酵素	異常	○	5mℓ×6	13,000	" " "
マルチエンザイム血清C	酵素	異常	○	5mℓ×6	13,000	" " "
高脂質コントロール血清	脂質	異常	○	2mℓ×6	6,000	" " "

シノテスト商事(株)

製 品 名	測 定 項 目	種 類 (正常・異常の別)	分析値表示 未分析の別(○×)	包 装 単 位 (mℓ)	価 格 (円)	備 考
シノトロールN	GLU, CHO, TG, ALP TA, LDH, CPK, α-HBDH	正常	○	2.0mℓ×10	6,600	
シノトロールA	"	異常(高)	○	2.0mℓ×10	6,600	
マキシトロール	BUN, CHO, CPK, TA, LDH α-HBD, γ-GT, GLU, リパーゼ	異常(高)	○	2.0mℓ×20	19,800	米・カルビオケム社製
リビッドミックスパック	CHO, TG, リン脂質	—	○	5.0mℓ×10	14,000	A瓶はCHO異常域 B瓶はTG異常域

日水製薬(株)

製 品 名	測 定 項 目	種 類 (正常・異常の別)	分析値表示 未分析の別(○×)	包 装 単 位 (mℓ)	価 格 (円)	備 考
コンセーラ「ニッスイ」	電解質、酵素、脂質他	正常	×	3mℓ×25	7,000	
コンセーラ「ニッスイ」	"	正常	×	15mℓ×15	18,200	
コンセーラA「ニッスイ」	"	異常	×	3mℓ×25	10,600	
コンセーラA「ニッスイ」	"	異常	×	15mℓ×15	27,500	

日本商事(株)

製 品 名	測 定 項 目	種 類 (正常・異常の別)	分析値表示 未分析の別(○×)	包 装 単 位 (ml)	価 格 (円)	備 考
セラクリアーN	生化学多項目	正常	○	3ml×10	9,000	製造：化血研
セラクリアーNA	"	異常	○	3ml×10	9,000	"
セラクリアーLP	生化学脂質項目	異常	○	3ml×5	8,000	"
ネスコールーX	生化学多項目	正常	×	3ml×20 15ml×10	5,600 12,450	"
ネスコールーXA	"	異常	×	"	11,450 25,500	"

日本トラペノール(株)

製 品 名	測 定 項 目	種 類 (正常・異常の別)	分析値表示 未分析の別(○×)	包 装 単 位 (ml)	価 格 (円)	備 考
コントロール血清I	電解質、酵素、脂質他	正常	○	5ml×6	7,600	ハイランド製、凍結乾燥品
" II	"	異常	○	5ml×6	7,600	" , "
マルチエンザイムA	酵素8成分	正常	○	5ml×6	13,000	" , "
" B	"	正常上限	○	5ml×6	13,000	" , "
" C	"	異常	○	5ml×6	13,000	" , "
オートリファレンスコントロール	電解質、酵素、脂質他	異常	○	50, 25ml×10	55,000	" , "
高脂質コントロール	脂質	異常	○	2ml×6	6,000	" , "
高ビリルビンコントロール	BIL	異常	○	2ml×6	10,000	" , "
ラジオレセプターコントロール	ホルモン、ビタミン他	正常、正常上限、異常	○	3ml×6	20,000	" , "
サイロイドファンクションコントロール	サイロキシン、その他甲状腺ホルモン	"	○	3ml×6	20,000	" , "
脳、脊髄液コントロール	蛋白分画、塩化物他	正常	○	3ml×3	12,000	" , "
尿化学コントロール	AMY, 17-OHCS, VMA 他	正常	○	25ml×3	10,000	" , "
尿補足コントロール	AMY, 17-OHCS, VMA 他	異常	○	25ml×3	10,000	" , "

ヘキストジャパン(株)

製 品 名	測 定 項 目	種 類 (正常・異常の別)	分析値表示 未分析の別(○×)	包 装 単 位 (ml)	価 格 (円)	備 考
テストマーCリヒッドコントロール血清	CHO, リン脂質, グリセロール, TG	正常・異常	○	A: 5 ml×5 B: 5 ml×5	19,800	カルピオケム・ペーリング社製 ヘキストジャパン(株)販売

ペーリンガー・マンハイム山之内(株)

製 品 名	測 定 項 目	種 類 (正常・異常の別)	分析値表示 未分析の別(○×)	包 装 単 位 (ml)	価 格 (円)	備 考
プレチノルムU	基質, 電解質, 脂質, 他40成分以上	正常	○	5 ml×4 5 ml×20		ドイツペーリンガー・マンハイム社製
プレチバスU	"	異常	○	5 ml×4 5 ml×20		"

ベックマン・ジャパン(株)

製 品 名	測 定 項 目	種 類 (正常・異常の別)	分析値表示 未分析の別(○×)	包 装 単 位 (ml)	価 格 (円)	備 考
DECISION Level 1	酵素, 電解質, 一般化学物質	異常	○	20ml×4		米国ベックマン社製 ベックマン・ジャパン(株)販売
" Level 2	"	正常	○	20ml×4		"
" Level 3	"	異常	○	20ml×4		"
" multi Pack	"	正常・異常	○	20ml×6		"
キャリブレーション血清	IgA, IgG, IgM他		○			免疫化学的測定用血清

和光純薬工業(株)

製 品 名	測 定 項 目	種 類 (正常・異常の別)	分析値表示 未分析の別(○×)	包 装 単 位 (ml)	価 格 (円)	備 考
Normal Control Serum Assayed	電解質, 酵素, 脂質他	正常	○	5 ml×10	13,000	ORTHO社(アメリカ)製
Abnormal Control Serum Assayed	"	異常	○	5 ml×10	13,000	"
Control Urine I	電解質, ホルモン他	正常	○	25ml×10	10,800	"
Automated Reference Serum	電解質, 酵素, 脂質他	正常	○	50ml×10	65,000	"
Kinetic Test Control Set I, II, III	酵素一般	正常・異常	○	3 ml×15	23,500	"
Elevated Lipids Control Serum	脂質	異常	○	5 ml×10	25,000	"

和光純薬工業(株)

製 品 名	測 定 項 目	種 類 (正常・異常の別)	分析値表示 未分析の別(○×)	包 装 単 位 (mℓ)	価 格 (円)	備 考
RIA Control Serum I	インシュリン、T ₃ 、T ₄ 、コルチゾール ジゴキシン、FSH、HGH、他	正常	○	5mℓ×10	36,000	ORTHO社(アメリカ)製
" II	"	異常	○×	5mℓ×10	36,000	"
" III	ジキトキシリン、エリスリトール、プロゲステロン テストステロン他	正常	○	5mℓ×10	36,000	"
" IV	"	異常	○	5mℓ×10	36,000	"
" V	ACTH、アルドステロン、レニン活性	正常	○	3mℓ×5	22,000	"
" VI	"	異常	○	3mℓ×5	22,000	"

第一化学薬品(株)

製 品 名	測 定 項 目	種 目 (正常・異常の別)	分析値表示 未分析の別(○×)	包 装 単 位 (mℓ)	価 格 (円)	備 考
セロノルム	32項目	正常域上限	○	5mℓ×5	6,000	(輸)Nyegaard社(ノルウェー)
セロノルム・リビッド	脂質成分8項目	"	○	3mℓ×6	9,700	"
バソノルムH	32項目	異常域(高)	○	5mℓ×5	7,000	"
" L	32項目	"(低)	○	5mℓ×5	7,000	"
オートノルム	31項目	どちらとも言えない	○	10mℓ×6 40mℓ×10	14,000 70,000	"
オートノルム-CS	24項目	"	○	40mℓ×10	70,000	"

東芝化学工業(株)

製 品 名	測 定 項 目	種 類 (正常・異常の別)	分析値表示 未分析の別(○×)	包 装 単 位 (mℓ)	価 格 (円)	備 考
コントロール血清	GOT、GPT他24項目	異常	分析値表示	3mℓ×10	6,900	

コントロール血液

(株)日科機

製 品 名	測 定 項 目	種 類 (正常・異常の別)	分析値表示 未分析の別(○×)	包 装 単 位 (mℓ)	価 格 (円)	備 考
Pfizer CBC-trol	WBC、RBC、Hgb、HCT MCV、MCH、MCHC	正常・異常	○	2.8mℓ×10	28,000	米・Pfizer社

標 準 液

アボット(株)

製 品 名	測 定 項 目	種 類 (正常・異常の別)	分析値表示 未分析の別(○×)	包 装 単 位 (ml)	価 格 (円)	備 考
a-gent 標準液	GLU, BUN	高、中、低	○	30ml×3	2,300	1次標準NBS, ドロップバーチップ付
a-gent 標準液	Ca, P	高、中、低	○	30ml×3	2,300	" , "
a-gent 標準液	CHO	高、中、低	○	30ml×3	5,600	" , "
a-gent 標準液	CRE	高、中、低	○	30ml×3	3,800	" , "

試 薬

アボット(株)

36

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μl)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
CEA	CEA-EIA	EIA(固相サンドイッチ法)	比色(492nm)	QUANTUM 1 又はフォトメータ	200	100	775	
HBs 抗原	オーセル	RPHA 法	血球凝集目視		25	110, 450, 1,800	182, 167, 150	
HBs 抗原	オースザイム	EIA(固相サンドイッチ法)	比色(492nm)	QUANTUM 1 又はフォトメータ	200	100	300	
GOT	a-gent	Henry 変法	レート法	ABA-100, VP	5, 10	840	12	
GPT	"	Wroblewski 変法	"	" "	5, 10	840	12	
ALP	"	Para-Nitro-Phenyl Phospate	"	" "	5, 2.5	420, 840	34, 17	
LDH-L	"	Wacker 法	"	" "	5, 2.5	420, 840	39, 20	
γ-GTP	"	Szasz 法	"	" "	5, 5	480	28	
CPK	"	Oliver 変法	"	" "	5, 5	840	45	
α-HBDH	"	Rosalki-Wilkinson 変法	"	" "	5, 2.5	240, 480	48, 24	
GLU	"	Hexokinase 法	エンド・ポイント法	" "	5, 2.5	420, 840	27, 14	
BUN	"	Urease 法	"	" "	2.5, 1.25	420, 840	26, 13	
CHO	"	Allain 法	"	" "	5, 2.5	420, 840	72, 36	
T-BIL	"	Malloy-Evelyn 変法	"	" "	10, 10	840	12	
D-BIL	"	"	"	" "	10, 10	840	12	
T-GL	"	Bucolo-David 変法	レート法	" "	5, 5	480	24	
TP	"	Biuret 法	エンド・ポイント法	" "	5, 5	480	14	
ALB	"	BCG 法	"	" "	2.5, 1.25	420, 840	12, 6	
Ca	"	OCPC 法	"	" "	10, 10	840	7	

栄研化学(株)

※1 アボット-VP, 日立706, 712 ABA-100
クリナライザー, セントリファイテム, ロトケムIIa

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μl)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
血清 CHO	コレステザイム-V "栄研"	赤色キノンの呈色を測定	酵素法	※1	各機種によって異なる	機種による	機種による	
血清 T-GL	トリグリザイム-UH "栄研"	NADH ₂ 量を測定	酵素法(エンド・ポイント法)	日立716, 726	各機種によって異なる	"	"	

片山化学工業(株)

※1 TBA-360, ABA50/100, 日立706(D)
セントリファイテム, LKB, テクトロンフリーガ, ロトケム

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μl)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
GOT	GOT 測定用試薬(UV)	GSCC 法	Rate Assay	JCA クリナライザー	50	1,000	25	※1
GPT	GPT " (")	"	"	"	50	1,000	25	※1
LDH	LDH " (")	"	"	"	10	1,000	25	※1

片山化学工業(株)

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μ l)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
ALP	ALP測定用試薬	GSCC法	Rate Assay	JCAクリナライザー	10	1,000	20	※1
LAP	LAP "	GSCC法	"	"	10	1,000	30	"
γ -GTP	γ -GTP "	SSCC法	"	"	20	1,000	50	"
α -HBDH	α -HBDH "	α -ヒドロキシ酪酸基質法	"	"	10	1,000	20	"
Glucose	グルコース "	GOD・POD法	"	"	10	900	27	"
BUN	BUN "	Urease・GLDH法	"	"	10	1,000	30	"
CRE	クレアチニン "	Jaffe変法	"	"	20	1,000	5	H立706, 706D ロトケム, セントリフィケム
CHE	コリンエステラーゼ "	ヨウ化チオブチルコリン基質法	"	"	10	1,000	20	"
T-CHO	総コレステロール "	Richmond・Allain法	"	"	10	750		テクトロンフリーザ 日立706(D)
Amy	アミラーゼK	酵素法	"	セントリフィケム ロトケム, ABA100	10		200円/㎖	1KB, ABA-VP, ジェムサック フィクレート, TBA-360
Total Protein	ビウレット試薬	ビウレット法	End Point法	オリンバスACA6000 H 3400, 500, 716	10			テクニコンA・A JCAクリナライザー
ALB	ブromクレゾールグリーン試薬	BCG法	"	"	10			"
TTT	トリス・チモール試薬	肝機能研究班法	"	"	10			JCAクリナライザー
ZTT	クンケル硫酸亜鉛試薬	"	"	"	10			"
T-BIL	総ビリルビン測定試薬	アルカリ・アゾビリルビン法	"	"	50			JCAクリナライザー テクニコンA・A
D-BIL	直接ビリルビン "	"	"	"	50			"
BIL-Blank	ビリルビンブランク "	"	"	JCAクリナライザー	50			テクニコンA・A
UA	尿酸測定用試薬	リントングステン酸法	"	オリンバスACA6000 日立400, 500, 716	10			JCAクリナライザー テクニコンA・A
Ca	カルシウム "	OCPC法	"	"	10			"
LP	無機リン "	リンモリブデン酸法	"	"	10			JCAクリナライザー テクニコンA・A, ハイセル
Amy	アミラーゼ "	ヨウ素澱粉法	"	"	10			JCAクリナライザー テクニコンA・A
β -Lipoprotein	β -リポ蛋白 "	ペーバリン塩化カルシウム法	"	"	20			JCAクリナライザー
T-CHO	総コレステロール "	酵素法	"	"	10			JCAクリナライザー, セントリフィケム テクニコンA・A, ロトケム, ABA-50, 100
Free-CHO	遊離コレステロール "	"	"	"	50			"
T-GL	トリグリセライド "	" , INTジアホラーゼ法	"	"	20	2,000		日立706(D) テクニコンA・A

関東化学(株)

測定項目	製品名	測定方法	測定方法	適用機種名	サンプル量(μ l)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
GOT	シカオートレート-GOT	堀尾試薬に準ずる処法	Rate Assay	セントリフィケム	40	300	13	ジェムサック, ロトケム兼用

関東化学(株)

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μ l)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
GPT	シカオートレート-GPT	堀尾試案に準ず	Rate Assay	セントリフィケム	40	300	13	ジェムサック、ロトケム兼用
LDH	" -LDH	Wroblewski法	"	"	10	300	10.60	"
ALP	" -ALP	P-ニトロフェニルリン酸基質法	"	"	15	300	12	"
α -HBDH	" -HBD	Rosalki法	"	"	10	300	12	"
Ch-E	" -Ch-E	プチリルコリン基質法	"	"	5	300	12	"
GLU	" -GLU	ヘキソキナーゼ法	"	"	5	300	16.66	"
BUN	シカオートBUN-UV	ウレアーゼ・GLDH法	End Point	"	5	300	20	"
Ca	シカオートカラー-Ca	OCPC法	"	"	10	300	10.60	"
CPK	シカオートレート-CPK	Oliver法	Rate Assay	"	15	300	18	"
LAP	" -LAP	L-ロイシル-P-ニトロアニリド基質法	"	"	25	300	12	"
γ -GTP	" - γ GT	L- γ -グルタミル-P-ニトロアニリド法	"	"	25	300	12	"
GOT, GPT	GOT, GPT測定セット	I. F. C. C勧告案	"	日立716	15	各500	20	日本電子クリナライザー-HS
アルドラーゼ	シカオートレート-ALD(C)	UV法	"	日本電子クリナライザー	50	500		セントリフィケム兼用
CPK	" -CPK(C)	Oliver法	"	"	50	500		"

(株)京都第一科学

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μ l)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
Amy	ネフェロバック TM -アミラーゼ	散乱光度減少速度法	レートアッセイ	ネフェロテック TM	50	100	90	自動分析器に適用可
Lipase	" -リパーゼ	"	"	"	50	100	120	"
IgG	LSA-290アッセイ試薬	ネフェロメトリック・イムノ・アッセイ	エンドポイント・アッセイ	"	25	225	280	
IgA	"	"	"	"	50	225	280	
IgM	"	"	"	"	100	225	280	
C ₃	"	"	"	"	100	225	280	
C ₄	"	"	"	"	200	225	280	
ハプトグロビン	"	"	"	"	50	100	280	
α -1-アンチトリプシン	"	"	"	"	50	100	280	
ALB	"	"	"	"	3	100	280	
トランスフェリン	"	"	"	"	50	100	280	
α -2-マクログロブリン	"	"	"	"	100	100	280	

(株)京都第一科学

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μl)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
セルロプラスミン	LSA-290 アッセイ試薬	ネフエロメトリック・イムノ・アッセイ	エンドポイント・アッセイ	ネフエロテック™	200	100	280	
ヘモベキシン	"	"	"	"	50	100	280	
α-1-酸性糖蛋白	"	"	"	"	50	100	280	

国際試薬(株)

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μl)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
GOT	GOT 測定用試薬	UV法	Rate Assay	日立 706, 712, 716 726, クリナライザー				製造：国際試薬 販売：国際試薬, ミドリノ字
GPT	GPT "	"	"	"				"
LDH	LDH "	"	"	"				"
ALP	ALP "	Kind-King 変法	End Point	日立 706, 712, 716 726				"
ALP	ALP "	P-ニトロフェニルリン酸法	Rate Assay	クリナライザー				"
γ-GTP	γ-GTP "	P-ニトロアニリン変法	Rate Assay End Point	日立 706, 712, 716 726, クリナライザー				"
LAP	LAP "	"	"	"				"
CHE	CHE "	酵素法	End Point	日立 706, 712, 716 726				"
CHO	CHO "	"	"	"				"
TG	TG-R "	Rate 法	Rate Assay	日立 706 クリナライザー				"
TG	TG-UV "	UV 法	Rate Assay End Point	日立 712, 716, 726				"
TG	TG-E "	酵素法	End Point	ACA 6000 TBA-360, ABA				"
TP	総蛋白 "	Biuret	"	日立 706, 712, 716 726, クリナライザー				"
ALB	アルブミン "	BCG	"	"				"
BUN	BUN "	酵素 UV 法	Rate Assay	"				"
UA	尿酸 "	ウリカーゼ法	End Point	日立 706, 712, 716 726				"
CRE	クレアチニン "	Jaffe 法	Rate Assay End Point	"				"
ZTT	ZTT "	肝機能研究班・標準法	End Point	日立 706, 712, 716 726, クリナライザー				"
TTT	TTT "	"	"	"				"
Ca	Ca "	OCPC	"	"				"
GLU	GLU "	GOD 法	"	日立 706, 712, 716 726				"
T-BIL	T-BIL "	Jendrassik 変法	"	"				"
GOT	ウルトラザイムプラス GOT	Henry 法変法	Rate Assay	セントリフィケム, ロケム ジェムサーク, ABA				"

国際試薬(株)

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μ l)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
GPT	ウルトラザイムプラス GPT	Henry 変法	Rate Assay	セントリフィケム、ロトケム ジェムサック、ABA				製造：国際試薬 販売：国際試薬、ミドリ十字
CK	" CK-1	Oliver 変法	"	"				"
LDH	" LDH	Sharma 変法	"	"				"
HBD	" HBD	Ellis & Goldberg 変法	"	"				"
γ -GTP	" γ -GT	Szasz 変法	"	"				"
ALP	" ALP	Bowers & McComb 変法	"	"				"
AMY	" Amyl	酵素法	"	"				"

シノテスト商事(株)

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μ l)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
GOT・GPT	TA オートセット C	カルメン処方	Rate Assay	クリナライザー		各 500		
"	" C-1F	IFCC 処方	"	"		"		
"	" F	カルメン処方	"	日立706(D)	100	各 1,000		
GOT	GOT-S.V.R.	GSCC 処方	"	ロトケム セントリフィケム 他				測定機種により異なる
GPT	GPT-S.V.R.	"	"	"				"
LDH	LDH オートセット C	ウロブレウスキー法	"	クリナライザー		1,000		
"	" E L	ワッカー法	End Point	日立716				
"	" F	ウロブレウスキー法	Rate Assay	日立706(D)	50	1,000		
"	LDH-L-S.V.R.	ワッカー変法	"	ロトケム セントリフィケム 他				測定機種により異なる
"	LDH-P-S.V.R.	ヘンリー改良法	"	"				"
ALP	ALP オートセット C	ベッシーローリー法	"	クリナライザー		1,000		
"	" D	"	"	ロトケム セントリフィケム 他				測定機種により異なる
"	ALP-S.V.R.	ベッシーローリー変法	"	"				"
CPK	CPK-S.V.R.	オリバーロザルキー法	"	"				"
α -HBDH	α -HBDH-S.V.R.	ロザルキーウイルキンソン改良法	"	"				"
GLU	Glucose-S.V.R.	HK・G-6-PDH 改良法	End Point	"				"
CRE	CRE オートセット C	ヤッフェ変法	Rate Assay	クリナライザー		1,000		
BUN	BUN-S.V.R.	ウレアービ・GLDH 法	End Point Rate Assay	ロトケム セントリフィケム 他				測定機種により異なる
TG	TG-S.V.R.	ブッコロ・デビット法	End Point	"				"

中外製薬(株)

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μl)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
NH ₄	アマテスト	超微量拡散法	比色法	—	20	30	400	試薬キット

日水製薬(株)

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μl)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
ジアゾγ-GTP	ジアゾγ-GTP-Cセット「ニッスイ」2号	Orlowski 法	Fix Time Assay	日立-706D	10	5,000		日立400, 日立716 オリンパスACA 兼用
γ-GTP	γ-GTP-Cセット「ニッスイ」2号	"	"	日立-400	20	3,000		日立706D, 日立716 オリンパスACA 兼用
"	γ-GTP-Kセット「ニッスイ」1号	"	Rate Assay	TBA-360	48	416		ABA-100 セントリフィケム兼用
"	γ-GTP-Kセット「ニッスイ」2号	"	"	セントリフィケム	40	4,285		TBA-360, ABA-100 セントリフィケム兼用
PL	PL-Cセット「ニッスイ」1号	酵素法(PLD, COD, POD法)	End Point	"	5	885		ABA-100 セントリフィケム兼用
"	" 2号	"	"	※1	10	744		
"	" 3号	"	"	※1	10	1,248		
TG	TG-Cセット「ニッスイ」1号	酵素法(LPL, GDH, NAD法)	Fix Time Assay	セントリフィケム	10	742		ABA-100 セントリフィケム兼用
"	" 2号	"	"	TBA-360	8	1,250		ABA-100, 日立716 オリンパスACA 兼用
"	" 3号	"	"	日立-706D	10	833		日立400, 日立716 オリンパスACA 兼用
"	" 4号	"	"	日立-716	10	1,666		日立706D, 日立400 オリンパスACA 兼用
CHOL	CHOL-Cセット「ニッスイ」1号	酵素法(ChOE, ChOO, POD法)	End Point	※2	5	960		
"	" 2号	"	"	※2	10	1,152		
GLU	GLU-Cセット「ニッスイ」1号	酵素法(GOD, POD法)	"	※2	20	240		
"	" 2号	"	"	※2	20	1,260		

日本商事(株)

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μl)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
T-CHO	TC-K	酵素法	比色法	日立400, 500, 706, 716 オリンパスACA	10~20			2~8℃
リン脂質	PL-K	"	"	"	10~20			"
"	PL-K *f*	"	"	クリナライザー-HS, MS	10~20			"
LAP	LAP-N	基質:L-ロイシル-P-ニトロアニリド 発色:ジアセチルモノオキシド	"	日立400, 500, 706, 716 オリンパスACA	10~20			"
LDH	LDH-S	乳酸・シアホラーゼ・NTB法	"	"	10~20			"
Ch-E	Ch-E-N	基質:ベンゾイルコリン 酵素:コリンオキシダーゼ法	"	日立400, 500, 706, 716 クリナ, オリンパスACA	10~20			"
T-BIL, D-BIL	ビリルビン-S	アルカリアゾビリルビンルー法	"	"	10~20			"
UA	尿酸-N	TPTZ・還元法	"	"	10~20			"

日本商事(株)

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μl)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
トランスアミナーゼ	GOT・GPT-S	POP・酵素法	比色法	日立, オリンパス	10~20			2~8℃
TG	TG-S	LPL・ジアホラーゼ・NTB法	"	"	"			"

日本トラベノール(株)

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μl)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
IgA	LAS-Rテスト IgA	溶液内抗原抗体反応	ネフェロメトリー	ハイランドレーザ ネフェロメーター	10	120		
IgG	" IgG	"	"	"	10	120		
IgM	" IgM	"	"	"	10	120		
CRP	" CRP	"	"	"	5	60		

長瀬産業(株)

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μl)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
ALB	アルブミン リーゼント	ブロムクレゾールグリーン法	End Point	セントリファイケム	5	1,400	7	(製造元) UCC
TP	T-P リーゼント	ビューレット法	Initial Rate	"	10	1,400	11	"
UA	ユーリックアシド リーゼント	ウリカーゼ法	End Point	"	8	560	38	"
SGPT	SGPT リーゼント	Wroblewski・LaDue改良法	Rate Assay	"	40	840	23	"
Ca	カルシウム リーゼント	アリザリン法	End Point	"	10	560	32	"
IP	インオルガニックホスホラス リーゼント	Daly・Ertingshausen法	"	"	10	560	29	"
GLU	グルコース リーゼント	ヘキソキナーゼ法	"	"	5	840	27	"
BIL	トータルビリルビン リーゼント	ジアゾ法	"	"	25	560	29	"
BUN	BUN リーゼント	ウレアーゼ改良法	Initial Rate	"	5	840	31	"
AL-P	AL-P リーゼント	Bessey・Lowry・Brook改良法	Rate Assay	"	20	840	24	"
SGOT	SGOT リーゼント	Karmen改良法	"	"	40	840	23	"
CPK	CPK リーゼント	Oliver "	"	"	15	240	83	"
CRE	クレアチニン リーゼント	Jaffe法	Initial Rate	"	40	740	22	"
LDH L→P	LDH(L) リーゼント		Rate Assay	"	10	560	32	"
CHO	コレステロール リーゼント	酵素法	End Point	"	5	840	50	"
T-Gl	TG リーゼント	"	"	"	5	560	68	"

ヘキストジャパン(株)

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μl)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
IgG, IgA など ヒト血清蛋白	抗ヒト IgG 血清-LN	レーザー光散乱分析	同左	ペーリンク レーザーネフロメーター	10	25回/μl		
ALP	テストマ- C ALP モノ	Bessey-Lowry 法	Rate Assay	ABA-100 セントリフィケム ジェムサック ロトケム その他	機種により異なる	機種により異なる	機種により異なる	カルビオケム・ペーリンク社製 ヘキストジャパン(株) 販売
CPK	” CPK ”	UV 法	”		”	”	”	”
GOT	” GOT ”	”	”		”	”	”	”
GPT	” GPT ”	”	”		”	”	”	”
LDH	” LDH-L ”	”	”		”	”	”	”
BUN	” BUN ”	”	Rate Assay End Point		”	”	”	”
GLU	” グルコース ”	”	End Point		”	”	”	”
T-GL	” トリグリセライド ”	UV 法 (Bucolo - David 法)	”		”	”	”	”

ベックマン・ジャパン(株)

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μl)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
AMY	アミラーゼ テスト試薬	酵素法	Rate Assay	ABA-100他	10	620		
AMY-DS	アミラーゼ-DS ”	”	”	”	10	620		
BUN	BUN ”	”	”	セントリフィケム他	5	440		
GLU	グルコース ”	” (HK 法)	End Point	ABA-100他	5	310		
T-GL	トリグリセライド ”	”	Rate Assay	”	5	620		
コレステロール	コレステロール ”	”	”	セントリフィケム他	5	440		
CPK	CPK ”	”	”	”	15	440		
IgA	抗イミノグロブリン A	レートネフロメトリー	Rate	ICS	42	165		
IgG	抗イミノグロブリン G	”	”	”		165		
IgM	抗イミノグロブリン M	”	”	”		165		
C ₃ 補体	抗C ₃ 補体	”	”	”		165		
C ₄ 補体	抗C ₄ 補体	”	”	”		165		
ALB	抗アルブミン	”	”	”		165		
ハプトグロビン	抗ハプトグロビン	”	”	”		165		
トランスフェリン	抗トランスフェリン	”	”	”		165		
α ₁ -アンチトリプシン	抗 α ₁ -アンチトリプシン	”	”	”		165		

ベーリンガー・マンハイム山之内(株)

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μ l)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
CRE	クレアチニン・UV・テスト	酵素法	End Point	ABA-100	250	416		ABBOTT-VP兼用

堀井薬品工業(株)

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μ l)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
CPK	グラニューケムCPK, U, V, キット	Oliver, Rosalki変法	Rate Assay	セントリヒケム	15	33	43	単価は方法で幅あり
"	"	"	"	ジェムサック	15	33	43	"
"	"	"	"	ロットケム	20	25	56	"
"	"	"	"	ABA	5	60	24	"
"	"	"	"	AKES	40	25	56	"
"	"	"	"	LKB2086MARK II	10	30	47	"
"	"	"	"	H立706D	50	11	127	"
LDH	グラニューケムLDH-L, U, V, キット	Wacker, Amador変法	Rate Assay	セントリヒケム	10	77	16	"
"	"	"	"	ジェムサック	10	50	24	"
"	"	"	"	ロットケム	10	60	20	"
"	"	"	"	ABA	5	60	20	"
"	"	"	"	AKES	10	50	24	"
"	"	"	"	LKB2086MARK II	10	60	20	"
"	"	"	"	H立706D	50	22	55	"
GOT	グラニューケムGOT, U, V, キット	Henry, Amador & Wacker変法	Rate Assay	セントリヒケム	40	70	12	"
"	"	"	"	ジェムサック	40	47	18	"
"	"	"	"	ロットケム	40	57	15	"
"	"	"	"	ABA	5	120	7	"
"	"	"	"	LKB2086MARK II	20	60	14	"
"	"	"	"	H立706D	50	22	40	"
GPT	グラニューケムGPT, U, V, キット	Henry変法	Rate Assay	セントリヒケム	40	70	12	"
"	"	"	"	ジェムサック	40	47	18	"
"	"	"	"	ロットケム	40	57	15	"
"	"	"	"	ABA	5	120	7	"
"	"	"	"	LKB2086MARK II	20	60	14	"
"	"	"	"	H立706D	20	22	40	"

三光純薬(株)

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μl)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
LAP	LAP測定用試液	5-アミノサリチル酸法	End Point	EPA用全機種	機種により異なる	機種により異なる		(株)ヤトロン
TG	中性脂肪 #	酵素法	#	全機種	#	#		#
GOT・GPT	イアトロテストGOT・GPT	S. S. C. C. 準拠	Rate Assay	LKB他	#	#		#
ALP	# ALP	G. S. C. C. #	#	#	#	#		#
LDH	# LDH	S. S. C. C. #	#	#	#	#		#
LAP	# LAP	G. S. C. C. #	#	#	#	#		#
γ-GTP	# γ-GTP	S. S. C. C. #	#	#	#	#		#

武藤化学薬品(株)

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μl)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
血液像分類	ヘマトラック用ライト	バックン認識		サクラRSG-50			} 約10	
#	# バックハ	#		#				

(株)ヤトロン

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μl)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
LAP	LAP測定用試液	5-アミノサリチル酸法	比色法	END用全機種	機種により異なる	機種により異なる		
TG	中性脂肪測定用試液	酵素法	#	全機種	#	#		

山之内製薬(株)

※1. 尿中細菌、pH、蛋白、ブドウ糖、ケトン体、ウロビリノーゲン、潜血

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μl)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
HBs抗原	リバーセル	R-PHA法	マイクロタイマー法		25	100	230	約20検体の確認試薬を含む
※1	BMテスト8		dip and read法		約10cc	50	80	尿検査用
蛋白、ブドウ糖、ケトン、ウロビリノーゲン、pH	# 6		#		#	#	60	#
蛋白、ブドウ糖、ウロビリノーゲン	# 4		#		#	#	50	#
尿中細菌、pH、蛋白、ブドウ糖	# Na		#		#	#	46	#
pH、ブドウ糖、蛋白	# 3		#		#	#	20	#
蛋白、潜血、ブドウ糖	# GPS		#		#	#	44	#
ブドウ糖、ウロビリノーゲン、蛋白	# PGU		#		#	100	30	#
尿中BIL、ウロビリノーゲン	# BU		#		#	50	40	#
尿中ウロビリノーゲン	# ウロビリノーゲン		#		#	#	26	#
尿中・血清中BIL	# ビリルビン		#		#	#	22	#

山之内製薬(株)

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μ l)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
尿中細菌	BMテストN		dip and read法		約10cc	50	72	尿検査用
尿中潜血	" S		"			50	28	"
血中ブドウ糖	レフロマートグルコース		GOD/POD法		1滴(0.01ml)	50	120	血液検査用

和光純薬工業(株)

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μ l)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
GOT	GOT-FA Test wako	UV法	Rate Assay	セントリフィケム, ロトケム ジエムサック, アボット			10,000/セット	
GPT	GPT-FA "	"	"	"			10,000/セット	
LDH	LDH-FA "	"	"	"			11,000/セット	
ALP	Alkaline Phospha-FA Test wako	Bessey-Lowry法	"	"			11,000/セット	
LAP	LAP-FA Test wako	L-ロイシル-P-ニトロアニリド基質法	"	"			12,000/セット	
TG	Triglyceride-FA Test wako	酵素法	End Point	"			15,000/セット	
CHO	Cholesterol-FA "	"	"	"			15,000/セット	
GLU	Glucose-FA "	ムタロターゼ・GOD法	"	"			13,000/セット	
BUN	Urea N-FA "	酵素法	"	"			23,000/セット	
HDL-コレステロール	HDL-コレステロール-テストワコー	ヘパリン-Mn沈澱法	"	(用手法)	50	50		
GLU	Glucose C-Test wako	ムタロターゼ・GOD法	"	(")	20	100		
TG	Triglyceride G- "	GPQ-P-クロロフェノール発色法	"	(")	20	100		
NEFA	NEFA B- "	酵素法	"	(")	50	50		
GOT, GPT	トランスアミナーゼ C- "	"	"	(")	20	100		
IgG	IgG-Test wako	レーザー免疫比濁法	同左	レーザーネフェロメーター ZD-801		100		
IgA	IgA- "	"	"	"		100		
IgM	IgM- "	"	"	"		100		
CRP	CRP- "	"	"	"		100		

第一化学薬品(株)

測定項目	製 品 名	測 定 原 理	測 定 方 法	適 用 機 種 名	サ ン プ ル 量(μl)	測 定 回 数	価 格/1 検 体(円)	備 考
Amy	オート試薬AMY	酵素法	Rate Assay	日立716, 712, 726	10			
CRE	" CRE	ヤッフエ変法	"	706/706D	50			
β-リポ蛋白	" β-L	免疫比濁法	End Point	"	10			
リン脂質	" PL	酵素法	"	"	10			
UA	" UA	"	"	"	20			
ALP	" ALP	ベッシーローリー法	Rate Assay	"	20			
GOT	タイテストGOT	酵素法	Rate, End	"	15, 100			
GPT	" GPT	"	"	"	15, 100			
LDH	" LDH	"	"	"	10, 50			
BIL	" BIL	アルカリアゾビリルビン法	End Point	"	20			
T-CHO	" CHO-E	酵素法	"	"	10			
CHE	" CHE	柴田・高橋変法	Rate Assay	"	100			
ALB	" ALB-N	BCG法	End Point	"	10			
Ca	" CA	OCPC法	"	"	20			
CPK	" CPK	オリバー変法	Rate Assay	"	50			
γ-GTP	" GGT	オーロフスキー変法	End Point	"	20			
GLU	" GLU	グルコースオキシダーゼ法	"	"	10			
P	" IP	フィスケ・サバロー法	"	"	20			
LAP	" LAP	タッビー変法	"	"	20			
Mg	" MG	キシリジルブルー法	"	"	5			
TG	" TG	酵素法	Rate Assay	"	20			
TP	" TP	ピウレット法	End Point	"	20			
TTT	" TTT	規準操作法	"	"	20			
ZTT	" ZTT	"	"	"	20			
BUN	" UN	ウレアーゼインドフェノール法	"	"	10			
HBDH	" HBDH	酵素法	Rate Assay	"	50			
アンチトロロンビンⅢ	テストチーム「アンチトロロンビン」	合成発色基質法	Rate, End		50	45		(輸)KABI社
アンチプラスミン	" 「アンチプラスミン」	"	"		50	45		"

第一化学薬品(株)

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μ l)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
ヘパリン	テストチーム「ヘパリン」	合成発色基質法	Rate, End		50	90		(輸)KABI 社
HDL-CHO	HDL-C セット	デキストラン硫酸分画 酵素法発色	End Point			50		

東芝化学工業(株)

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μ l)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
GOT	GOT 測定用試薬	Karmen 法	Rate Assay	TBA-360	56	300~400		
"	"	"	"	TBA-880	30	"		
"	"	GSCC 法	"	TBA-360	56	"		
"	"	"	"	TBA-880	30	"		
"	"	Reitman-Frankel 法	End Point Assay	LAC	100	"		
"	"	UV 法	"	"	100	"		
GPT	GPT 測定用試薬	Karmen 法	Rate Assay	TBA-360	56	"		
"	"	"	"	TBA-880	30	"		
"	"	GSCC 法	"	TBA-360	56	"		
"	"	"	"	TBA-880	30	"		
"	"	Reitman-Frankel 法	End Point Assay	LAC	100	"		
"	"	UV 法	"	"	100	"		
ALP	ALP 測定用試薬	GSCC 法	Rate Assay	TBA-360	56	"		
"	"	"	"	TBA-880	20	"		
"	"	Kind-King 法	End Point Assay	LAC	16	"		
LDH	LDH 測定用試薬	Wroblewski-La Due 法	Rate Assay	TBA-360	56	"		
"	"	"	"	TBA-880	30	"		
"	"	Wacker 法	"	TBA-360	56	"		
"	"	"	"	TBA-880	30	"		
"	"	Cabaud-Wroblewski 法	End Point Assay	LAC	25	"		
LAP	LAP 測定用試薬	Nagel 法	Rate Assay	TBA-360	56	"		
"	"	"	"	TBA-880	30	"		
"	"	竹中・高橋法	End Point Assay	LAC	50	"		
γ -GTP	γ -GTP 測定用試薬	Orlowski 法	Rate Assay	TBA-360	56	"		

東芝化学工業(株)

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μ l)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
γ -GTP	γ -GTP測定用試薬	Orlowski法	Rate Assay	TBA-880	30	300~400		
"	" "	"	End Point Assay	LAC	25	"		
HBD	HBD "	Rosalki法	Rate Assay	TBA-360	56	"		
"	" "	"	"	" -880	30	"		
CPK	CPK "	Oliver法	"	" -360	56	"		
"	" "	"	"	" -880	30	"		
CHE	CHE "	DTNB法	"	" -360	8	"		
"	" "	"	"	" -880	5	"		
"	" "	"	End Point Assay	LAC	50	"		
β -LP	β -リポ "	ヘパリン・カルシウム法	Rate Assay	TBA-360	40	"		
"	" "	"	"	" -880	20	"		
AMY	AMY "	Caraway法	End Point Assay	" -360	8	"		
"	" "	"	"	" -880	5	"		
"	" "	"	"	LAC	25	"		
T-CHO	T-CHO "	酵素法	"	TBA-360	8	"		
"	" "	"	"	" -880	10	"		
"	" "	"	"	LAC	25	"		
F-CHO	F-CHO "	"	"	TBA-360	8	"		
"	" "	"	"	" -880	10	"		
"	" "	"	"	LAC	25	"		
TG	TG "	UV-酵素法	"	TBA-360	16	"		
"	" "	"	"	" -880	30	"		
GLU	GLU "	酵素法	"	" -360	8	"		
"	" "	"	"	" -880	10	"		
"	" "	"	"	LAC	25	"		
T-BIL	BIL "	Jendrassik法	"	TBA-360	16	"		
"	" "	"	"	" -880	30	"		
"	" "	"	"	LAC	50	"		

東芝化学工業(株)

50

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μl)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
BUN	BUN測定用試薬	Urease-Indophenol法	End Point Assay	TBA-360	8	300~400		
"	" "	"	"	" -880	5	"		
"	" "	"	"	LAC	25	"		
UA	UA "	Folin法	"	TBA-360	8	"		
"	" "	"	"	" -880	10	"		
"	" "	"	"	LAC	50	"		
CR	CR "	Jaffe法	"	TBA-360	16	"		
"	" "	"	Rate Assay	" -880	30	"		
"	" "	"	End Point Assay	LAC	100	"		
TP	TP "	Biuret法	"	TBA-360	16	"		
"	" "	"	"	" -880	10	"		
"	" "	"	"	LAC	50	"		
ALB	ALB "	BCG法	"	TBA-360	8	"		
"	" "	"	"	" -880	5	"		
"	" "	"	"	LAC	25	"		
Ca	Ca "	OCPC法	"	TBA-360	8	"		
"	" "	"	"	" -880	10	"		
"	" "	"	"	LAC	25	"		
IP	IP "	Molybdenum-Blue法	"	TBA-360	16	"		
"	" "	"	"	" -880	10	"		
TTT	TT "	肝機研法	"	" -360	16	"		
"	" "	"	"	" -880	15	"		
"	" "	"	"	LAC	50	"		
ZTT	ZT "	"	"	TBA-360	16	"		
"	" "	"	"	" -880	15	"		
"	" "	"	"	LAC	50	"		

協和醸酵工業(株)

※1 コレステロールエステルヒドラーゼオキシダーゼ法

測定項目	製品名	測定原理	測定方法	適用機種名	サンプル量(μl)	測定回数	価格/1検体(円)	備考
T-CHO	デタミナーTC	酵素法 ※1	End Point	全機種	20	100 500	100	但し的手法での数値
"	" TC ⁵ ..	" ※1	"	"	20	100	100	"
"	" TC ⁵⁵⁵ ..	" ※1	"	"	10	500	100	"
F-CHO	" FC	" コレステロール オキシダーゼ法	"	"	50	50 250	150 120	"
"	" FC ⁵⁵⁵ ..	" "	"	"	20	250	120	"
UA	" UA	" ウリカーゼ・POD法	"	"	50	50 100	110 100	"
UN	" UN-E	" ウレアーゼ・GLDH法	"	"	10	100	70	"
CHE	" Ch-E	" オルソトルオイルコリン法	"	"	20	100	125	"
NH ₃	" NH ₃	" GLDH・NADPH ₂ 法	"	用手用	500	25	250	"
PL	" PL	" ホスホリパーゼD コリンオキシダーゼ法	"	全機種	20	50	180	"

医療と臨床検査

「医療と臨床検査」発行について……

医療における臨床検査の貢献度については、今更申し上げるまでもありません。而も、簡易化・自動化を中心に、日進月歩の発展を続けており、関連情報の量も亦、おびただしいものがあります。

弊社でも、かねてから、この分野の報道の重要性を認識し、1977年(昭和52年)からは、薬業時報の臨時増刊号として、「臨床検査版」を

発行してまいりましたが、4月から、これを新しいメディアとして独立させ、「医療と臨床検査」の題字の下、より徹底した検査情報の報道を行うことにいたしました。

発行の形態や編集方針などは別項の通りです。臨床検査関係の情報収集に本紙のご購読をおすすめ致します。

編集方針

臨床検査技師の日常業務に直結した学術的・技術的最新の情報を、
斯界の権威者により、分かりやすく解説します。このほか内外の話題、
関連学会ニュース、臨床検査薬および機器情報、施設訪問記事を加え、
臨床検査技師の実務紙をめざしております。

発行の形態

○サイズ	タブロイド判(11段組み)
○ページ数	8ページ～12ページ
○発行日	毎月1日
○年間購読料	1,200円

執筆およびご協力くださる方々

(敬称略)

藤 沢 正 輝 (日本医師会 常任理事)

河 合 忠 (自治医大教授)

茂 手 木 皓 喜 (駒込病院副院長)

林 康 之 (順天堂大助教授)

春 日 誠 次 (関東通信病院 生化学検査部長)

新 谷 和 夫 (関東通信病院 血液学検査部長)

石 井 暢 (昭和医大 臨床病理教授)

土 屋 俊 夫 (日本大学医学部 臨床病理教授)

井 川 幸 雄 (慈恵医大教授 中検部長)

馬 場 茂 明 (神戸大医学部 第二内科教授)

佐 藤 乙 一 (国立立川病院 技師長)

中 甫 (三井記念病院 技師長)

水 戸 部 光 衛 (都立墨堤病院 検査科)

病態化学 — 生体成分の働きとその化学的評価 —

埼玉医科大学生化学教授 坂岸良克著

A5判 ● 4,800円 (送料300円)

本書は、生体成分の働きおよび検査値データと病態との
関連を実践的にまとめた検査値評価マニュアル。

病態生理 — 生体機能とその失調 —

聖路加国際病院内科医長 橘 敏也著

A5判 ● 4,000円 (送料200円)

医家である著者が臨床体験に基づき薬剤師に必要な病態
生理学の知識を薬剤師むけにまとめた格好の入門書。

〒101 東京都千代田区神田神保町2-36(北神ビル)

電話 東京(03)265-7751代



薬業時報社

〒541 大阪市東区道修町4-6-1(新芝川ビル)

電話 大阪(06)231-7061代

主要商品紹介

医用ガス質量分析計 MS-2



旭メディカル株式会社

東京都港区高輪 2 丁目 21 番 46 号
(富士工本ビル)
〒108 TEL (03) 449-3731

概要

ガス分析計は現在多く市場に出まわっていますが、大部分は一台につき一ガス又は二ガスを分析測定することができるものばかりです。そこで質量ガス分析計が出現し一台の器械で分子量が1~200程度ならずべてといつてよいほど自由に設定し測定することができるようになりました。

特長

1. 従来に比較し低価格です。
2. マスレンジ 1~200まで測定出来ます。
3. マス全レンジスキャンモニターできます。
4. 移動が簡単です。電源もAC100Vのみです。
5. 2チャンネル、8チャンネル同時出力記録が可能です。
6. 経皮プローブを使用することにより、血液中のガスが無侵シユウで測定できます。(経皮プローブは当社独特の製品であり画期的な特長を持っています。)
7. 質量分析計用のカテーテルがあれば、カテーテルを接続することにより血液ガスもモニターできます。

仕様

- 測定方法 カドラポール型
- 真空値 10^{-7} mmHg
- 応答時間 50ms (0~90%)
- サンプル量(呼気ガス) 15~40ml/min.
- 経皮電柱応答時間 50sec. (カニューラ 2 m)
- マスレンジ 1~200
- 寸法 巾830、高さ610、奥行540mm、重さ123kg

利用法、参考事項など

- 肺機能ではO₂、CO₂の連続分析によりガス交換能力、酸素消費量、クロージングを行う時のガス分析計として使用出来ます。
- 麻酔では手術中の麻酔ガス(N₂O、ハローセン)等のモニター、又は患者の肺能力のモニターに使用出来ます。
- 質量分析計用のカテーテルがあれば血液ガスモニターが継続的に行える為手術中の血液モニターとして使用できます。
- 小児科、ベビーケア等で血液ガスをモニターするものとして当社の経皮プローブを使用すれば、血液ガスモニターが無侵シユウで行う。カテーテルが使えない分布に威力を発揮します。
- 各種動物の微量ガスモニター、スキャンを使った多種類のガスモニターとして幅広い応用が期待できます。



米国シャーウッド・メディカル社製

血液凝固測定器 ランサーコアギュライザー0123型

朝日ライフサイエンス株式会社

東京都千代田区二番町9番地3
〒102 TEL (03) 265-5031

概要

ランサーコアギュライザー0123型は、特にプロトロンビン時間(PT)と活性トロンボプラスチン時間(APTT)を自動的に連続測定出来るよう開発された装置である。

特長

本器は新鮮血漿サンプルに対し、次の5種の測定法を選択できる。

①PT-1 ②PT-2 ③APTT ④APTT(C. A. T) ⑤Man

本器では血漿サンプルの準備とサンプル容器への分注、試薬#1、#2容器への試薬の注入後「スタート」プッシュボタンを押すことにより、サンプル容器のセンサーによる確認、サンプル容器のインキュベート、測定モードにより30秒又は60秒ごとのターンテーブルの送り、光透過度計測部へのサンプル容器移動の確認と#1ピペット作動、#1試薬の注入、光透過度計測部での凝固開始時間の自動計測、凝固開始時間結果のプリントアウトと次サンプルの光透過度計測部への移動、全サンプル測定完了後のターンテーブルの始動位置までの復帰等自動ステップが進行する。

仕様

同時セット最大サンプル数60。サンプル量0.1ml。ピペット#1、#2容量0.1ml/0.2ml可変、ピストン方式による自動ピペッター2基装備。インキュベーターブロック温度 $37^{\circ}\text{C} \pm 0.3$ 。試薬#1槽温度 $37.5^{\circ}\text{C} \pm 0.3$ 、蒸発を防止する保冷システム完備。コンピューター出力及びレコーダー出力装備。デジタルプリンター内蔵。あらゆるメーカー試薬を使用できる。

最大測定時間 PT90sec APTT90sec/150sec(special R.) APTT(special Reagent 150sec) Man 200sec。

利用法、参考事項など

PTの延長は、凝固機序の第二、三段階に關与する凝固因子(I, II, V, VII, X)の欠乏を示唆し、APTTの延長は第VII因子を除くすべての血漿凝固因子の欠乏を示唆する意味で、両検査はこれら因子の欠乏の有無を迅速にスクリーニングする手段として、近年広く利用されてきている。また、播種性血管内凝固症候群(DIC症候群)等の治療としてヘパリン(抗凝固剤)点滴療法が行なわれているが、その際の使用量モニターとしても迅速なAPTT検査が必要視されてきている。



原子吸光々度計 モデル5000



安部商事株式会社

大阪市北区中之島3丁目6番32号大阪ビル
〒530 TEL (06) 443-8801(代)

概 要

Perkin-Elmer モデル5000は最新のコンピューター技術、高エネルギー光学システムを取り入れた逐次連続分析方式による原子吸光々度計です。あらゆる装置操作は内部コンピューターにより監視され、制御されます。結果として、操作が簡易化され装置条件、分析の条件設定が迅速かつ正確に出来る様になり精度と検出限界について最高の性能を発揮します。

特 長

Perkin-Elmer モデル5000は、6元素分析プログラム用メモリーが内蔵され、又磁気カードリーダーを利用することで分析条件、測定波長、スリット幅、ランプ位置、電流値、積分時間、ガス流量等の設定が可能です。又、附属品のAS-50オートサンプラーを組み入れますと6元素50検体の連続測定が、約1時間で終了します。分析が終了すると警報が、標準及び試料を含め分析結果をPRS-10プリンター上に表示されている事を知らせます。HGA-500を附属するとモデル5000でのグラファイト炉による多元素連続分析が可能です。

仕 様

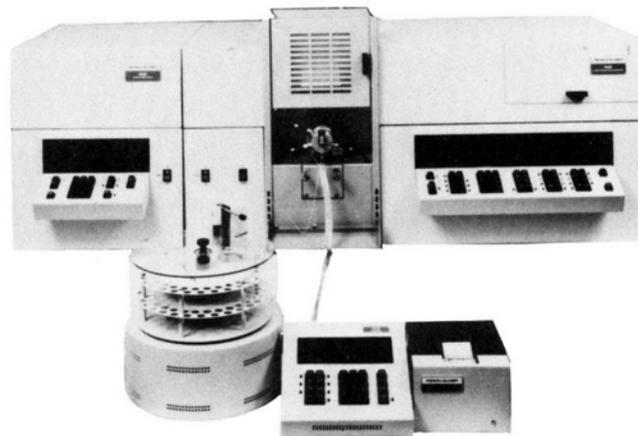
- 分光型式：焦点距離408mmのCZERNY-TURNER型分光器
- 分光波長：180nm～900nm
- 分散能：紫外域 0.65nm/mm分散
：可視域 1.30nm/mm分散
- 表示モード：吸光度～2,000A 濃度～9999
- エラー警報表示：25種類
- 積分/ピーク作動時間：0.2～99秒、インターバル0.2秒以下
- 寸法(本体)：61cm(H)×75cm(D)×119cm(W)
- 電源：105V～125V、50Hz/60Hz、250W～300W

利用法、参考事項など

Perkin-Elmer モデル5000原子吸光々度計とHGA-500グラファイトファーンエスを組み合わせ、微量サンプル中の元素分析に利用できます。血液中及び尿中の、マグネシウム、ナトリウム、カリウム、カルシウム、鉄、銅、亜鉛、リチウム等の測定をモデル5000は完全自動で6元素の連続測定が可能です。

参考文献

AA-560 A,D.Olson and W.B.Hamlin,"A.New Method for Serum Iron and Total Iron Binding Capacity by AAS", Clin, Chem, 15, 438(1969), protein is removed by addition of TCA and centrifugation, Iron is determined in the Supernatant.



概要

ABBOTT VPは、生化学検査室の自動化により、検査室内の省力化、精度の向上、経済性の向上を重視して開発されたもので、使用者の満足度を最も重要なファクターと考え、機器のみならず試薬(A-Gent)その他消耗品のすべてをトータルシステムとして提供しております。

特長

アボット社独自の二波長測光法により、他物質の影響を最少にし、より正確な結果を、より少ない検体量($1.25\mu\text{l} \sim 25\mu\text{l}$)にて測定できる装置です。進んだコンピュータ技術によりコンパクト(必要面積 $61 \times 61\text{cm}$)にまとめられており場所をとりません。洗浄、試薬の充填、サンプル・試薬量、温度等コンピュータにより操作、確認され、人はボタン操作のみになっています。又大病院より中小病院まで広くご利用いただけるように、アボット生化学検査システムも用意しております。

- 液面センサの使用により、検体量の多少にかかわらず常に液面より 2.3mm 下がった所で停止しますのでキャリオーバーを防ぎます。
- 試薬量は $250\mu\text{l}$ と少量ですので経済的です。
- エンド・ポイント法で465検体/時と高い処理能力を誇ります。
- コンパクト設計の為、設置場所を選びません。又附帯工事は、100V電源があれば一切必要ありません。
- ボタン操作のみですので、項目切り換えに時間がかかりません。
- 警報装置により、データの読み誤り等の時間を節約します。

仕様

システム：ディスプレイ、2波長測定、超微量方式
 分析可能項目数：A-Gent 試薬15項目、その他試薬を含め計25項目以上

各種パラメータセット：自動

検体・試薬量：検体量 $1.25\mu\text{l} \sim 25\mu\text{l}$ 試薬量 $250\mu\text{l}$

第2試薬は $5 \sim 150\mu\text{l}$

シリッジ洗浄・試薬充填：自動

同時測定項目のチャンネル数：1チャンネル
 恒温装置と温度：クーラ内蔵ウォータ・バス方式、 25°C 、 30°C 、 $37^\circ\text{C}(\pm 0.1^\circ\text{C})$

項目の切り替え時間：必要なし
 分光器の種類・波長範囲：干渉フィルタ、 $340\text{nm} \sim 660\text{nm}$
 分析速度および測定モード：End-Point 最大465検体/時、
 Rate 最大310検体/時

使用電源：電圧 $100 \pm 10\text{V} \cdot \text{AC}$
 周波数 60Hz または 50Hz 、単相 3.0A
 電力 300W 、
 電源プラグ3芯、アース付

所要面積： $61 \times 61\text{cm}$
 装置の寸法・重量： $61(\text{W}) \times 59(\text{H}) \times 61(\text{D})\text{cm}$ 、 86kg





概 要

PRIASは3つの独立した装置、即ち“完全自動サンプル前処理装置”正確でしかも操作の簡単な“完全自動ガンマーカウンター”及び経済的で信頼性の高い“完全自動液体シンチレーションカウンター”から構成され、すべてを合わせた完全なシステム、即ちベーター、ガンマーのトータルシステムとして使用できます。

特 長

1. 卓上型でコンパクトに設計されています。
2. カセット及びトレイ方式ですので分注操作から測定まで一貫したシステムです。
3. 大変便利な認識カード(Pos-IDent)を使用しています。
4. 各種テストチューブ(10~16mmφ, 50~150mmL)が使用出来ます。
5. プッシュボタンコントロール方式の採用により機械の操作は対話方式で非常に簡単に行えます。
6. データー処理機構を内蔵しております。
7. 新しい各種データ打出し機構が用意されており、これらはお持ちのデータ処理装置と接続使用が出来るようにインターフェーマとソフトウェアを皆様に幅広く提供致しております。

仕 様

1. PRIAS PS型サンプルプレバレーション(調整)装置
(240, 408, 504サンプルシステム)
2. PRIAS PGD型自動ガンマーカウンティングシステム
(240, 408, 504サンプルシステム)
3. PRIAS PL(D)型液体シンチレーションカウンター
(240, 408サンプルシステム)
4. PRIAS 大容量冷却遠心分離機(カセット方式)
5. PRIAS インキュベーター、振とう器他各種アクセサリが用意されております。

オートウェル ガンマシステムARC-500

Aloka

アロカ株式会社

東京都三鷹市牟礼6丁目22番1号
〒181 TEL (0422) 45-5111

概要

AlokaオートウェルガンマシステムARC-500は、240サンプルの γ 線試料測定装置で、検体グループの判別、核種、分析条件、及びデータ処理内容など、サンプル測定に必要なすべての条件をマイクロコンピュータの“RIA Number”機能がグループごとに完全独立設定、その他に自動割込み機能、自動割込み機能(ジャンプ機能)、自動再起動機能などを備え、各種のRIA検査に利用できる。

特長

1. サンプルは、コンパクトな本体に10本単位のチューブラック24個により、最大240サンプル測定できる。2. 操作は、すべてマイクロコンピュータの“RIA Number機能”により、14グループまでの測定条件が独立設定でき複数の検査に便利で、プログラムの設定、及び変更はキーボードのスイッチによりワンタッチで行なえる。3. 各種のプログラムは、内蔵のバックアップ電源により、パワーオフあるいは停電などで、電源がしゃ断されても、約1ヶ月間は保存される。4. 固定条件でのルーチンワーク測定の場合は、IDコードのついた、RIAラックを試料グループの先頭に配置するだけで、条件指定ができ、また自動測定中も割り込み測定ができて、その後も自動測定が続けられる。5. AlokaRIAトータルシステムとして、この装置で使用するラック、パレットがそのまま使用できる自動分注器、冷却遠心分離機などがある。

仕様

試料数：240本、チューブラック数：10本単位、24個、使用試験管：アロカ#200、シオノギチューブ、第一チューブ、栄研チューブ、その他15mm ϕ ×105mm以内の試験管、試料交換時間：約12秒、測定条件の入力方式：キーボードから対話方式で入力、グループごとに完全独立設定、測定核種： ^{125}I 、 ^{131}I 、 ^{75}Se 、 ^{51}Cr 、 ^{57}Co 、 ^{203}Hg 、 ^{59}Fe 、Free、バックグラウンド：手動、又は自動設定可能、プリセットタイム：1～999.9min、測定サイクル：1～5、無限回、レシオ：B/T、T/B、B/Bo、Bo/B、cpm、ブランクサンプル：1～10まで測定可能、ウインドー：固定、又はフリー、スケラ/タイマ表示：6桁表示、所用電源：AC100V、50/60Hz、約300VA。

利用法、参考事項など

オートウェルガンマシステム、ARC-500は、各種データ処理装置、自動分注器、冷却遠心分離機、低温恒温器、攪拌機などと、AlokaRIAトータルシステムを構成し、次のような用途に使用できる。1. 市販されている、各種RIAキットによるホルモンなどの大量測定。2. 研究室などで、新しく開発された試薬によるホルモンなどの定量、試薬の開発研究。3. 一般生化学分析における、分注、攪拌、インキュベーション(低温恒温)などの作業。4. RIA以外の放射性物質を利用したトレーサ実験における放射能測定。5. 廃液、廃棄物などの残留放射能モニタ。



完全自動炎光光度計 AFM505 I



株式会社

アーンスト・ハンセン商会

神戸市葺合区小野柄通7丁目1-18
〒651 TEL (078)251-3911

概 要

AFM505Iは、FCM634Iフレームフォトメータにサンプルテーブルを接続することにより、完全自動炎光光度計として御使用頂けます。信頼度の高い正確な測定結果、簡単な操作、迅速測定、安全機構そして耐久性がその基本構想となっており、これら全ての要素を装置に反映させております。

特 長

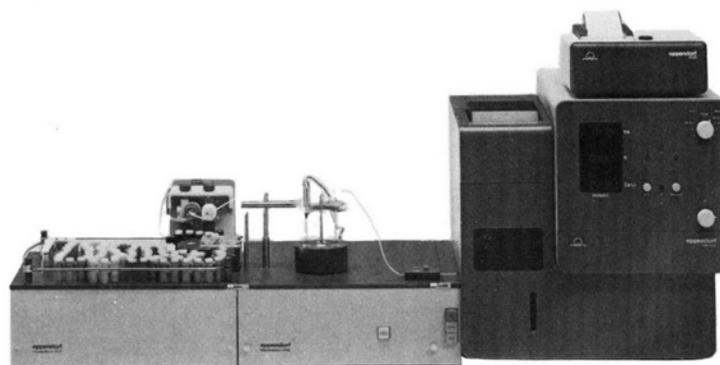
- 試料の吸引から測定結果の表示まですべて完全自動で行ないます。
- 処理能力は一時間当たり120試料、360の測定値(Na, K, Ca)が得られます。
- 血清中のNa, K及びCaの同時測定が可能で、プログラムセクターの切換えにより、Na, K(尿中)、*及びLi(血清中)の測定も行うことができます。
- 血清中のNa, K, Ca及び尿中のNa, Kの測定はそれぞれわずか40 μ l、10 μ lの試料で行えます。
- 各項目の測定値はマイクロプロセッサが項目別に、0.8秒間に50回繰り返し測定し、その平均値を表示します。
- 測定方法は簡単でもっとも信頼できる精度の高い“Li内部標準法”を用いております。

仕 様

- | | | | |
|---------|---|---------|-----------------------|
| ● 測定項目 | Na, K, Ca, Li(血清),
Na, K(尿) | ● バーナー | MéKérシステム |
| ● 試 料 | 血清40 μ l (Na, K, Ca),
100 μ l (Li)
尿 10 μ l (Na, K) | ● ガ ス | アセチレン |
| ● 稀 釈 率 | 血清 1 : 50 (Na, K, Ca)
1 : 20 (Li)
尿 1 : 200 (Na, K) | ● 検 出 器 | フォトセル |
| ● 測定時間 | 120検体/h | ● フィルター | 干渉フィルター |
| | | ● 電 圧 | 110V 50/60Hz |
| | | ● 消費電力 | 550VA
コンプレッサー 85VA |
| | | ● 寸 法 | 125×45×47cm |
| | | ● 重 量 | 約61kg |

利用法, 参考事項など

本器は、病院の検査室、検査センター、麻酔科、外科の研究室などで、測定を自動化することにより、大巾な省力化が達成できる最新型の自動炎光光度計です。更に特別仕様として外部のコンピューター接続に対応できるように、コード付エッペンドルフサンプリングチューブと専用のサンプルテーブルを別に用意しております。これはサンプリングチューブ自身からのデータをサンプルテーブルで読みとり、検体の確認識別と測定結果をひとつのデータブロックとし、そのデータを外部コンピューターへ送り、データの最終処理を行うことができます。



概要

この臨床検査システムは、病院の中央検査室及び検査センターに於ける検査の受付、測定、結果収集、報告書の作成、精度管理等の一連の業務を病院全体の立場からシステム化したもので、人手不足の解消、データ収集、解析の自動化、業務作業の迅速化、ミスの削減、報告書の作成までの時間短縮等がはかれ、経営の合理化を推進することができます。

特長

1. 柔軟性に富んだWANGコンピュータにより、システムの規模、目的に応じた最適の構成にすることができます。
2. 操作は全て会話形式で運用されますので、誰にでも簡単に操作でき、専任のオペレーターを必要としません。
3. コンパクトな設計のハードウェア構成のため、場所をとらず、どこにでも設置できます。
4. 検査項目数や検体数の増大に簡単に対処できる豊富な周辺装置群とソフトウェアを用意しています。
5. 拡張性があり、ホストコンピュータと結ぶことによって総合的な病院情報システムを構築することができます。

システム構成

1日の処理検体数、登録検査項目数、入力端末数、接続機器数等の条件により、システムが拡張されます。

システム名	処理検体数	登録項目数	端末数	接続機器
○MAPS-1	100以下	50以下	1	1台
○ " -2	500 "	250 "	1	1 "
○ " -3	800 "	500 "	2	1 "
○ " -4	2000 "	800 "	4	2~3 "
○ " -5	2000以上	800以上	4	

適用業務

- 検査受付
(キーボード・ディスプレイ)
(マークシート)
- 検査台帳作成
- 検査ラベル作成
- ワークシート作成
- 検査結果オンライン入力
- 検査結果オフライン入力(紙テープ、フロッピーディスク)
- 検査結果手入力
- 各種報告書作成
- 結果問合せ
- 検査漏れチェック
- 検査データ蓄積
- 日・月報作成
- 統計処理
依頼先別検査項目一覧表
依頼先別検査件数・点数一覧表
異常データ分類表
- 精度管理
各種分析・統計処理
- マスター修正
- ファイル修正
- 検査情報検索



EMA-110型 全自動グルコース分析装置



株式会社 医用技術研究所 東京都立川市錦町2-4-4
〒190 TEL (0425) 24-0907

概 要

血糖分析はクリアランステスト、緊急テスト等の特殊性から多項目自動分析装置での分析から切りはなされ専用機が要求されています。この要求を満たす為に、緊急テスト用として、1分以内の測定時間、および多項目自動分析装置の姉妹機として、200検体/Hの高速処理を実現しました。マイコンの内蔵により従来の単能機より総合性能が大巾にアップしています。

特 長

- マイコン内蔵… (マイコンの採用により、システム制御、CV計算、プリンター制御、自動洗浄等が全自動で行えます。
- 高速処理… (2連反応系の採用により200検体/Hの高速処理を実現しました。
- 2連反応系… (2連反応系は高速処理と同時にダウン対策にもなります。つまり1つの反応系が故障しても他の反応系で分析を続けることができます。
- 緊急検査… (グルコースオキシダーゼ酸素電極法は反応開始後15秒で測定が終了しますので1分以内に完了します。
- 試薬の再使用… (検知器は酸素電極を使用していますので反応液が赤色に着色しても再使用が出来、経済的です。

仕 様

- 方 式：グルコースオキシダーゼ酸素電極法
- 処 理 能 力：200検体/H
- 測 定 レ ン ジ：0 ~ 999mg/dℓ
- サ ン プ ル 量：20μℓ
- 試 薬 量：1.5ml
- サ ン プ ル ト レ イ：100本
- 表 示：デジタル4桁
- 機 器 較 正：スタンダード専用カップによる全自動較正
- 緊 急 分 析：緊急分析ボタンによる

- 電 源：AC100V, 50/60Hz, 3A
- 寸 法：巾480×高410×奥行630mm
- 重 量：40kg

利用法、参考事項など

多項目分析装置の姉妹機として
血糖用検体の採血時の特殊性や緊急検査の必要性より多項目分析装置に組入れるのが難しいので本装置を血糖分析専用として使用すれば200検体/Hの高速処理能力や100検体用サンプルトレイ、さらに全自動較正、洗浄方式も相まって人手を取りません。又必要に応じてコンピューター内にデータの蓄積が出来ますので多項目分析装置とデータの受渡しも出来ます。

概要

操作性、機能性及び経済性に優れた第3世代の超微量遠心方式自動化学分析装置です。測定部と分注部が単一ユニットに取められており、トランスファーディスクを移し変える必要がありません。トランスファーディスクとキューベツトは単一のディスポーザブルローターからできており、2ステップ反応が連続実施できます。従って7種類の分析モード採用が可能になりました。

特長

- サンプル量は3~80 μ l、試薬量は25~370 μ lまで可変です。
- トランスファーディスクとキューベツトが単一のディスポーザブルローターからできているため、ディスクを移し変える必要がなく、さらに2ステップ反応を連続的に行なえます。
- キセノン光源で回析格子モノクロメーターを使用しているため、波長は280~750nmまで可変です。半導体フォトダイオードで水平方向の光を測定するため精度は一段と高くなっています。
- マイクロプロセサー内蔵により操作はフロントパネルのプッシュボタンで全て制御できます。30測定項目のプログラムが自由自在に設定できます。
- 試薬及び検体の蒸発、相互汚染の問題はありません。

仕様

- サンプル量：3~80 μ l (1 μ l 毎調整可)
- 試薬量：25~370 μ l (5 μ l 毎調整可)
- キューベツト数：30/ローター (サンプル数25、試薬2、スタンダード3)
- 温度：25~40 $^{\circ}$ C (0.1 $^{\circ}$ C 毎調整可)
- 処理能力：酵素250検体/時、基質350検体/時
- 吸光度：0~3A
- 光路長：2~16mm (可変)
- 波長：280~750nm (可変)
- 寸法：89(巾) \times 74(高) \times 56(奥)cm, 140kg

利用法、参考事項など

独特の光学系、ローター及びマイクロプロセサーの組み合わせにより、超微量遠心方式測定が可能となりました。さらに下記に示す7種類の分析モードの採用が初めて実現化されました。

1. Absorbance Mode (吸光度法)
2. Enzyme Kinetic Mode (酵素反応速度法)
3. Enzyme Start Mode (酵素開始法)
4. Initial Rate Mode (初速度法)
5. Autoblanking Mode (自動ブランク法)
6. Holdblanking Mode (ブランク固定法)
7. Substrate Start Mode (基質開始法)



**概 要**

本装置は、試験紙を用いて尿中の蛋白質、ブドウ糖、ウロビリノーゲン、pHの半定量を自動的に測定するもので、試験紙の呈色の度合を反射測光方式により光学的に検知し、プリントアウトする。尿コップのままで測定ができ、操作が非常に簡単である。又、オートサンプラーの接続により全自動となる。潜血は現在開発中である。

使用試験紙 UMS用ペーパーUAG使用（栄研化学製造）
 試験紙収納数 3カセット 135枚MAX、（1カセット45枚入）
 使用電源 AC 100V 3A
 本体規格 350(巾)×410(高)×500(奥行)mm 約30kg

特 長

- 1) 尿コップ(検体)を差し込むだけで、検査データを自動的にプリントアウト。
- 2) 2波長反射測光方式。
- 3) 測定時間 約100検体/1時間（1検体 約35秒）。
- 4) 校正は1日1回。
- 5) データの2回打出し可能。
- 6) オートサンプラーの接続可能（別売）。

仕 様

測定原理 試験紙反応の反射測光方式。
 測定成分 蛋白質 (PRO) -、±、+、2+、3+、4+
 および ブドウ糖 (GLU) -、±、+、2+、3+
 測定範囲 ウロビリノーゲン(URO) ±、+、2+、3+、4+
 pH (pH) 5、6、7、8、9
 測定指示方式 プリンターによる印字方式

測定時間 約100検体/1時間（1検体約35秒）
 サンプル量 約20～50ml



概要

当器は光透過するものの濃度を測定するもので、特に臨床検査室においてセルロースアセテート膜やゲル等の支持体を用い電気泳動で分画された検体を測定します。

特長

操作は非常に簡単で、コンパクトにまとめられたデザインは検査室の場所をとりません。データはデジタル表示されると共に、X-Y-Zレコーダーに記録され報告書を作成します。

またID番号や日付等の打ち込みはキー入力でき、操作手順はフロントに表示されております。

さらに必要に応じて計算器に接続し多量のデータ処理もできます。

仕様

- フィルター4枚内蔵 (400~700nm波長域)
- 全自動又は手動分画検出
- 27検体まで連続測定
- O. D. 範囲 0~2.2
- 精度 $\pm 0.2\%$



自動式稀釈器 デイルシルV

(フランス・ギルソン社製)



EMS機器株式会社

大阪市北区西天満5丁目13番11号
〒530 TEL (06) 313-0537代

概要

2 μ l～20mlの範囲内で、高い精度と再現性でサンプルの稀釈を自動的におこないます。液はチューブ内を流通するだけで、装置内に入り込むことはありません。

特長

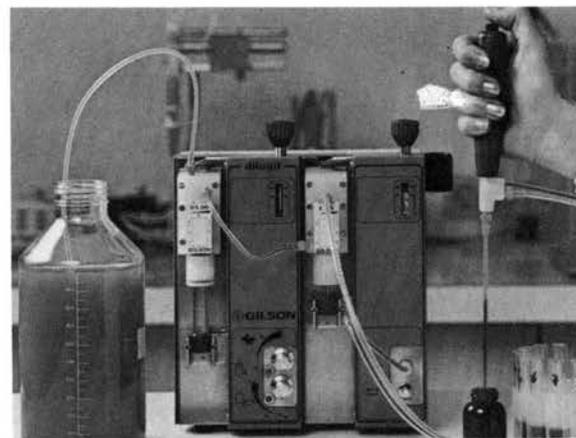
1. デジタル表示ボリュームメーター
サンプルと稀釈液のそれぞれの容量を連続可変ボリュームメーターで簡単に設定できます。
2. 流速可変
吸入と吐出の1サイクルの時間が、それぞれ独立して、4秒、5秒、7秒、12秒の4段階に切換えられます。容量、粘度などに合わせて選べます。
3. リモートコントロール
離れた所でピペッティングが容易に行えます。

仕様

吸入・吐出時間：4、5、7、12秒の4段切換え
電源：100V、50/60Hz
寸法：21×24×23cm
重量：9kg

操作法

- ① EおよびDのそれぞれの容量調整用キットを本体にセットし、それぞれを希望の容量に設定します。
- ② 最初のボタン操作によって、あらかじめ設定した容量ずつのサンプル液と稀釈液が吸入されます。
- ③ 次のボタン操作によって、サンプル液の吐出につづき、稀釈液が吐出されます。



概要

クリニテックは、感度、再現性、安定性の高いエームス尿検査試験紙を自動的に読み取り、結果を自動プリントアウトするコンパクトな尿分析器です。肉眼比色に伴いがちな判定のバラツキを解消、検査データの標準化を意図して開発したものです。専用検査紙として7号(N-マルチスティックス)と6号(マルチスティックス)があります。

特長

- pH、蛋白質、ブドウ糖、ケトン体、潜血、ビリルビン、亜硝酸塩、ウロビリノーゲンの8項目まで検査できます。
- 作動、較正、検査紙識別、読み取り、結果表示・プリントアウトは内蔵のマイクロコンピュータで完全制御されます。
- 基準波長と測定波長を比較演算する2波長測定方式のため、検査紙や着色尿にもとづく誤差は補正されます。
- 検査紙を尿に浸す→STARTボタンを押す→検査紙をフィードテーブルにのせるだけで結果が得られます。結果は専用のクリニテックプリンタで、自動プリントアウトされます。
- 検査紙の反応・判読、操作手技のチェックは、パフォーマンスカプセルで行なえます。

仕様

- 検体処理能力：60検体/時間
- 寸法：292(幅)×273(奥行)×109(高さ)mm
- 重量：約4.5kg ●電源：100VAC50/60Hz

標準付属品

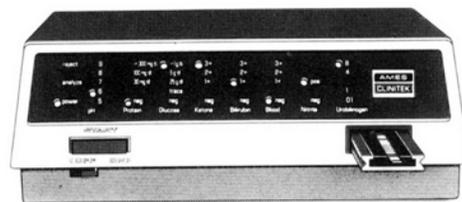
- クリニテック用フットスイッチ……………1個
 - クリニテック用パフォーマンスカプセル……………1瓶
 - クリニテック用検査紙7号(N-マルチスティックス)…1本
- 別途販売付属品
- クリニテックプリンタ

利用法、参考事項など

クリニテックプリンタは、エームス尿分析器クリニテックによる分析結果を自動プリントアウトする専用プリンタです。1台接続用2台接続用の2種類がありますが、いずれも、検査年月日、検体No、分析結果の順にプリントアウト。プリンタペーパーはそのまま院内検査伝票として使用できます。

クリニテックプリンタ 仕様

- 印字速度：約2.4ライン/秒
- 記録紙幅：76mm
- 電源：AC100V±10% 50/60Hz
- 寸法：280(幅)×373(奥行)×110(高さ)mm
- 重量：約7.5kg



クリニテック



クリニテックプリンタ

自動血球計算器 ACM-701-05



エルマ光学株式会社

東京都千代田区鍛冶町 2-4-5
〒101 TEL (03) 256-0911

概要

従来の自動血球計数器は赤血球、白血球を基本とし、ヘモグロビン、ヘマトクリット、MCVなどは組み合わせて使用されておりましたが、コストアップ、スペースなどで難点があり本器はこれらの点を考え市場のニーズに従って開発された自動血球計数装置です。

特長

- ◎ACM-701-05タイプは1台で5項目(RBC, WBC, Hb, Ht, MCV)の測定機構を内蔵、又ACM-701-03(RBC, WBC, Hb)タイプを使用されても、Ht, MCV測定機構(オプション)もカートリッジ方式で簡単に取付できます。
- ◎詰りも少なく、万一つまっても警報ランプで表示し、ボタン操作で簡単に除去できます。
- ◎吸引方式は無水銀定圧方式の開発により水銀は使用していません。又液回路の洗浄などボタン一つで簡単です。
- ◎感度調整、同時通過補正回路など数々の機能をそなえた測定装置です。

仕様

- 測定方式：電気抵抗検出方式
- 測定項目：RBC, WBC, Hb, Ht, MCV
- 測定時間：約6.4秒(デジタルタイマー付)
- 検出器径：100 μ (同時通過補正回路内蔵)
- 詰り警報：ランプ表示
- サンプル量：0.02ml
- 再現性： $\pm 1\%$
- 消費電力：100W
- 寸法・重量：335 \times 360 \times 420/mm 30kg

利用法、参考事項など

関連製品

- ACM-701-05 RBC, WBC, Hb, Ht, MCV
- ACM-701-03 RBC, WBC, Hb,
- ACM-501 RBC, WBC
- ACM-401 PL
- ACM-500 RBC, WBC
- AD-60 自動希釈装置
- Hb-240 ヘモグロビンメーター
- NP-300 デジタルレコーダー
- TS-5 ローリングミキサー
- ブラッドシエーカー
- 標準血球L-350



ACA 6000

OLYMPUS オリンパス光学株式会社
オリンパス販売株式会社

東京都渋谷区幡ヶ谷 2-4-3-6
〒151 TEL (03) 377-2111

概 要

世界で初めて1時間240検体処理の高速マルチチャンネル機として登場して以来、既に1年以上経過しましたが、その耐久性、正確性は検体数の多い検査センターや病院により実証されて来ました。さらに、ユニットシステムの採用により、8~20chまで検査室に最適な機種を、最適な価格で選べる、オリンパス独自の自動分析装置です。

特 長

- 1時間に240検体処理。例えば20チャンネル機で1時間に4,800テストを行なう最高の処理能力です。
(但し、初速度測定機は1時間120検体処理)
- ユニットシステムのため、各施設にマッチした機種を選ぶ事ができ、また検体数の増加に伴い、ユニットの増設も可能です。
- サンプルカセットの採用により、検体のセット、リセットを大巾に省力化しました。
- 分析項目により、1波長・2波長の選択が自由にできます。
- 液面検知機構を採用したサンプリングシステムにより、必要量のサンプルが無駄なく正確に採取されます。

仕 様

分 析 法：比色法・初速度法

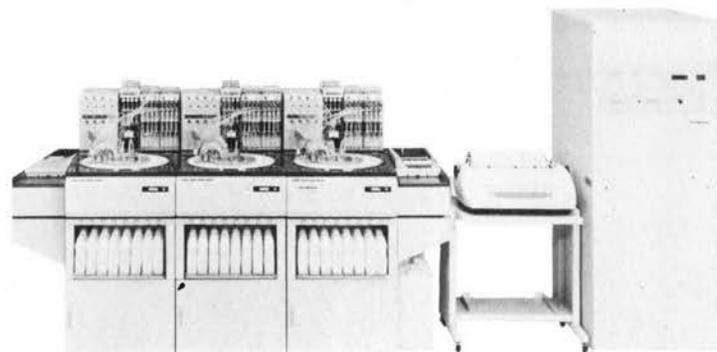
チャンネル数：8~20ch (初速度機は8~16ch)

処 理 能 力：240検体/時 (初速度機は120検体/時)

データ処理：2波長測定の違いを算出、血清プラックによる測定値補正、
A/G比算出、自動精度管理 (又、SD, CV, Cu-Sum値算出)

ゼロ調整：自動ゼロ調整

反応ライン：ターンテーブル反応管方式



メモリーヘモグラム データ処理システム MMT-12MOS



菅垣医理科工業株式会社

東京都文京区本郷3-14-16
〒113-91 TEL (03)812-5285(代)

概要

このシステムは、コンピューター導入により自動化を進めている検査室において、白血球分類のオンライン又はオフライン処理を能率よく行うために欠くことのできない装置です。システムは集中管理装置（親機）と子機との組合せになっています。1台の親機は最高8台迄の子機を制御・管理する能力がありますので、各検査室に合わせて台数がきめられ、また増設も容易です。

特長

1. オフラインの場合、テープバンチャアのモニター機能として、テープの残量、電源オフの検出、コネクター抜けをブザーにより知らせます。
2. オンラインの場合、オンラインインターフェイスの異常検出と、回路動作チェックのための自己テスト機能を持っています。
3. 各子機から送られるデータが一時期に集中した場合などに備えてデータバッファリング領域を持っています。
4. モニター用プリンターの紙残量を検出し、紙ぎれをブザーで報知します。
5. 子機の接続状態を親機のランプにより確認することができます。
6. 総合計数にかわりなく、任意の合計でパーセント計算を行い、出力することができます。
7. 分類操作のほか、IDNo. 日付けのセットができます。
8. ID No.はクリヤーキーごとに1カウントずつアップするので、ID No. が連続している場合にはいちいちセットしなおす必要がありません。

仕様

集中管理装置：子機制御能力—最高8台

モニター機能、テープバンチャア、モニター用プリンター
紙子機、オンライン接続状態、ブザーによる異常報知

プリンター、ドラムインパクト方式 58mm幅 白紙ロール紙

外形寸法mm W400×D280×H180、重量 10kg

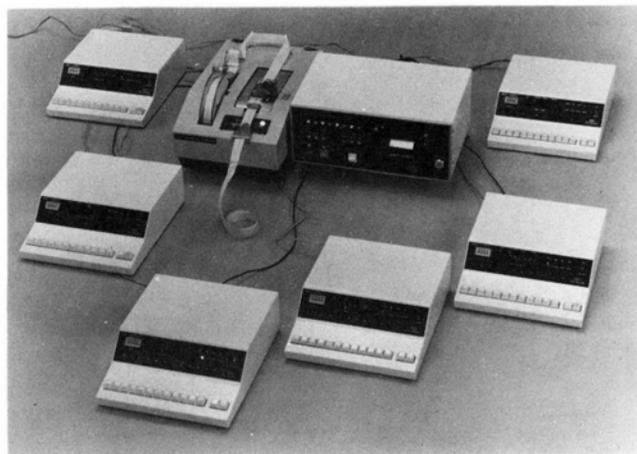
電源 AC100V 50/60Hz 50VA

子機 外形寸法mm W280×D340×H100 重量 4.5kg

電源 AC100V 50/60Hz 30VA

利用法、参考事項など

親機は、各子機から送られるデータを整理し、定められた出力フォーマットに変換し出力すると共に、モニター用プリンターにデータを印字します。オフラインの場合には、コンピューターとのインターフェイスが一系統で、あたかも一台の分類装置からのデータ伝送とみなされるため、子機の使用台数の多少にかかわらず、ソフトウェアの負担を少なくする利点があります。また子機の増設に関しても、コンピューター側のソフトウェア変更の必要がありません。子機は一般の白血球分類器の能力のほかに、ID No. のセット、全項目表示、ELSキー（トータルに関係ないキー）などの機能を持ち、必要に応じ赤血球形態キーなどを持つことができます。親機との接続は、細いケーブルで20m程度まで延長できますので、親機の位置は自由に設定できます。



概要

血漿蛋白測定法には各種の方法が開発され、実用化されています。溶液内での抗原・抗体反応によって生成する沈降物の散乱光量を測定して試料中の特異蛋白定量するネフェロメトリック・イムノアッセイ (NIA) は、感度が高く、しかも迅速に結果が得られる新しい方式である。当システムでは血漿蛋白の13項目と酵素の2項目、合計15項目がはかれます。

特長

1. コンパクトな機器、取扱いが簡単なシステムです。
2. 高感度でしかも高精度です。
3. SRID法との相関が良好です。
4. 低廉な機器システムで経済的です。

仕様

1. 測定原理：散乱光度法による終点測定、および反応速度法
2. 測定項目：血漿タンパクなど15項目
3. 光源：タングステンランプ (5V・1A)
4. 測定波長：610nm以上
5. 測定セル：10φ×75mm丸底ガラスキューベット
6. 表示法：LED数表示器、5桁
7. 外部出力：BCDパラレル
8. 外形寸法：335×328×260mm(本体)
9. 重量：約12.5kg

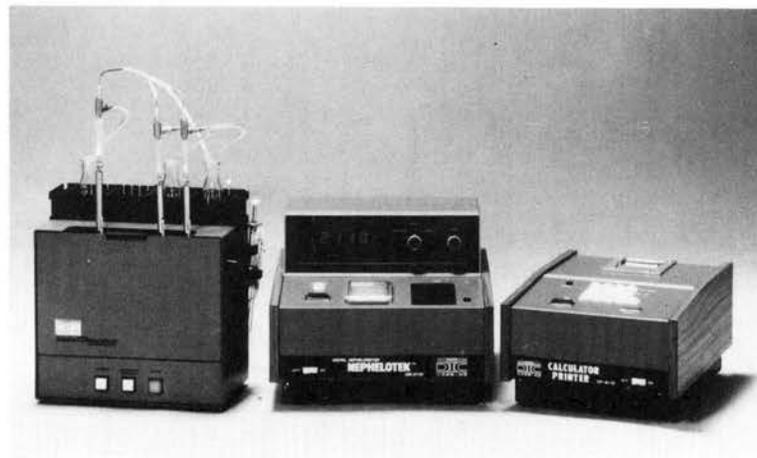
利用法、参考事項など

各種血漿蛋白の臨床的意義が多く報告されるにしたがい、これらの測定の重要性 (意義) はますます高まっています。ネフェロテックTMシステムでは免疫化学的方法によって、血漿蛋白の13項目を手軽に迅速に測定することができます。従来これらは免疫電気泳動法やSRID法によって測定されていますが、定量性、迅速性に欠け、適当な自動化機器の出現が待たれていました。現在、免疫化学的定量法にはRIA, EIA, 蛍光法、レーザーを用いた方法などがありますが、いずれも一長一短があり、一般の検査室ではルーチン化されるにいたっていないと思われま

す。ネフェロテックTMシステムによれば抗原抗体複合物 (沈降物) を散乱光度法 (Nephelometry) によって、13種類の血漿蛋白定量が可能である。

また、特殊な部品や試薬を用いていないので、価格が安く、取扱いも簡単で、しかも信頼性の高い結果が得られます。

ネフェロテックTMでは同じネフェロメトリーを用いて、アミラーゼ・リパーゼも測れます。



バイオアミン分析機 K-505BD型



協和精密株式会社

東京都三鷹市大沢1丁目2-4
〒181 TEL (0422) 31-5691

概要

尿、血液中のカテコールアミンの分析が広く臨床検査に用いられるようになり、本機K-505型バイオアミン分析機は、生体アミン（主にカテコールアミン）を高感度で容易に自動分析出来るよう開発されたものです。

特長

- T・H・I法、エチレンジアミン法等の使用が出来ます。
- T・H・I法により、アドレナリンの検出は50pgまで可能です。
- オートサンプラー内蔵により連続自動分析が出来ます。

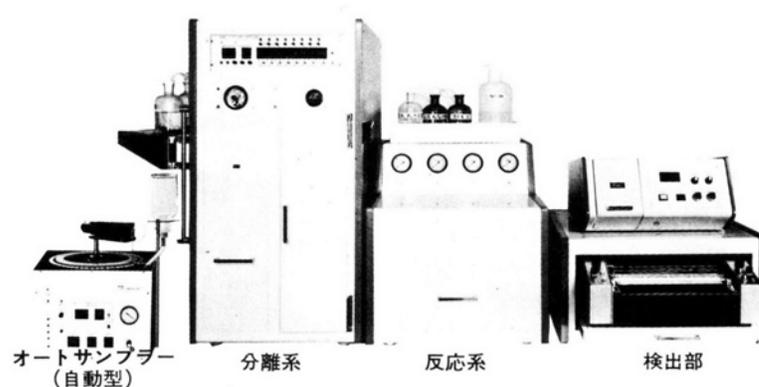
仕様

- 分離系/溶離液送液機構：プランジャー式定流量ポンプ 1台
溶離液自動切換機構：8段自動切換 1台
分離カラム：2.1mm I・D×500mm(ジャケット付) 2本
カラム恒温槽：室温～100℃(比例制御) 1台
ブラグラマー：KTC-8A 1台
オートサンプラー：試料保持数60検体 1台
(試料冷却槽内蔵)
寸法・重量：W540mm×D550mm×H1040mm
- 反応系/送液ポンプ：流量可変 4系統
反応槽：室温～95℃(比例制御) 1台
寸法・重量：W530mm×D670mm×H670mm

- 検出部/高感度蛍光検出器：光束 ダブルビーム 1台
分光方式 干渉フィルター
励起波長 410nm
蛍光波長 510nm
- 記録計：1ペン マルチレンジ 1台
寸法・重量：W570mm×D570mm×H510mm
総重量 220kg

特別附属品

- レポーティングインテグレーター (オプション)



KR-50FA (冷却遠心機)



久保田商事株式会社

東京都文京区本郷3の32の13
(第2かねいちビル)
〒113 TEL (03) 815-1331

概 要

新たな目的のために設計された、KR-50FAは最高回転数5,000rpm、最大遠心加速度 $4,640 \times g$ が得られる低速大容量専用の冷却遠心機です。研究用および臨床検査からブラッドバンクまで幅広くお使い頂けるようになりました。尚、本機は独特なオートバランス方式を採用しています。

特 長

本機は、操作しやすいコントロールパネル、見やすい電気式回転計を装備し、自動的に作動する直流電気ブレーキを使用しています。

新設計のハイトルクモーターと自動調心、防振機構は、5,000rpmまでの低速でのスタートからストップまで安定した回転をお約束します。また強力な冷凍機と、なめらかな内壁をもつ完全密閉のステンレス・スチール製冷却室は、精密な温度計とあいまってローター温度を $\pm 1^\circ\text{C}$ 以内の精度にてコントロールいたします。

小容量から大容量まで、 $7\text{ml} \times 4$ 本より $850\text{ml} \times 6$ 本までのスイング型ローターが使用でき8種類のローターと豊富なアダプターが準備されております。

仕 様

- 最高回転数：5,000rpm
- 最大遠心加速度： $4,640 \times g$
- 最大処理量： $5,100\text{ml}$ ($850\text{ml} \times 6$ 本)
 $1,800$ ($15\text{ml} \times 120$ 本)
- 回転計精度： $0 \sim 5,000\text{rpm} \pm 100\text{rpm}$
- タイマー精度： $0 \sim 90$ 分 HOLD付 (± 1 分)
- 温度計精度： $-20^\circ\text{C} \sim +40^\circ\text{C} \pm 1^\circ\text{C}$
- 速度制御方式：自動速度制御方式
- 温度制御方式：水銀膨脹式



概要

血液凝固検査は非常に重要な検査ですが他の検査にくらべ高度のテクニックと慣れがより以上に要求され、まだ普及の途にありこれから伸びる検査といえます。この重要な検査がより以上に普及し、正しい診断・治療に大いに活用されるよう簡単、迅速に誰が行っても正確で再現性の良い結果の得られる血液凝固分析装置としてコアグースタットが開発されました。

特長

光散乱法で測定——高感度散乱光検出器により、わずかのフィブリン析出もキャッチします。又検知器が検体と触れないので検体のキャリーオーバーによる誤差が起りません。

マイクロプロセッサがデータ処理——測定結果をマイクロプロセッサが自動的に換算作業を行い、PTは「秒」「活性%」「比」を、Fib. は「mg/dl」をプリントアウトします。

操作が簡単で迅速——操作が簡単なので誰が行っても同じ結果が得られます。ルーチン検査だけでなく緊急検査にも最適です。

専用試薬が充実——PT、(A)PTT、Fib. 因子測定など殆どどの凝固検査に対してデイド社の高品質な試薬が供給されています。

仕様

使用電源：AC100V 50/60Hz

インキュベータ：37℃

表示：デジタル直読式（時間）

時間分解能：0.1秒

記録：デジタルプリンターによる自動記録

外形寸法：400(奥)×300(巾)×215(高)mm

重量：約15kg

測定：PT（8～80秒）（A）PTT（19～200秒）

Fib.（50～500mg/dl）因子測定



FED-1 コスモ 全自動電気泳動分析装置



コスモ株式会社

東京都文京区本郷3丁目26番10号
〒113 TEL (03) 811-6477(代)

概 要

蛋白分画における電気泳動から染色、脱色、乾燥、デンスitomーター、報告書までの完全自動化された器械でサンプリングからデータ処理までワンタッチOK。

一度に450検体をセットアップでき450検体を7.5時間で処理する。

特 長

1. サンプリングからデータ処理まで完全自動化。
2. 血清塗布はアプリケータを使用しておりますので再現性抜群。
3. 稼働能力は、150検体=2時間。 300検体=5時間。
450検体=7時間30分 oneカセット30検体×15本
4. T. P値g/dlを打込むと各分画の蛋白値g/dlも印字される。
5. 正常値範囲設定。(異常値, 正常値の判定)
6. 報告書タイプ。泳動分画パターン。検査月日。検体番号。
分画%及び合計。A/G比。蛋白値。T. P値。
7. デンシトメーター単独使用可。
8. 外部コンピューター接続可。
9. I. Dコード4桁入力可。(T. P値使用したい時)

仕 様

1. 支持体 セルロースアセテート膜 巾60mm×長さ30mセラフォー。
2. 必要血清 50 μ l。塗布量0.3 μ l アプリケーター自動。
3. 光源 タングステンランプ 6V2A
4. フィルター 500nm。
5. 受光器 シリコンホトダイオード。
6. 濃度範囲 O. D 0.2~2.0 自動0点、自動振幅。
7. 記録計 熱ペン報告書様式パターン同時記録。
8. 電源 A. C100V 50/60Hz 600VA
9. 大きさ 巾1400×奥行650×高さ700mm。



pH/血液ガス分析装置 コーニング 168

CORNING コーニング株式会社
メデイカル事業部

東京都港区赤坂 1-9-20
〒107 TEL (03) 586-1055

概 要

全自動の便利さとマニュアルの確実さ、柔軟さをあわせもつニュータイプの血液ガス分析装置です。1点・2点校正、ガスのみの校正、呼気ガスの測定、電極のドリフトチェック、エンドポイント自動検出、測定、演算、洗浄、作動のモニター等の全機能は、高性能コンピューターシステムにより制御。タッチボタンによるコマンドに応じ、意のままに作動します。

特 長

1. pH, PO₂, PCO₂, [HCO₃⁻], Total CO₂, B.E.の6項目表示。
2. 80 μ lの検体測定可能。サンプルが80 μ lと微量で測定できるため、十分な採血量が得にくい小児、新生児の血液ガス測定に欠かせない機能です。また注射筒による200 μ lの測定も可能。
3. エンドポイント自動検出：コーニング独自のマイクロプロセッサー制御によるエンドポイント自動検出方式を採用しているため、非常に信頼性の高いデータが得られます。
4. 自動校正：必要に応じて、1点・2点校正、ガス校正の自動校正が可能。更に電極のドリフトのモニターが可能。
5. データ補正：大気圧値、Hb値、患者の体温値を入力し、測定データの補正が簡単、正確にできる。

仕 様

- 検体量：200 μ l, 80 μ l
- 検査項目：pH, PO₂, PCO₂, [HCO₃⁻], TCO₂, B.E.
- サイズ：H260mm×W445mm×D584mm, 23.7kg
- 電源：100V, 50/60Hz, 200W



概要

検体をセットし、スタートボタンを押すことにより全自動的にPT、APTT、フィブリノーゲン定量の3項目を同時に測定します。測定法には当社開発の二重積分法と呼ぶ新方式を採用しており、光散乱強度変化の最大部分を正確に検出し凝固終末点とします。

特長

1. 血漿サンプルをセットするだけでPT、APTT、FIB定量の3項目を並列に全自動測定可能。
2. PT、APTTの測定結果は、時間(秒)、活性度(%), レシオの中から選択して印字することができます。
3. FIB定量は、時間(秒)、濃度(mg/dl), レシオの中から選択して印字することができます。
4. PT、APTT、各欠乏因子の活性度曲線が精度良く測定できます。一度測定しておけばコンピュータが活性度曲線を記憶しているため、活性度(%)または濃度(mg/dl)がただちにプリントされます。
5. 血漿サンプル部分は冷却されています。

仕様

1. 測定項目: PT, APTT, フィブリノーゲン定量, 欠乏因子定量
2. 測定方式: 光散乱強度検出方式 (特許申請中)
3. 処理時間: 7.5秒 / 1検体 3項目
150秒 / 1検体 "
300秒 / 1検体 "
4. 測定時間分能: 0.1秒
5. 反応ライン: ターンテーブル方式 最大40サンプルセット可
6. 電源: 100V 50Hz / 60Hz

概要

Glucoroder-Sは、酸素電極を用いた血糖分析装置では初めての Maximam Acceleration Analysis (反応加速度解析) の採用により、フルオートでしかも130~150検体/時間という画期的なスペックを可能にした全自動血糖分析装置です。

特長

- 全自動—サンプルを並べてスタートボタンを押すだけです。
標準液によるキャリブレーションからサンプリング、分析プリントアウトまで、Glucoroder-Sがすべて行ないます。
- 正確—分析は最も信頼されているグルコースオキシダーゼ酸素電極法です。アスコルビン酸等の影響を全くうけず、正確な値が得られます。
- 高速処理—全自動化と反応加速度分析法の採用で、高速処理 (130~150検体/時) が可能です。
- 緊急検査—ルーチン検査中でも、緊急サンプルポジションに検体をセットするだけで、他の検体を動かさずに測定できます。
測定値は緊急検体(S)としてプリントアウトされます。
- 新次元の解析法—全く新しい反応加速度解析法の採用により、反応終点法や反応速度法にくらべ、大幅に時間を短縮。より高濃度まで測定できます。

仕様

測定法……………グルコース・オキシダーゼ酸素電極法
 検体処理能力……130~150検体/時
 反応への使用量…5, 10, 15, 20 μ l
 サンプルカップ…0.5ml用マイクロサンプルカップ
 恒温機構……………エアバス (37℃)
 反応時間……………約6秒

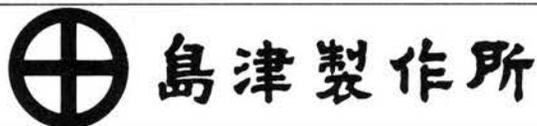
反応液量……………1.3ml
 自動精度チェック… $\pm 1, \pm 2, \pm 3, \pm 4$ mV (mg/dl相当)
 警報……………システムエラー, NOT, CAL, END
 所要電源……………AC 100V ± 10 V 50/60Hz 3A
 装置寸法……………540(W) \times 465(D) \times 495(H)mm
 装置重量……………32kg

利用法、参考事項など

- コンピューターとの接続
I/Fポートをセットするだけで、コンピューターと接続できます。
- 研究への適応
CONT・モードにより、レコーダーを接続して酸素消費のダイレクト値、一次微分値(反応速度)、二次微分値(反応加速度)を、それぞれ連続的に記録できます。



島津自動生化学分析装置 CL-12形



京都市中京区河原町通二条南
〒604 TEL (075) 251-2811

概 要

ルーチン検査で1時間に80検体を処理し、検体毎に最大12項目までランダムに選択、分析できます。また、分析条件が容易に変更できますので、12項目分析後引き続き別項目の分析に移れます。ルーチン検査中の緊急割込みのほか、24時間スタンバイで時間外でも検体を受付けることができます。

特 長

1. 24時間スタンバイで緊急検査ができます。
2. 緊急検体の割込みが簡単にできます。
3. 分析条件は任意に変更できます。
4. 分析項目は最大12項目まで任意に設定できます。
5. 設定された12項目について検体毎に項目の選択ができます。
6. 12項目分析後、引き続き別項目の分析に容易に移ることができます。
7. ご使用前後の手間がほとんど不要で、かつ試薬のムダがごくわずかです。
8. モニタ機構の完備により、誤動作の心配はありません。
9. 装置の動作状態、不具合箇所が一目でわかるディスプレイがついています。

仕 様

同時処理項目：1～12項目

チャンネル数：4ライン12チャンネル

検体処理能力：1～12項目 80検体/時間

1～4項目 240検体/時間

緊急検体処理：緊急割込み；日常検査中随時可能

緊急検査；24時間スタンバイで受付可能

サン プラ：ターンテーブル方式、最終検体識別機構付き

検 体 量：10, 20, 50 μ l / 項目

反 応 時 間：7分

反 応 温 度：37 $^{\circ}$ C \pm 0.1 $^{\circ}$ C

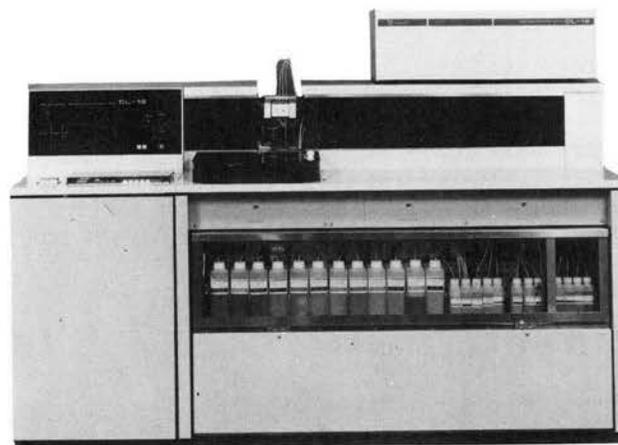
光 度 計：回折格子形分光光度計 340～700nm

測 光 法：フローセルを用いた一波長または二波長測光方式

デ ー タ 処 理：コンピュータによる自動処理

所 要 電 源：AC100V, 4KVA, 50, 60Hz

大 き さ：幅2050 \times 奥行880 \times 高さ1450mm





概要

電気泳動の常光が“ひとりでも多くのユーザの方々に、よりよい濃度計を使っていただければ”という熱い願いをこめて、マイクロコンピュータ制御方式の抜群の性能を装備した濃度計を開発いたしました。高度な機能がみごとに集約化されコンパクトに使いやすく設計されております。操作も極めて簡単で誰でも誤りなく使える対話形のフレンドリーな装置です。マイクロコンピュータシステムをフルに活用したDENSITRON-マイコン20は、皆様の検査室で大きな力を発揮するものと確信いたしております。

特長

マイクロコンピュータによる制御。ディスプレイからのメッセージにより対話方式で操作されますのでだれでも簡単に誤りなく使えます。すべての入力はテンキーにて入力します。蛍光マトリクス表示器の使用により見やすく表示されます。広範囲の試料を20検体/約8分のHi Speedで測定します。アラームが発生した場合、どこがおかしいのか装置がその箇所をメッセージとして表示します。グラフィックプリンタによる見やすく正確な報告書が作成されます。総蛋白、I.Dのテンキー入力のDATAがCOPY用プリンタで確認できます。停電や誤まって電源が切れてもテンキーで入力したDATAは補償されます。記録紙幅は58mm、89mm 何れかご希望のものを装置することができます。

仕様

測定範囲：0～2.0 O.D. Auto Span 0.2～2.0 O.D.

光源：タングステンランプ 6V 2A

スリット：幅0.2mm 長さ2mm～10mm連続可変

フィルタ：金属干渉フィルタ、500nm、570nm、620nm

受光素子：プレーナ型 シリコンブルーセル

測定試料：セルローズアセテート膜、寒天平板状の不透明な試料

試料移動範囲：Y軸10～70mm X軸0～99mm

測定スピード：測定軸800mm/min シフト軸800mm/min

測定所用時間：20検体/5min

利用法、参考事項など

マイコン対話システムとは

人間工学的な配慮から生れたこのシステムは、誰にでも簡単に装置が操作できるように、操作手順の誘導、データ形式の表示、入力データの確認、自己診断機能の表示までコンピュータと会話しながら操作します。目の疲れない緑色の大形文字表示、なじみやすい操作キーなど、凡てが使われる人のことを考え機能的に設計されている“マイコン20”のシステムをご確認下さい。大型コンピュータに接続させる総蛋白、I.D コンバート機能について病院のデータ処理技術が進歩するにつれて、血清蛋白値もONLINE、OFFLINEでセンターの大型コンピュータに入力させることが出来ます。“マイコン20”のI.Dコンバート機能は、それらの要求を満たすために6桁のペーシェントI.Dを100検体一度にメモリーしてSAMPLE I.D (試料番号)にコンバートすることが出来ます。入力データは表示器を見ながらテンキーで入力し同時にリストを取ることもできますので確認が容易です。また5桁の総蛋白値(g/dl)を一度に100検体分メモリーしコンバートすると同時にリストを取ることもできます。等々、この有望なコンバート機能をご利用下さい。



概要

MUMPS 臨床検査システムは住友電工が我国ではじめて医療情報処理用ソフトウェアとして定評のある MUMPS をベースに本格実用化したものであり、従来の検査測定・報告の自動化に加え、データベースマネジメント機能を備えた検査部データ総合管理システムである。

特長

(1)小規模からスタートし段階的拡張により大規模システムとすることができる。(2)多重即時併行処理機能をもつため導入前の運用体制のまま移行できる。(3)処理の中身はブラックボックス化され、入出力が会話型処理になっているためシステムとの対話が容易で全ての運用は検査技師自身で行なえる。(4)機器の増設・プログラム追加・修正が日常業務運用の支障にならず、機能拡充コストも通常の $\frac{1}{2}$ ~ $\frac{1}{3}$ である。(5)可変長データが扱えるためデータの格納効率がよく少資源で長期間データ保存が可能である。(6)40時間程度の講習で学べる高水準データベース言語のため蓄積データの検索・研究的活用に威力を発揮する。(7)全世界で4万台の実績をもつDEC-PDP11中央処理装置とDSM(DEC標準MUMPS)オペレーティングシステムの採用と、綿密なダウン対策により安心して運用できる。

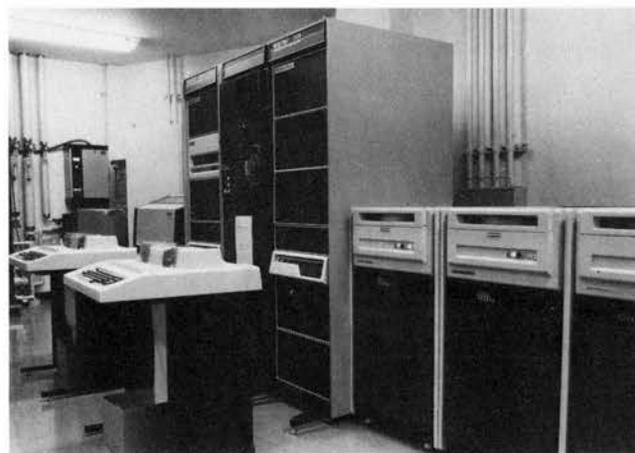
仕様

1. 機器仕様：(1)中央処理装置DEC-PDP11 (2)主記憶容量128KB~256KB (3)データ容量5MB~264MB (4)CRTディスプレイ3台~15台 (5)マークシートリーダ(70枚/分)1台~5台 (6)ラインプリンタ(135LPM~400LPM)1台~4台 (7)シリアルプリンタ(30CPS~180CPS)1台~10台 (8)オンライン接続分析装置1台~20台 (9)その他特殊端末各種 2. 対象範囲：生化学・血液・一般・血清・細菌・病理 3. データ保存容量：延10,000検体~500,000検体 4. 業務内容：(1)検査依頼登録(CRT又はマークシート)(2)ワークシート作成 (3)分析結果のデータ入力(オンライン又はマニュアル)

(4)未処理再検査表の作成 (5)検査成績書の発行 (6)検査台帳作成 (7)検査統計表発行 (8)各種精度管理 (9)分析結果データ即時問合せ (10)他システムとのオンラインデータ交換

利用法、参考事項など

- (1)電算機室設置スペース 3m×5m(標準)
- (2)電源 100V AC単相 消費電力 3KVA(標準)
- (3)空調 温度 18℃~24℃ 湿度 40%~60%塵埃少ないこと
- (4)接地 第1種アース



米国フォトボルト社製

PVA-4M マスターマインド型 電解質自動測定装置



セントラル科学貿易

東京都中央区日本橋小網町9-2
(秋山産業ビル)
〒550 TEL (03) 668-1401(代)

概要

本装置は、pHメーター、水分計等、最高の電極を使用して定評のある米国のフォトボルト社が、世界に先駆けて開発した電極法の電解質自動測定装置です。この度、フォトボルト社では、従来のPVA-4型にマイクロプロセッサーを内蔵した完全自動型の新機種PVA-4 M(マスターマインド)型を開発し、昭和54年9月から納入体勢に入ります。

特長

- 電極法の生命ともいえる電極は、フォトボルト社にて一本一本入念に手造りされており、高品質と共に長寿命面でも定評があります。
- 本装置は、 Na^+ 、 K^+ 、 Cl^- 、 HCO_3^- の四項目を同時測定しますが、重碳酸塩測定部は、本体部分と独立している為に、 Na^+ 、 K^+ 、 Cl^- 、の三項目同時測定用としても使用することができます。
- 新開発のPVA-4 M(マスターマインド)型は、自動的にキャリブレーションを行ないますから、夜間等緊急検査の場合にも、測定必要な検体をサンプラーに置くだけで、いつでも、誰でも正確な測定ができます。また、PVA-4 M型は、各検体ごとに、ID番号・四項目のデータさらにアニオンギャップを自動的に計算し、プリントアウトします。

仕様

- 測定項目： Na^+ K^+ Cl^- HCO_3^-
- 処理能力：48検体/時間
- 検体量：4 CH…300 μl 3 CH…200 μl
- 測定可能試料：血清・血漿・尿
- 測定範囲： Na^+ 、 Cl^- ：20～299mEq/ ℓ
 K^+ ：2～12mEq/ ℓ (血清)
 20～199mEq/ ℓ (尿)
 HCO_3^- ：8～40mEq/ ℓ

- 精度 Na^+ 、 Cl^- 、 HCO_3^- ： $\pm 1\text{mEq}/\ell$
 K^+ ： $\pm 0.1\text{mEq}/\ell$
- 寸法 1,650(W)×500(D)×380(H)/mm
- 重量 66kg
- 電源 50又は60Hz、100V、2.5A



概要

MICROXは細胞の検出・位置決め・油浸・焦点調節・分析判定をすべて自動的に起こします。白血球形態分析をしながら、同時に赤血球形態分析および、血小板計数をおこなうなどプロセスが合理的に組み立てられていますから、短時間で精度の高い分析判定ができます。立石電機が独自に開発した高度なパターン認識技術を用いた国産第1号の血液像分析機です。

特長

1. 検査中の細胞を常時カラーモニターで確認できる。
2. 計数終了後、UNKNOWNとして分類した細胞を自動的に順次呼び出し、鮮やかなカラーTV画像で目視検査できます。
3. 白血球形態分析をしながら、同時に赤血球形態分析および血小板自動計数をおこないます。
4. 細胞レビューを含め、1時間に50検体を処理します。
5. 赤血球をSIZE 3種類、SHAPE 5種類、COLOR 4種類の項目に分けて分類します。分類内容は数量として、およびPrice-Jones Curveとして、さらにそれらの判定結果としてアウトプットすることが可能です。
6. 標本の染色状態は検鏡検査と同等です。
7. パターン認識プログラムは検査室の細胞判定基準に柔軟に対応できます。
8. オプションのインターフェースを付加すれば検査データのオンライン処理可能。
9. 通常的环境条件で使用できる。

仕様

機能：白血球分類モード、赤血球形態モード、白血球/赤血球形態モード、セミオートモード。

分類白血球数：正常白血球6種（桿状核好中球、分節核好中球、好酸球、好塩基球、単球、リンパ球）。幼若球および異常球は「未知」(UNKNOWN)として分類終了後レビューできます。

赤血球形態分析：SIZE, SHAPE, COLORについて自動分析。

血小板自動計数：間接法により血小板数を自動的に算出。

検体処理速度：50検体/時（白血球100カウント）

算定白血球数：100, 200, 500, 1,000。

顕微鏡：1,000倍、自動油浸、自動焦点制御。

所要血液量：0.2ml

使用標本：遠心塗抹標本、Wright染色、緩衝液pH6.4。

電源：AC100V, 15A

外形寸法：本体 1,500(W)×1,310(H)×800(D)mm
CPU 530(W)×1,120(H)×500(D)mm

オプション：遠心塗抹装置（スピナー）HEG-SP
自動染色装置（ステナー）HEG-ST

利用法、参考事項など

- 昭和53年度 日本ME学会 新技術開発賞受賞。



テルモ自動血清分取装置 型式：APC-50P



テルモ株式会社

東京都渋谷区幡ヶ谷 2-44-1
〒151 TEL (03)374-8111

概要

自動分析装置の普及やデータ処理の自動化は、血液検査の精度管理や効率化に大きく貢献しています。しかし、分析の前段階、つまり分析のための試料を作る段階が自動化されなければ、検査精度や検査効率の向上は望めません。

テルモ自動血清分取装置は、いままで人手に頼ることの多かった血清分取を毎時700検体のスピードで処理し、検査精度や検査効率を高めます。

特長

- 遠心分離した検体を本体にセットするだけで、血清を自動的に分取します。● 処理能力は1人の人員で700検体/時間と、きわめて効率的です。
- 装置内の血清の流路は、すべて純水で洗浄され、さらに乾燥されますので、前試料のキャリーオーバーがなく、精度の高い検査が行なえます。● 空気泡検出機構を採用。しかもポリスチレン製のビーズセパレータで血清と血球を分離しますので、検体容器にラベルなどが貼付されていても、血清だけを正確に分取します。● 専用の検体ラック（試験管立て）は、そのまま遠心分離器にかけられます。また検査室での受け付けから、血餅を廃棄するまで、試験管は検体ラックに立てたまま取り扱えますので、作業がスムーズに行なえます。● 直接血液に触れる機会が減らせますから、血清肝炎などの感染防止に役立ちます。● 使いやすく、だれにでも簡単に使用できます。

仕様

処理能力：700検体/時間
処理方式：10検体同時吸引・親ラック同期駆動方式
検体容器：16φ(O.D.)×103(H)mm
10mℓベノジェット採血管
試料容器：13φ(O.D.)×75(H)mm
5mℓラルボ清浄試験管

検体親ラック：20本×5ラック
試料親ラック：50本×2ラック
寸法：750W×1400H×1050Dmm
重量：約300kg
電源：AC100V 50/60Hz
消費電力：約1KVA
● 付属品：ポリスチレン製のビーズセパレータ

利用法、参考事項など

①テルモ自動セパレータ供給機や、テルモ自動血餅排出装置を用いれば、作業がより効率的に迅速に行なえます。

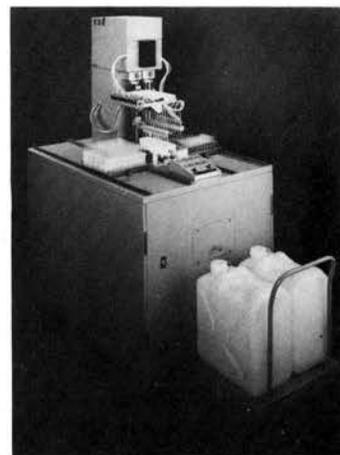
- テルモ自動セパレータ供給機：定量のビーズセパレータを検体容器に自動的に供給します。テルモ自動血清分取装置の検体ラックをセットするだけで、毎時3500検体のスピードでセパレータを供給します。

- テルモ自動血餅排出装置：血清分取後の検体容器を水の高圧噴射で洗浄します。排出された血餅とビーズセパレータは、それぞれ別の容器に回収されますので廃棄するのに便利です。処理能力は毎時3600検体です。

②採血に真空採血システム《ベノジェット》、また試料容器にラルボ清浄試験管を用いれば、検査全体の信頼性と効率性がさらに向上します。

- 真空採血システム《ベノジェット》：溶血や凝固を減らし、検体の汚染を防ぎます。また血餅付着がありませんのできれいな血清が得られます。

- ラルボ清浄試験管：ガラス製のディスポーザブル試験管です。高い清浄度を保ち、しかも1本1回使用ですから、前試料の残留がありません。



多項目自動血球計数装置 CC-720

Sysmex 東亜医用電子株式会社

神戸市兵庫区大開通6丁目3番19号
〒652 TEL (078) 576-0334

概要

全自動の血球計数装置で、血液中の白血球(WBC)、赤血球数(RBC)、ヘモグロビン量(Hgb)、ヘマトクリット値(Hct)を測定し、合せて3項目の赤血球恒数(MCV, MCH, MCHC)を算出し、検体番号、検査月日とともにCRTディスプレイに表示、およびデータ用紙に印字する。

特長

サンプラーにより被検体が自動供給されるので、約0.5mlの血液があれば、1時間に約100検体の測定を完全自動でおこなうことが可能となっている。また小児などで静脈採血の困難な場合や静脈採血の量が少ない場合には、あらかじめ20mlの希釈液を分注しておいたピーカに血液を0.04ml希釈することにより、これらの検体も測定可能である。

本装置は本格的なマイクロコンピュータを内蔵しているため、CRTによるキャラクタディスプレイで、装置の異常、試薬の不足、精度管理データをディスプレイさせることができる。

またヘモグロビン測定にシアン化カリウムを使用せず、また装置の定量部に水銀も使用していないので、いわゆるクリーンアナリシスへの転換が可能となるなど、多くの特長を持っている。

仕様

検査項目：白血球数、赤血球数、ヘモグロビン量、ヘマトクリット値、赤血球恒数3項目(MCV, MCH, MCHC)

処理能力：約110検体/時

必要血液量：全血測定約0.5ml 希釈測定0.04ml

表示・印字：CRTキャラクターディスプレイによる測定データ、精度管理データ、異常警報表示及びプリンターによる印字

寸法・重量：本体 巾約94×高さ約142×奥行約99cm 約165kg
空圧源 43×41.8×47cm 約35kg

電源・電力：AC100V±10%、50/60Hz 480VA以下

利用法、参考事項など

内蔵のマイクロコンピュータは、以下の機能を持っている。

1. 表示

- ①CRTキャラクタディスプレイ：カタカナ、英文字、数字で表示
- ②シーケンス動作表示
- ③ブザー音：スイッチ応答、ディスプレイ変化時、異常発生時に

2. 記憶

検体データ200検体を記憶する。また精度管理限界値や精度管理データを記憶する。ユアメモリの使用により停電時も記憶は消えない。

3. 精度管理機能

- ① $\bar{X}-R$ 管理
- ②基準値内検体の平均値と標準偏差の算出
- ③20検体平均値管理
- ④異常値の監視



NAKL-1

臨床用電解質自動分析装置



東亜電波工業株式会社

東京都新宿区高田馬場1-29-10
〒160 TEL (03) 202-0211

概要

NAKL-1は、血清、血漿のみならず全血での直接測定が可能、そのサンプルを選びません。サンプル所要量も150 μ lとわずかです。さらに、イオン電極法の採用により、Na⁺、K⁺にプラスCl⁻の3項目の同時測定・同時表示を実現しています。押ボタン1つの操作のみで、測定準備から校正測定、データプリントアウトまで約60秒で自動的に行ないます。

特長

- 全血での測定が可能です。
- サンプルは、血清、血漿をはじめ全血でも測定でき、前後処理も不要です。
- Na⁺、K⁺、Cl⁻の3項目を同時測定します。
- サンプルは150 μ lと微量で測定可能です。
- イオン電極法を採用。安定で選択性、再現性の高いデータが得られます。
- 誰れにでも取扱える完全自動測定システムです。
- マルチサンブラ（30検体）の併用で、完全自動連続測定が可能です。
- ミス測定防止機能内蔵の安全設計。安心して利用できます。
- Na⁺、K⁺、Cl⁻値を同時表示、サンプル付でプリントアウトします。
- 優れたコストパフォーマンスを実現しています。

仕様

測定対象	血清、血漿、全血中のNa ⁺ 、K ⁺ 、Cl ⁻ 濃度
測定方式	イオン電極法による全自動測定
表示・データ	各項目ともデジタル3桁表示及びプリントアウト
測定範囲	Na ⁺ ：70～199mmol/l K ⁺ ：2.00～9.99mmol/l Cl ⁻ ：70～199mmol/l
測定時間	約60秒
サンプル量	150 μ l (min)
測定温度	37℃
同時再現性	各項目ともCV値にて1%以内



血液流体特性検査装置 (バイオリライザー)



東京都大田区南蒲田 2-1-6
〒141 TEL (03) 732-2111

概要

本装置は血液の粘度を数通りのずり速度で測定し、粘度値及び粘度のずり速度依存性から血液疾患を発見することを目的としている。

本装置は粘度計本体とデジタル表示器(ビスコーダー)より構成される。本体はコーン・プレート方式の回転粘度計である。ビスコーダーにはデジタルプリンターが接続できる。

特長

粘度計のコーンとプレートの間に充填されたサンプルの粘性摩擦抵抗によって生じた粘度計指示値はビスコーダーにデジタル表示される。ビスコーダーは指示値及びコーンrpmのBCD出力をもっているためデジタルプリンターやコンピューターに接続し、データ処理することができる。

粘度計本体の特長はつぎのとおりである。

- (1)ずり速度がサンプル内で均一であるから、血液のように非ニュートン性液体の粘性測定に適している。
- (2)血液の体循環に合ったずり速度範囲で測定できる。
- (3)ずり速度、ずり応力が理論的に計算できるので、非ニュートン性液体の流動特性解析に適している。
- (4)サンプル量は0.5mlである。

仕様

- コーンrpm 0.5, 1, 2.5, 5, 10, 20, 50, 100, の8段変速
- ずり速度 $7.50N(S^{-1})$, N :コーンrpm, $3.75\sim 750S^{-1}$
- ずり応力 0.233θ (dyn/cm²), θ :粘度計指示値
- 粘度範囲 0.3~600cp (mpa·s)
- サンプルカップ サンプル温度制御用のジャケット付
- 精度 $\pm 1\%FS$, 再現性 $\pm 0.2\%FS$
- 電源 AC100V, 50/60Hz: 本体15W, ビスコーダー20W
- ビスコーダー 表示: 指示値デジタル3桁 (99.9まで)
出力: 指示値BCD 3桁, rpmBCD 1桁

利用法, 参考事項など

- (1)つぎの各種疾患の病状判断や治療指針のデータがえられる。
 - (イ)高粘度血液症候群 (糖尿病, 心筋硬塞, 多血症, マクログロブリンミア, 悪性腫瘍, 多発性骨髄腫症, 慢性骨髄性白血病など)。
 - (ロ)播種性血管内凝固症候群 (DIC)。
 - (ハ)過凝固状態 (血栓静脈炎, 血小板血症, 急性白血病など)。
- (2)輸血用としてつぎの用途がある。
 - (イ)輸血治療の指針とその効果測定。
 - (ロ)保存血液の性状検査。
 - (ハ)成分血液の性状検査。
- (3)各種疾患に対する投薬効果の測定とコントロールに有効に使用できる。
- (4)リハビリテーション効果の測定に利用できる。

バイオリライザー (BIORHEOLIZER)



バイオリライザー(本体)



バイオリライザー表示部

多項目自動化学分析装置

MODEL TBA-880



東芝メディカル株式会社

東京都文京区本郷3丁目26番5号
〒113 TEL (03) 815-7211

概要

この装置は、多項目の生化学分析を高精度で迅速に処理する多項目自動化学分析装置です。オートプライム機構によって、オペレータの手をわずらわせることなく、全自動で試薬ポンプを切替えるので分析前後の時間が短縮できます。また、分析は、比色法・反応速度法のいずれでも選ぶことができます。さらに精度管理のためのチェック機構や試薬保存用冷蔵庫など、検査が効率よく行える装置です。

特長

- 測定条件が自由に設定できます。
分析法は、比色法と反応速度法のいずれかを選択または組合せることができます。条件設定は、キーボードを用いてCRTディスプレイとの対話方式で簡単に行えます。条件変更も容易にできます。
- 高精度の測定が行えます。
コントロール血清の精度管理計算を行い、結果をCRTディスプレイとプリンターに表示できるので、装置の作動状態が管理できます。
- 操作が簡単です。
オートプライム機構によって測定前後の純水と試薬の切替えが自動的に行えます。測定終了後の反応試験管の洗浄、乾燥と試薬ライン、フローセルラインなどの洗浄も自動的に行います。

仕様

同時測定項目……16項目
 検体処理速度……90検体/時(1,440テスト/時16ch)
 試料採取量……5 μ l/テスト~50 μ l/テスト
 反応液最終液量……800 μ l/テスト
 測定方法……反応速度法4項目・比色法8項目・反応速度法、比色法
 選択可4項目
 サンプラ……カセット方式、検体セット数100検体(50検体/カセット
 ×2)

反応ライン……ディスクリット方式16ライン。反応時間14分・反応温度
 37℃
 試薬……試薬ポンプ30組、試薬分注量100~800 μ l 8段切換
 試薬保持、冷蔵庫(4℃~10℃)
 分光計……干渉フィルタ
 電源……AC100V \pm 10V 50/60Hz 共用
 消費電力……3KVA
 純水……25l/時
 外形寸法……巾1600×高1370×奥800(mm)



セントリフィックシステム 400



長瀬産業株式会社 医療システム部

東京都中央区日本橋小舟町 2-3
〒103 TEL (03) 665-3174~7

概 要

セントリフィックシステムは米国ユニオン・カーバイト社により開発された、画期的な遠心力方式の自動化学分析装置です。30項目以上の多項目の測定ができ、毎時120~600検体の分析ができる高い処理能力と経済性、そしてその他多くの特長を備えた自動分析装置です。

特 長

セントリフィックはRate及びEndPoint測定に有用なシステムです。本機は試料と試薬を円形のディスクに自動的に分注して回転させ、比色部とマイクロコンピュータにより一度に最大28検体を非常に短時間に測定し、求める濃度又は活性単位に変換してデータをプリントアウトします。また測定後は自動的にローターとディスクを洗浄し乾燥します。測定は測定コード(2ケタ)をセットしスタートボタンを押すだけで非常に簡単で、分析時間も的手法に比べ10倍以上のスピード化ができる上に、微量分析ですのでサンプル量、試薬量が大幅に減少します。ブランク補正、さらに測定プログラムを自由にセットできますので、ルーチン検査はもとより、研究開発にも広い応用性をもち合わせています。

仕 様

データ表示：測定日時、測定者欄、測定項目、測定プログラム、2桁のID、4桁の浮動小数点データ表示

光 学 系：フィルター、292~720nm (9点設定)、FDTハロゲン光源

給排水システム：自給式注入、アルコール洗浄、排水機構

分 析 能 力：毎時120~600検体

そ の 他：自動キャリブレーション、サーマルプリンター

電 源：100ボルト40アンペア 50/60Hz

形状・重量：H113×W100×D64cm 250kg

利用法、参考事項など

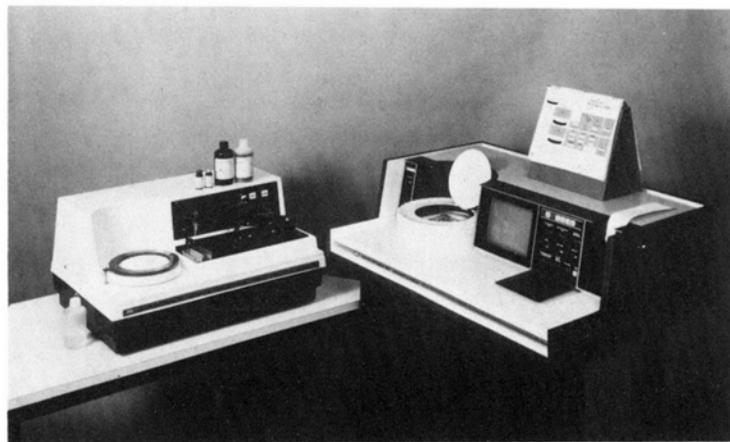
セントリフィックシステムはラボの用途によりどのようにでも使いこなすことができます。

設置にあたっては、給排水設備や特別な環境設備等を必要とせず、ほんのわずかなスペースと電力を確保するだけです。

完全自動測定、自動洗浄、微量化、省力化、コストダウン、緊急検査等の数々の特長を備えており、月間20,000検体以下の施設ならシステム400一台で十分です。

導入にあたりましては、一年間の無料保守サービス、そして完全に操作をマスターしていただくため3日間の教育コースも用意しております。

さらにCLOSコンピュータシステムを利用しますと、ワークシートから報告書作成に至る業務を完全自動化することができます。



コールター diff 3 システム



株式会社 日科機

東京都千代田区一番町2-2-1
(一番町セントラルビル)
〒102 TEL (03) 264-8191

概要

コールター diff 3 は全自動化されたプロセスで白血球の分類、赤血球形態の分析、血小板計数、白血球100個当りのNRBC数を自動表示する血球分類のための最新システムです。diff 3によるデータは用手法と同一で検体検査による診断のオンライン化も可能です。また用手法との併用でルーティン検査におけるdiff 3の分析精度をさらに高めることができます。

特長

- 白血球を10種類(Segs/Bands/Eos/Basos/Lymphs/Monos/Atyp. Lym./Imm.Gram./Blasts/Other)に分類、結果を自動表示。
- 赤血球形態をサイズ、色、形状に従って定量的に表示。
- 血小板の個数を計数し、過不足を表示。
- 白血球100個当りに対するNRBC(有核赤血球数)を表示。
- 3種のオペレーションモード(FULL REVIEW, CONDITIONAL REVIEW, NO REVIEW)を選択可能。
- 約50種類の映像的特徴をコンピューター化したパターン認識法で分類。
- プリンターカードはコールターカウンターモデルSおよびSRのカードと互換性があり、一枚のデータカードに両方の分析値をプリントアウト可能。

仕様

システム構成 アナライザー model 330……………分析装置
スライドスピナー model 301……………塗布装置
スライドステイナー (Ames Hema-tek) ……染色装置

寸法および重量

アナライザー 106(高)×172(幅)×127(奥)cm 432kg

スピナー 122(高)×46(幅)×61(奥)cm 77kg

電源 アナライザー 20A 105～130V, 50/60Hz

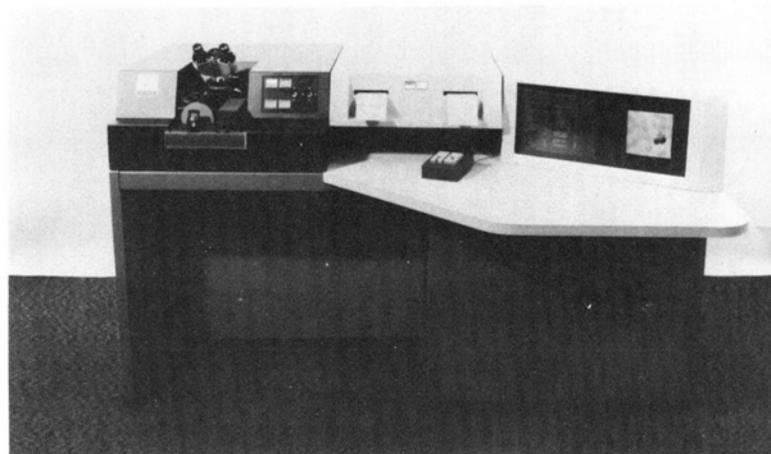
スピナー 15A 105～130V, 50/60Hz

利用法、参考事項など <3種類のREVIEWモード>

FULL REVIEW-有核血球の分類項目11種類のどれでも任意に再検を行える形で分類結果を表示させるモードです。

CONDITIONAL REVIEW-スライド処理を連続的に進めるモードで、再検(REVIEW)を要するスライドが発生するまで検体処理が中断されません。REVIEWシグナルが出たらオペレーターはFULL REVIEWモードに戻して再検することができます。

NO REVIEW-すべてのスライドを中断なく処理するモードで、REVIEW++がプリントアウトされたスライドは後から取り出して再検または従来法で再検します。



電極式多項目電解質分析装置 AMT クリンイオン



日機装株式会社

〒150 東京都渋谷区恵比寿3-43-2 TEL (03) 442-8311

概要

AMTクリンイオンは、世界で初めてイオン化カルシウムの血中活量を連続自動にて分析する画期的な製品で、数々の新技術の導入により、従来困難であった「血中イオンを、その働きのパワー(活量)として、生体内と同一条件下で測定する」ということに成功しております。これは総量から大体の目安をつける従来法と考え方が根本的に異なり、イオン濃度が具体的にわかるため、診療上大変有意義な情報が得られます。

特長

AMTクリンイオンは電極による血中イオン濃度の分析器ですが、特に本機だけが採用している特徴的な機能は次の2つです。

1. ダイレクトディップ方式——試料に直接電極を漬ける方式

(1) サンプラー等の細管がないので、これらの汚染や詰まりがなく、保守が大変容易なばかりか、抗凝固剤を添加していない全血や、動物血等粘張度の高い試料についても、何ら支障なく測定できる。

(2) 測定部が露出しているため、万一のトラブルも簡単確実に対処できる。

(3) 試料には固体の電極が触るだけで消費や変質がなく、再検等も簡単。

2. CO₂ガス噴射機構——試料に直接ガスを吹きつける方式

(1) 正確に恒温したガスで試料を直接暖めるので、確実に迅速な温度調整。

(2) 噴射圧で直接攪拌するためノイズ等の発生がなく、高精度に分析する。

(3) 好氣的に扱われた検体も、pH補正機構によりCa⁺⁺等が正確に測れる。

仕様

1. 用途：人体及び動物の血中電解質イオン濃度定量分析

2. 測定項目：Na⁺、K⁺、Cl⁻、Ca⁺⁺、HCO₃⁻、(Mg⁺⁺、Li⁺開発中)

3. 測定範囲：生理的にあり得る範囲全て

4. 検体：全血(非ヘパリン血・ヘパリン血共分析可能)・血漿・血清

5. 検体量：0.4ml——4項目(任意3項目+HCO₃⁻)同時分析

1.3ml——全項目同時分析

6. 分析速度：60検体/時 但、緊急検査時 1分30秒

7. 大きさ：43(幅)×48(奥行)×53(高)cm 37kg

8. 電源：100V 50/60Hz 400W (第三種接地付)

利用法、参考事項など

○ルーチン検査——キャリブレーション血清の低値と高値を、試料と共にサンプルテーブルに置き、測定鈕を押せば全自動で測定しプリントする。

○緊急検査(1)——ルーチン検査中の場合——既に測定の終了しているカップもしくは最寄の空いている場所に緊急検体を置き、緊急鈕を押せば、約1分半で測定し、再度ルーチン検査の続きの測定を始める。

○緊急検査(2)——ルーチン検査終了後の場合——キャリブレーション有効時間内であれば約2分、有効時間経過後は約6分で測定しプリントする。

○pH調整(1)——検体の採血時のpHがわかっている場合——そのpHに調整してCa⁺⁺、HCO₃⁻を測定する。研究論文作成時等に特に有効な方法。

○pH調整(2)——検体のpHが不明の場合——pHを7.4に調整して測定する。Ca⁺⁺のルーチン測定として最も実用的な方法。

○pH調整(3)——採血直後の検体——pH調整は一切せずそのままの状態測定する。緊急な補液等が必要な場合にその参考として特に有効。



概 要

HYCEL "M"は、独自の入出力媒体「リクエスト・レポートカードシステム」を採用した、30チャンネル任意選択式全自動化学分析装置であり、ID入出力の問題点をすべて解決したユーザーオリエンテッドなシステムです。

特 長

- 30チャンネル任意選択式自動化学分析装置です。
- 120検体/時間の処理能力を有しています。
- エンドポイント法、レートアッセイ法のいずれも可能であり、さらに1波長測光、2波長測光のいずれも採用できますので、測定項目に最適な測定条件が選択できます。
- 2台のミニコンピュータにより、装置の稼動、操作、モニター機能、データ処理、および検索機能等ハード/ソフトすべてが管理されます。
- 独自の入出力媒体「リクエスト・レポートカードシステム」により、必要な患者情報、ID No. 選択項目等を鉛筆で塗りつぶすだけで、全てが制御され、さらに報告書としてデータがアウトプットされます。
- 非常にコンパクトに設計されており、場所をとりません。

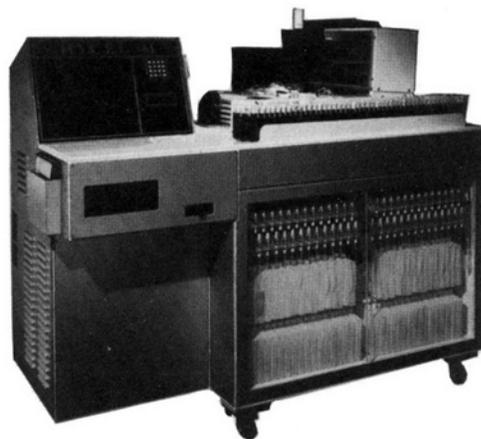
仕 様

- チャンネル数：最大30チャンネル
- 検体処理能力：120検体/時間
- 測定方式：レートアッセイ法およびエンドポイント法
- 測光方式：1波長測光法および2波長測光法
- 反応時間：10分
- 最終液量：最低0.8 μ l
- 寸法：153cm(巾)×74cm(奥行)×130cm(高さ)
- 重量：約500kg
- 電源：220V、最大30A、単相3線

利用法、参考事項など

「リクエスト・レポートカードシステム」とは……………

一対になったバーコードにより、患者検体：患者情報を対応させるシステムです。すなわち一対のバーコードの半分をリクエスト・レポートカードに、残り半分をサンプルカップにはり付けます。リクエスト・レポートカード側のバーコードは、あらかじめ必要な患者情報、ID No. 選択項目等を鉛筆で塗りつぶした後、OMRを通してコンピュータに入力させます。またサンプルカップ側のバーコードは、サンプルラックの任意の位置にセットしておけば、所定の位置に来れば自動的にライトペンで読み取られ、同時にリクエスト・レポートカードより入力されたあらゆる情報と対応され、この対応に基づいて分析に必要なすべての条件がコンピュータにより自動的にセットアップされます。分析終了後はこのリクエストレポートカードがそのまま報告書となります。このシステムを採用することにより、検体のセットアップからデータの報告まで、一貫した体制が形成されます。



デュポン aca 臨床用自動化学分析装置

NISSHO MEDI SCIENCE

日商メディ・サイエンス株式会社

東京都港区芝大門2丁目10番1号(第一大門ビル)
〒105 TEL(03)433-7635~8番

概要

デュポン aca は臨床の要望に応えた発展性のある自動化学分析装置です。従来の装置や測定方法にくらべ検査時間、オペレーターへの負担、および人件費等経費を大幅に節減し、しかも安定した正確な検査結果が得られます。

特長

aca は夜間休日を問わず24時間スタンバイ。デュポン独自のテストバックによりいつでも、誰でも、簡単に、正確な情報が得られます。

aca は現在独立した35項目の検査が行なえます。そしてさらに20余項目についてテストバックの開発が進められており、この新しく製品化された項目はすべて同じ装置でご利用いただけます。

aca は世界1700カ所以上で稼動中で、その品質と信頼性は高く評価されています。

仕様

aca-II すべての検査項目より29項目を選択セットします。各々の検体について1~29項目思いのまま。最初の結果は7分半、その後は37秒ごとに得られます。

必要な設備は電源(常用100V 20A)だけ、テストバック方式のため給排水設備は不要です。

aca-III マイクロプロセッサ搭載により、全項目スタンバイ、また検体の微量化、キャリブレーションの自動化、報告書様式の多様化等さらに使いやすくなりました。

利用法、参考事項など

緊急検査に、特殊検査に、またオーガンパネルシステムの導入、多項目少数検体などルーチンのサブ装置として、acaの活用法は無限です。

acaの検査項目

1. 酸性ホスファターゼ
2. アルカリホスファターゼ
3. GOT
4. GPT
5. LDH
6. L-LDH
7. CPK
8. γ -GTP
9. HBDH
10. コリンエステラーゼ
11. アミラーゼ
12. リパーゼ
13. 尿素窒素
14. クレアチニン
15. 尿酸
16. トリグリセライド
17. アンモニア
18. CO₂
19. フェニトイン
20. フェノバルビタール
21. 総蛋白
22. アルブミン
23. 血糖
24. コレステロール
25. 総ビリルビン
26. 直ビリルビン
27. Ca
28. Mg
29. Cl
30. 無機リン
31. 乳酸
32. 髄液蛋白
33. アルコール
34. 血清鉄
35. サリチル酸

開発中の検査項目

1. ジゴキシシ
2. サイロキシシ
3. VMA
4. ヘモグロビン
5. カリウム
6. ナトリウムなど



ウォーターズ 高速液体クロマトグラフ



日本ウォーターズ リミテッド

東京都千代田区紀尾井町3
秀和紀尾井町パークビル
〒102 TEL (03) 264-8005代

概要

高速液体クロマトグラフにより混合物サンプルから種々の目的物質を分離定量することができます。装置の基本構成は、溶媒送液ポンプ、サンプル注入装置、分離カラム、検出器、データ記録処理装置から成ります。ウォーターズ高速液体クロマトグラフと周辺の化学製品群は臨床化学分野における分離定量の自動化推進に必要な、全ゆる機能をも備えています。

特長

- 溶媒送液ポンプ……データの信頼性と再現性、高感度分析に特に秀れた能力を持つ流量制御回路付高圧ポンプです。
- サンプル注入装置……自動化には欠かせない全自動注入装置により任意サンプル量(1~2,000 μ l)を48検体連続注入もできます。
- 分離カラム……通常のステンレス製カラムの他、性能と信頼性、コスト効率等、全ての面で秀れた、カラム間格差の全く無いカートリッジを使用する新しい技術を採用した、加圧カラム分離システムがあります。
- 検出器……超高感度アブゾーバンスディテクター、蛍光ディテクター、示差屈折計等から目的に合わせ自由に選択できます。
- データ記録・処理装置……1枚のレポート用紙にデジタル分析計算値、アナログデータ及び分析条件等全てをプリントしてくれます。

仕様

- ウォーターズ 高速液体クロマトグラフ ALC/GPC244型
- ウォーターズ 高速液体クロマトグラフ ALC/GPC202型
- ウォーターズ 全自動サンプルプロセッサー710A型
- ウォーターズ 加圧カラム分離システム
- ウォーターズ データモジュール730型

利用法、参考事項など

生体成分や薬物及びその代謝物のルーチン分析や研究用に幅広くご利用頂けます。欧米諸国では治療薬の投与量コントロールをおこなう為に多くの高速液体クロマトグラフがルーチン分析に利用されています。

ウォーターズでは………

- 年間5つの分野別LCセミナー(無料)を定期的に開催しています。
- 国際ライフ・サイエンス・シンポジウム(米国)を開催しています。
- 約2万件に及ぶ分離例を所有しています。
- 御購入検討、決定のために弊社研究室、東京、大阪を御利用頂けます。
- インハウスセミナーやデモンストレーションも御希望に従い積極的に実施しています。



多項目分析装置 ジェムナイ



NIHON KOHDEN

日本光電工業株式会社

〒161 東京都新宿区西落合1-31-4 TEL(03)953-1181

概要

遠心方式の多項目分析装置として、新開発された製品で、レートアッセイ・エンドポイント・2波長等項目毎に測定方法を使い分けする生化学自動分析装置です。マイクロコンピュータを内蔵し、項目変更が瞬時に行えますので、多項目分析に適し20項目以上の検査をこなします。

特長

- 小型軽量のため設置場所が小面積ですみます。
- 項目別にさん孔カード（データカードを兼ねます）が異なり、このカードをさし込むだけで項目変更ができます。
- ディスポキュベットを採用しましたのでコンタミの心配がなく複雑なメカニズムを要する洗浄機構もありません。
- 酵素の測定は反応開始後数分間につき20ポイントの多ポイントレートアッセイをUV領域の波長で行い直線性の判定をした上データを出します。
- 17~18検体を同時に1項目0.5~13分（平均6分間）で検査しますので、2時間で20項目の検査ができます。
- 操作ミス・データ異常・装置異常に対し約30種類の警報表示が行なわれます。

仕様

分析方式：遠心方式

測定方式：20ポイントレート他

分析項目：20項目以上

分析速度：0.5~13分/17~18検体

項目切替：カードにより瞬時

処理能力：180検体/時

サンプル量：10~60 μ l

試薬使用量：0.6~1ml

測定温度：37℃

試薬メーカー：国産数社

測定波長：340~650nm

分光器：干渉フィルター

寸法：巾82 高54 奥行40cm

重量：50kg

消費電力：600VA

利用法、参考事項など

このアナライザーは、毎日の検体数が5~50本の施設で生化学検査のメイン装置として使えます。ルーティンの検査項目として、GOT、GPT、LDH、ALPなどの酵素の多ポイントレートアッセイを始め、コレステロール、グルコース、尿素窒素を各々18検体同時に1項目平均6分で検査します。又操作が4ステップのみで、データの判定・装置の正常作動のチェックをすべて自動化していますので使いこなすために少しの努力と時間で足りません。



TECTRON XA マルチチャンネル 臨床化学自動分析装置



日本テクトロン株式会社

東京都小金井市中町4丁目13番14号
〒184 TEL (0423) 84-7011

概 要

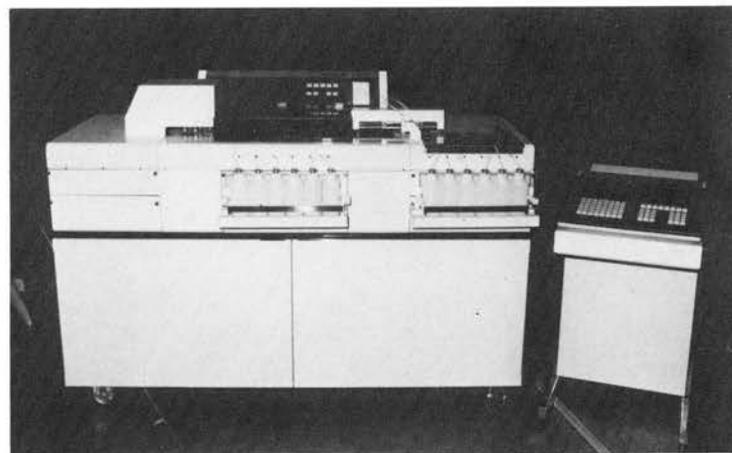
TECTRON XA SERIESは、日本テクトロンが独自の技術で開発した、ディスクリット方式によるマルチカセットスライドシステムの、6チャンネル臨床化学自動分析装置です。

特 長

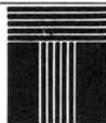
1. すべてのチャンネルでKinetic法と、End-point法の切換えが自由。
2. 検体の必要量は6項目で30~60 μ l。試薬消費量は1項目につき1ml以内。
3. 一度に300検体までセット可能、最終ラウンドまで検体置換えの必要なし。
4. 分析項目の事前設定と、検体ごとの項目の完全自由選択が可能。
5. プラズマディスプレイによる、分析設定条件の表示とセルフモニタ機能。

仕 様

- 方式=6チャンネル：マルチカセット方式
- 同時測定項目数=6項目
- 検体処理能力=最高：720Test/hr(120検体/hr)
- 検体同時セット数=最高：300検体
- 検体量=検体必要量：6項目30~60 μ l
- 試薬量=0.8ml~1.2ml
- 反応時間=反応時間可変：14分
- 攪拌方式=反応管回転攪拌方式
- 検出方式=反応/測定管直接測定
- データ処理=本体内蔵のデジタルプリンタによって、6項目同時プリントアウト



SMACジュニア 中型完全自動制御付分析装置



日本テクニコン株式会社

東京都港区北青山2-5-8
(ハザマビルディング)
〒107 TEL (03)405-7311(代)

概要

世界で臨床検査の自動分析装置の情報処理にディスクマガジンを使用しているのはテクニコンSMACジュニアだけです。臨床医学にフローシステムが長い間信頼性を持続してこれたのは、データの信頼性を最優先しているからです。

特長

- 9段階にわたる精度管理報告システム
- 異常値・正常値についての同時精度確認
- 1,000人のデータ集積と任意打出し自在
- プロファイリング項目自動選択機能
- 完全自動フローカーブモニターおよびシステムチェック
- 6種目から24種目まで検査の量と質に応じた設計
- インターフェースによる病院全体のシステム化に最適

仕様

- 分析能力：90/時
- サンプル量：1.0～2.5ml
- オペレート必要人員：1名
- コンピューターインターフェイス：中型、大型コンピューター、インターフェイス接続可能
- 電気容量：100V 3KW
- 蒸留水：不要
- 分析種目：生化学24種目
- 分析法：比色法、UV法ほか
- 自動ブランク差別：可能
- 自動除蛋白：可能

利用法、参考事項など

日本テクニコンが、数年前に発売したSMACは、高度な流体力学の応用と高度なコンピューターソフトウェアの応用で大成功を収めてきました。特にコンピューターの応用では世界のコンピューター業界にも先がけて、「情報を光に伝達させる」技術と自動制御ソフトウェアは、世界でも高く評価されています。このテクニコンの開発したコンピューターソフトウェアは、従来自動分析機器の後発メーカーがコンピューターの応用を情報処理レベルに留っていたものを一挙に自動制御レベルに高度化したのは、テクニコンが検査技師の専門性を尊重して余分な時間を生み出す無人化の方向をねらってきているものであり、すでに自動制御ソフトウェアは、血液学における同社のヘマログ8及びヘマログDにも導入されています。

SMACの中型化をもって「SMACジュニア」を開発し「完全自動制御」を第1に、中・小規模医療施設の省力化のために「汎用性ソフトウェア分析工程とコンピューター工程」を取り入れております。更に6種目から24種目まで段階的に検査の量と質の要求にそってプログラム化も可能です。



スマック ジュニア

全自動分析装置 クリナライザ JCA-US8



日本電子株式会社

東京都昭島市中神町1-4-18番地
〒196 TEL (0425)43-1111

概要

マルチチャンネル機の効率的な運用が、これからの検査室のテーマです。クリナライザシリーズの新鋭機JCA-US8は、コンピュータ制御の超微量マルチサンプラ及び項目選択機構を内蔵し、最大34項目の中から8項目を自由に選んで、さまざまな条件下で同時分析できる多目的全自動分析装置です。マルチサンプラの活用により分析の効率が大幅にアップします。

特長

- 各チャンネル毎に波長・検体量等の切換が可能です。
- 4チャンネルブロックごとのマルチサンプラにより、4チャンネルごとの独立分析ができ、4項目分析では240検体/時の高速分析が可能です。
- コンピュータ制御超微量サンプラにより、小児・小動物等の微量血清による生化学分析にも最適です。
- プログラムメモリにより1項目から16項目の連続自動分析ができます。
- 試薬を準備することにより最大34項目(オプション)の分析が可能です。
- クリナライザ独自の回転反応/測定管測定方式により、理想的なレートアッセイと正確なエンドポイント測定が可能です。

仕様

形名：クローズドディスクリット型マルチチャンネル同時自動分析システム

分析項目：同時8項目、連続1～16項目

分析速度：960テスト/時間

分析方法：反応初速度法分析および比色法分析

試料量：1項目当り秤取量 $10\mu\text{l}$ ～ $40\mu\text{l}$

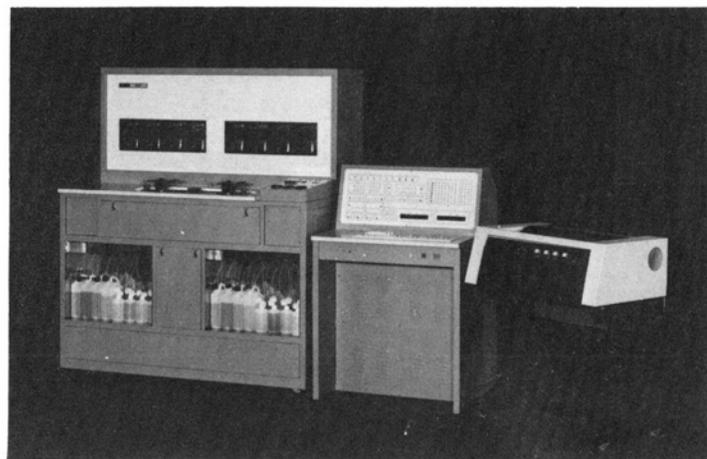
操作制御：コンピュータ制御による全自動操作

項目選択：コンピュータ制御による全項目分析・グループ項目分析、任意項目分析・各項目ともサンプル量・波長・試薬系の変更可能

利用法、参考事項など

クリナライザは、パーフェクトクローズドディスクリット方式を採用し血清・試薬が分析操作中に四散するのを完全に防止でき、検査室内の汚染を注意しなければならない病院検査室等の検査施設に適しています。また独自のサンプリング機構(バルブカット方式)・反応/測定機構(回転反応/測定管測定方式)・温調機構(強制循環方式の予備加熱恒温槽、空気浴恒温槽)により、正確で高精度の反応初速度測定ができるため、患者の病態把握、病状変化の追跡等、臨床生化学検査の中でも重要な検査に適しています。例えば、GOT・GPTの測定範囲は $0\sim 2,500\text{mIU/ml}$ と優れ、高値の異常血清を分析した場合も正確な測定結果が得られます。

JCA-US8では、分析条件(サンプリング量・試薬系数・波長)の変更が簡単なボタン操作でできるため、同一項目をいろいろな分析条件のもとで分析することができます。これらにより、小中大病院・検査センター・検査機関等あらゆる検査室にマッチします。



概要

溶液内抗原抗体反応とネフェロメトリー（光散乱分析法）の組合せによる血清蛋白測定システムです。ネフェロメトリーに最適なレーザー光を光源とした画期的な光散乱光度計です。

特長

- (1) 広範囲な濃度域での測定が可能です。
- (2) レーザー光源の採用により、測定精度が向上し再現性も良好です。
- (3) SRID法との相関は良好で、さらに結果が迅速に得られます。
- (4) ブランク値記憶回路が内蔵されており、抗原抗体複合物のみによる光散乱度が自動的に測定されます。
- (5) 感度調節機構が内蔵されているため、種々の抗原抗体反応系に合わせた最適な感度による測定が可能です。
- (6) コンパクトなため設置場所をえらびません。

仕様

床面積 50(巾)×55(奥)cm

重量 40kg

電源 交流100V 50/60Hz

使用電力 300W

レーザー光 波長632.8nm, ビーム径0.88mm
発振強度 0.5mW

受光部 光電子増倍管を使用

測定及データ処理は米国ヒューレットパッカード社製コンピューターにより自動制御されます。

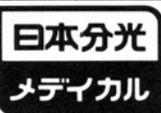
利用法、参考事項など

溶液内抗原抗体反応により生成した抗原抗体複合物にレーザー光が照射されると、光散乱現象を生じます。このとき、抗原抗体複合物による光散乱度と、試料血清中の蛋白濃度（抗原濃度）とが比例関係にあることから、血清中免疫グロブリンをはじめ、種々の蛋白等を定量します。

特に、従来の日常検査において測定困難とされていた臍帯血、小児血清、髄液、尿中等の低濃度検体についても容易に定量が可能になりました。ハイランド レーザーネフェロメーターP.D.Q.オートシステムとLAS-Rテスト試薬は、広範囲にわたって精度の高い測定値を迅速に得るための画期的な蛋白定量システムです。



CL-10型 クロライドメーター



株式会社 日本分光メディカル

東京都文京区本郷3-18-16 岩片ビル
〒113 TEL (03) 816-4351

概要

日本分光メディカルは、従来よりNa, K, の炎光光度計を発売しているが、今度、電解質測定シリーズとして、CL-10型クロライドメーターを発売した。このクロライドメーターは、電解液に試料を次々に投入するだけで、自動的にスタートし、終点に到達すると自動的にプリントアウトする方式のものである。

特長

1. プリンター内蔵であり、検体番号2桁、測定値4桁を、毎回測定の終了時に、自動的にプリントアウトする。プリンターは音の低いサーマル方式を採用している。
2. オート測定の場合には、電解液に検体を注入すると、自動的に滴定を開始する。滴定時間は7～15秒であり、カウントが自動的に停止して、プリントする。このように検体を次々に投入すれば測定が出来る。
3. 電極の保守は簡単である。
4. 再現性、精度は抜群であり、C.V \pm 0.3%以下である。
5. 検体量は20 μ l, 100 μ lである。

仕様

- | | |
|-----------|-----------------------------|
| 1. 測定方式 | 電解電流制御電量滴定法 |
| 2. 終点検出方式 | 分極電流測定法 |
| 3. 測定範囲 | 10～350mEq/l Cl ⁻ |
| 4. 精度 | C.V値 0.3%以内 |
| 5. 指示方式 | デジタル、表示器及びプリンター |
| 6. 表示最少単位 | 0.1及び1mEq/l 切換 |
| 7. 測定時間 | 7秒～15秒 |
| 8. 検体量 | 20 μ l 又は 100 μ l |
| 9. 寸法(mm) | 巾330×奥330×高さ210 |

利用法、参考事項など

日本分光は従来は光学関係の機器を主として開発していたが、最近電気化学分析の原理のものに特に力を入れはじめている。このクロライドメーターも、従来品に比して、格別に測定時間の速いことと、再現性のよいことは、今後自動機のセンサーとしての可能性を充分にもっているものと考えられる。又、固定化酵素の膜を用いて、電極法で、グルコースを全血で測定することにも成功し、製品としている。これらの機種は、マイクロコンピューター等の最新のデジタル技術を最大限に利用して、設計されており、操作手順が全く自動化され、又グルコースメーターは、24時間スタンドバイ体制をマイコン制御で行っている。今、全血を取扱う場合の洗滌等の指令もマイコンによって行なわれている。このマイコン技術は日本分光が約6年前に、計算機内蔵型の分光光度計を世界で初めて発表したときからの、連続した技術である。



CPC

動的赤血球膜物性検査装置



株式会社 バイオメディカル システムズ

〒113 東京都文京区本郷2-10-9(富士ビル) TEL (03) 816-2883

概要

生体の異常は赤血球膜の物性に微妙な変化をもたらします。動的赤血球膜物性検査は直線的に低下して行く浸透圧勾配をつけた食塩水が入っている細いポリエチレンチューブ内を、遠心力によって赤血球を一定速度で移動させていき、赤血球膜が浸透圧低下のストレスに抗しかねて内容物であるヘモグロビンを食塩水内に放出して形成する溶血帯を観察する検査である。

特長

この検査法ではコイル状チューブの中を赤血球を移動させるために公転・自転の二重回転軸をもつ特殊遠心装置が考案されておりコイルプラネット遠心器(CPC)と呼ばれている。

- 検査用血液は極微量(約 $10\mu\text{l}$)です。
- 検査時間は20分間。12検体セットできます。
- 操作法は簡単、再現性に優れています。
- 浸透圧抵抗の赤血球分布(微分曲線)の細かい変化が把握られますので病態の経過観察等に便利です。

仕様

- 特殊遠心装置：公転1600rpm、自転16rpm。100V。
外形寸法57×40×49cm。
- 走査型自記光電記録計：波長500nm。100V。
外形寸法24.5×23×37cm。
- インキュベーター：収納コイル24本。100V。
外形寸法40×16×16cm。

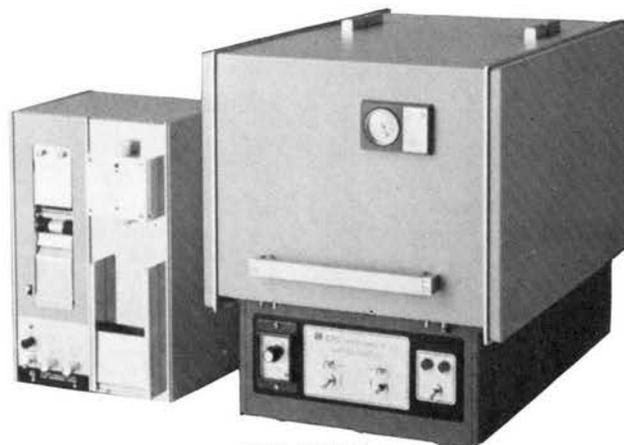
適用範囲

動的赤血球膜物性検査は種々の疾患の診断に役立つが、とくに血液疾患及び肝・胆道疾患の診断・経過観察等に有用である。

その他の適用：保存血の監視、血液透析時の赤血球膜の変化、薬理毒性の検討等。

参考事項

健保適用 200点



CPCシステム

任意選択方式・自動化学分析装置

スイス GREINER 社製

GSA II D

株式
会社

パシフィック 科学貿易

東京都中央区八丁堀2丁目3番2号

小林ビル本館3F

〒104 TEL (03) 553-5211(代)

概 要

臨床化学検査多項目分析器で、高性能分注器を多数内蔵して試薬を分注することにより、マニュアル方式を再現し光学的に化学反応を測定させています。GSA IIDはコンピューター管理ができ、検体の測定項目の指定及びGSA II本体の動的管理が行えます。又本機はスタンダードキャリブレーションを行わず原子及び分子吸光係数を使用し安定なデータが得られます。

特 長

1. 本機GSA IIは、多項目(30項目)をセットでき、検体の必要項目だけを、キーボードよりの入出により選択でき試薬及び検体の無駄がありません。また本機は原子及び分子吸光係数をファクターとして、機械にセットすることによりキャリブレーションがいらす安定したデータが得られます。
2. 本機は、試薬冷蔵庫を内蔵し試薬及び高性能ディスペンサーを2~8℃に管理することにより、日差変動がなくなりました。
3. 本機のメソッド及び検体秤取量は、コンピュータープログラムによるものなので組み換えが自由にできると同時に、他のマニュアル測定試薬を本機にセットし、測定する事も可能です。
4. 本機は取り扱いが大変簡単で女性にも楽に扱えます。
5. 緊急検査を最優先して検査が行えます。

仕 様

- 測定項目：30項目（約70項目より選択しセットする）
- 寸 法：W4,200×D1,450×H1,650mm
- 重 量：1,300kg
- 比色機構：水銀ランプ使用のフィルター利用のシングルビーム
- 反応容器：カップ式により37℃水槽中を震動しながら移動する。
- 処理能力：300テスト/時間
- 反応温度：37℃
- サンプリング機構：ターンテーブル方式ピックアップディスペンサーを使用

利用法、参考事項など

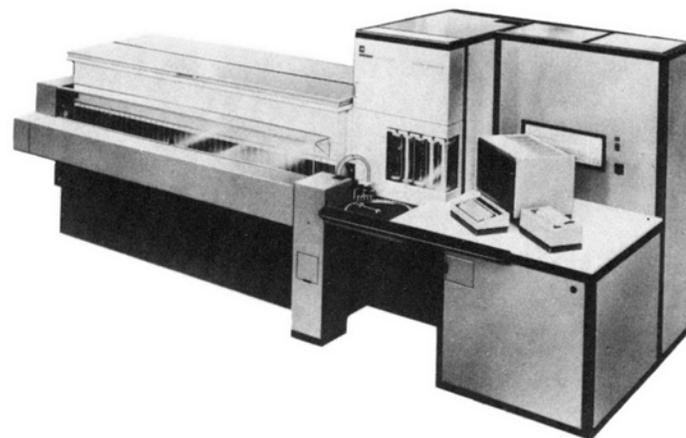
生化学検査の自動化、一般ルーチン検体の処理及び特殊検査の自動化を行う。

電解質(Na, K, Cl)など微量検査においての高性能検査に適している。

平均精度：平均CV 1.1%

波 長：366, 405, 436, 492, 546, 578 nm

試薬分注量：50~2,500 μ l（任意可変）



726形 日立自動分析装置

株式会社 日立製作所

東京都港区虎ノ門1丁目26番5号(第17森ビル)
〒105 TEL (03)504-7855(医用機器グループ)

概要

日立726形は、生化学自動分析装置国産1号機を開発した日立の技術を総結集して開発した新鋭機です。

マイクロコンピュータによる全自動制御によってレート分析と比色分析が同時にでき、しかも毎時150検体の高速処理能力をもっています。

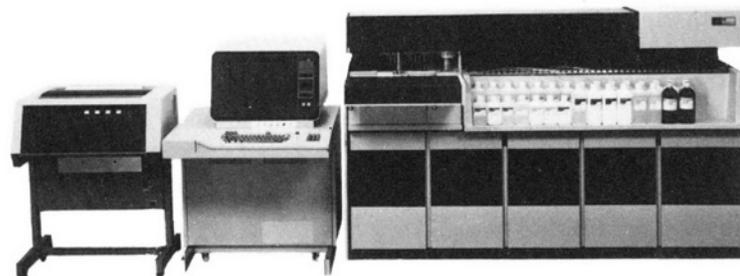
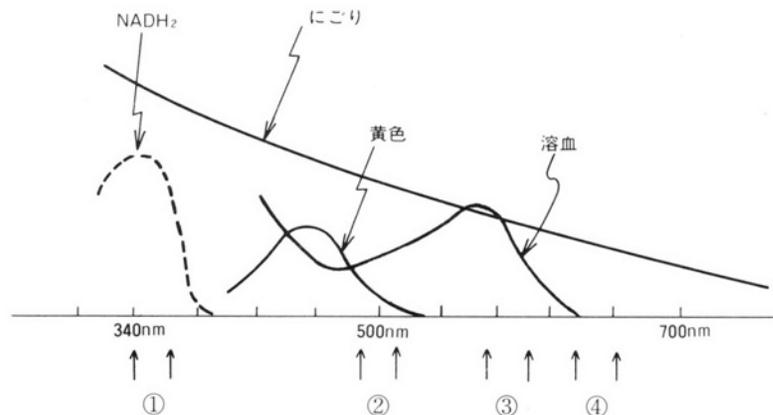
特長

- ①レート分析と比色分析が同時にできます。
レート分析は最大8項目まで任意に設定、変更できます。
- ②毎時150検体のハイスピード処理です。
1検体当り計算項目(A/G比、コレステロールエステル比など)4項目を含め20項目の分析を毎時150検体の速度で行ないます。
- ③血清情報を印字します。
血清の乳び、溶血、黄色の度合を分析項目をへらすことなく測定します。
測定の原理を図に示しますが、NADH₂を用いる反応系の項目を測定する際、同時に可視域6波長で乳び、溶血、黄色の度合を測定します。
- ④精度管理計算を自動的に行ないます。
- ⑤CRTディスプレイでモニタや条件入力ができます。
- ⑥調整は全自動です。

仕様

同時分析項目……16項目+計算4項目+血清情報3項目
検体処理能力……150検体/時
血清所要量……比色法平均15 μ l、レート法平均30 μ l/項目
反応試薬量……1項目平均1.3ml
緊急検体処理……一般検体の順番を狂わさず割り込み可能

測定の原理



**概要**

体液の滲透圧測定は、体内の水と電解質のバランスを知るために欠くことの出来ないものである。滲透圧測定法には、氷点法・蒸気圧法があるが、最も多く使用され、かつ安定度の高い氷点法を採用したものがアドバンス社のオスモメーターである。尿の滲透圧測定は、腎臓の正しい診断に不可欠でもある。

特長

世界唯一の多検体完全自動型の浸透圧計である。安定した再現性は、抜群のものがある。0.3mlの試料をターンテーブルにセットし、スタートボタンを押すだけの操作で、44検体の検体番号と測定値がプリントアウトされる。正確な氷点の形成に要する時間は、それぞれの試料によって異なるが、新設計の電子回路が正しい氷点を検出する。又万全な警告装置があり、検体の不備、器械操作のミスなどで測定に異常があった場合、その内容も記号によりプリントされ、さらに発音音にて知らせる。

取りはずし自由のターンテーブルは、試験管のセットや清掃が非常に簡単です。又高精度のセンサーを採用し、器械や試験管の異常をキャッチする。緊急の検体は、優先測定が出来る。コンピューター直結も可能（オプション）である。

仕様

検体量：0.3ml(0.2～0.3ml)

検体処理能力：1～44検体

表示：デジタル表示及プリントアウト

測定範囲：0～2,000mOsm/kg

再現性：±3mOsm/kg, 0～400mOsm/kg,
±0.5% 400～2,000mOsm/kg

安定時間：約30分

測定時間：1検体約2分

サイズ・重量：69×64×54cm・34kg

消費電力：115V 300W

利用法、参考事項など

滲透圧計の臨床的応用は、使い易い製品が市販されるようになると同時に広範囲になった。尿滲透圧の測定は、腎不全と尿崩症の鑑別を容易に行わせる。クリアランス研究では、量と共に濃度検出が必要となる。血清滲透圧は、ナトリウム濃度を判明させ、種々の疾病の判断に不可欠である。人工腎臓施行時の血清の滲透圧測定及透析液のモニター。唾液、涙液等のすべての体液の滲透圧測定及注射液の滲透圧値、電子顕微鏡の定着液の濃度。分子量の測定、牛乳の品質検査等に幅広く利用されている。滲透圧に関する参考文献も用意されている。



ARIA II 全自動RIA測定装置

製造元 ベクトン・ディッキンソン社

(発売元)

藤沢メディカルサプライ株式会社

大阪市東区道修町4丁目3番地
〒541 TEL (06) 202-1141

概要

ARIA II は、新しく開発されたフローシステムによる全自動RIA測定装置です。このフローシステムは抗体を固定化したカラムを納めたチャンバーを使用しており、約3,000検体の処理が可能です。1検体約3分で測定を完了します。操作コントロール及びデータ処理は本体内蔵のマイクロコンピュータによって制御されています。操作は非常に簡略化されています。

特長

- 3,000検体くり返し使用可能なチャンバーによりムダがありません。
- 独特なフローシステムにより温度、時間、試薬量、抗体等の反応条件が常に安定した状態で測定可能です。
- 抗原・抗体が瞬時に反応するためインキュベーションが不要です。
- 標識化合物は遊離部分と結合部分の両方を測定し計算されます。
- β ・ γ 切換式であり、広範囲の測定が可能です。
- すべての操作はコンピュータにより制御されており、検体をキュベットに入れてセットするだけで測定がスタートでき、操作が非常に簡単です。
- データ処理も自動化されており、データはディスプレイと共にプリントアウトされます。
- 使用試薬および廃液はすべて本体内に貯蔵され、外部に流出しないので汚染の心配がありません。
- 高精度、高能率で経済的です。特に抗体試薬はカラムを使用するためコストです。

仕様

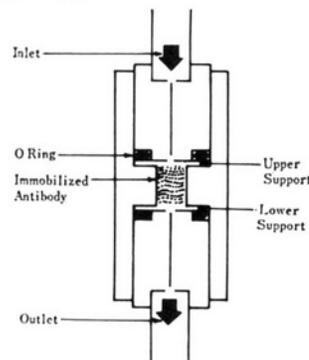
電源：AC105~125V, 50/60Hz, 700W
寸法：(高)122×(巾)74×(奥行)81cm
重量：325.5kg

測定項目

Estriol, Cortisol, T₄, T₃, uptake, Progesterone, Digoxin, Testosterone が発売されます。

このほか TSH, Aldosterone, Folate, B₁₂, Ferritin も続いて発売されます。

原理



ARIA II は抗体を利用した affinity chromatography を応用しており、抗体は glass microbead に共有結合させ 15φ×25mm (内径 5mm) の chamber 内に納めた immobilized antibody system となっています。

この chamber は繰り返し使用が可能です。1本当たり約3,000検体の処理ができます。



ドラモンド マイクロディスペンサー

フナコシ薬品株式会社 化学薬品部

東京都千代田区神田駿河台 2-3
〒101 TEL (03) 293-2341(大代表)

概要

米国ドラモンド社のマイクロディスペンサーは、精密なガラス毛细管製マイクロピペットの製造分野で20年以上も主導権を維持してきた背景をもとに開発された正確で使い易いマイクロピペットです。

特長

ガラス毛细管をステンレスピストンに差し込み、プランジャーを押し込み、毛细管先端を試料液に入れ、プランジャーを戻すと、規定の容量が吸入します。もう一度プランジャーを押すことにより吸入された試料はステンレスピストンにより直接排出されますので粘度の高い試料でもピペットの中の液は残らず排出される正確で再現性のある全く新しい型式のマイクロピペットです。

仕様

- ダイヤル式マイクロディスペンサー
測定容量を変えられます——最大容量 $10\mu\text{l}$ 、 $25\mu\text{l}$ 、 $50\mu\text{l}$ 、 $100\mu\text{l}$
- 固定式マイクロディスペンサー
容量固定型です——測定容量 $10\mu\text{l}$ 、 $20\mu\text{l}$ 、 $25\mu\text{l}$ 、 $50\mu\text{l}$ 、 $100\mu\text{l}$ 、 $200\mu\text{l}$
- $5\mu\text{l}$ マイクロディスペンサー
最大容量 $5\mu\text{l}$ で、附属のスペーサーを用いれば1、2、3、 $4\mu\text{l}$ の固定式にかわります。
- デジタル式マイクロディスペンサー（新製品）
正確なデジタル式の読みと可動式プランジャーシステムの組合せによって、非常に精度よくサブマイクロリッターの容量が測定できる可変式マイクロディスペンサーです——最大容量 $10\mu\text{l}$ 、 $25\mu\text{l}$ 、 $50\mu\text{l}$ 、 $100\mu\text{l}$ 。

利用法、参考事項など

液体に触れる部分が、ガラス、テフロン、ステンレスでできていますので、フッ化水素以外どんな液体にも使用できます。病院検査室における各種血液検査システムのピペッティングに最適です。

米国のある著名な研究所での誤差測定実験によれば、固定式 $100\mu\text{l}$ ディスペンサーを使用した場合の結果として、誤差 $\pm 0.8\%$ 、再現性 0.33% の報告がなされています。





概要

633nmのHe-Neを光源とするレーザー光線が試料に照射されると、試料中の抗原抗体複合体は、これを散乱させます。この時、この複合体の濃度が散乱光の強弱に比例することから、その強度を計測し種々の血漿蛋白を定量します。尚、この時のデータは、接続したマイクロコンピュータにより自動的にプリントアウトされます。

特長

1. 操作が簡単である。
2. 測定濃度範囲が広い。(例) IgG150~10,000mg/dlなど
3. 感度が高い—髄液中の蛋白定量に於いても濃縮不要
4. 試料率が高い—240検体/時間
5. 試薬は少量
6. コンパクト設計で、保守が簡単
7. 免疫拡散法との相関良好
8. 再現性良好
9. 結果が迅速に出る。(反応時間も含めて免疫拡散法の2~3日が2~3時間)

仕様

- ベーリング・レーザーネフェロメーター・モジュールI(本体)
光源：He-Ne 出力：4mW 寿命：20,000時間
フォトディテクター：ケイ素フォトダイオード
電源：AC100V 2A 寸法：750(幅)×330(奥行)×245(高さ)mm 重量：25kg
- ベーリング・レーザーネフェロメーター・モジュールII(トランスポーター)
測定時間：可変(7.5, 15, 30秒など)
試料率：240~480検体/時間
寸法：720(幅)×360(奥行)×210(高さ)mm 重量：10kg

利用法、参考事項など

- ヒト体液中の種々の血清蛋白の定量 (IgG, Alb, Tf, α 1Feto, CRPなど)
- ヒト血清、髄液、尿中の総蛋白の定量。



概要

特異タンパク分析のルーチン化が、ついに実現しました。ベックマンのイムノケミストリーシステム(ICS)はマイクロプロセッサーを備え、レートネフェロメトリーによって分析を行なうため、操作が簡単で、時間がかかりません。特異タンパクの分析が60秒以内にできます。特異タンパクの免疫沈降分析に、臨床的にも生化学的にも利用できます。

特長

- 操作方法が非常に簡単で、迅速な測定ができます。
- ディスプレイが、各ステップごとにすべき操作を正確に知らせてくれます。 ■数値計算は、すべてコンピュータが行ないます。
- 希望の濃度単位で、結果を直接読みとれます。 ■サンプルが測定範囲外の場合は自動的に検知され、ディスプレイが適切な希釈のサンプルを用意するよう指示します。 ■サンプル使用量はわずか42 μ lですから、量の少ない検体でも充分測定できます。 ■サンプルの調製が簡単です。希釈ミスや、再テストをしなくて済みます。 ■トラブルが生じて、オペレーター自身で簡単に直せるよう考えられています。
- 結果を自動的に記録するために、記録計やプリンターを接続することも可能です。

仕様

所要電源：100, 120VAC 50/60Hz

光源：石英製ヨウ素タングステンランプ

サンプル使用量：42 μ l 操作温度：室温(18°~32°C)

試薬使用量：緩衝液(高分子増加剤を含む) 600 μ l/検体

抗血清 42 μ l/検体 希釈液(生理食塩水) 500 μ l/希釈

サンプル処理能力：40~60検体/時 読取方法：アルファニューメリック

ディスプレイ 測定方法：レートネフェロメトリー

寸法：高さ49cm×奥行43cm×幅80cm 重量：29kg

利用法、参考事項など

■簡単な操作手順

1. ICS試薬キットの試薬を室温に戻します。
2. サンプルをダイリュータとディスペンサーで調製します。
3. キャリブレーションカードと抗血清カードを入れて、自動的に係数を決定します。
4. 反応セルを入れます。
5. 希釈したキャリブレーション血清42 μ lと抗血清42 μ lを注入します。反応が始まり、結果はディスプレイに表示されます。

■模擬テストにより、時間と試薬が節約できます。

サンプルや試薬を使わずに、全ての機能を自動的にチェックできます。このテストは一日の測定を始める前に、多機能コントロールボタンを押ささえれば、すぐに始められます。たった3~5分しかかかりません。



概要

クリニスキャンは高速、高感度、蛍光測定はもとより、デンストメータの常識を一新したデンストメータです。不備なデータはブラウン管上で自由に補正できどのような泳動パターンでも自動検体送りを可能としたマイクロコンピュータ付万能デンストメータです。

特長

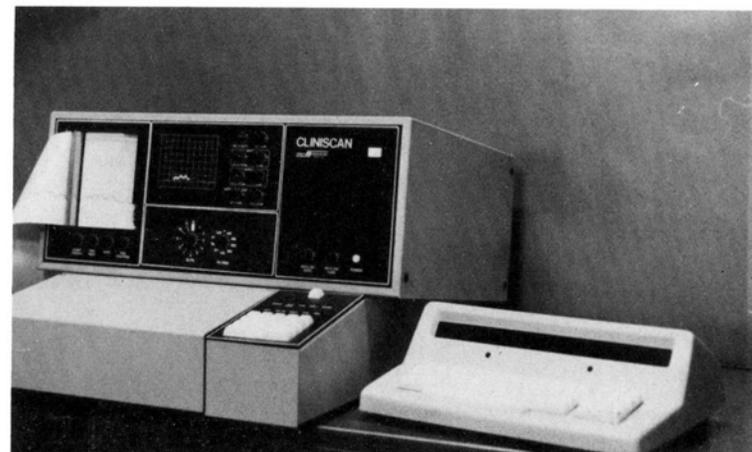
- データエントリーより氏名、検体番号、濃度等が48検体インプットできる。
- 48検体を10分以内で処理できる。(パターンの長さ3cm)
- 不備なデータはテンキーで検体を呼び出し、ブラウン管上で修正できる。
- 染色ムラによるバックグラウンドの不揃いを修正できる。
- 不要な分画(寒天支持体の塗布点など)を削除できる。
- 手動によるゼロ調整はボタンを押すだけで簡単。
- 支持体、検体間ピッチを問わず自動検体送りができる。
- 蛍光、吸光、透過測定ができる。
- マイコンとの対話がディスプレイを通して行なえるので簡単に操作ができる。
- コンピュータに接続可能。

仕様

フィルター：465・485・525・545・570・595・610・645nm.
スリット：12段切換
試料送り速度：25cm/Sec
記録紙速度：可変
記録紙：記録部5cmまたは10cm
記録方式：熱ペン
光源：吸光測定—ハロゲンランプ
 蛍光—水銀ランプ 360nm
電源：100V 50/60Hz

利用法、参考事項など

アイソエンザイムのパターンは染色ムラによるバックグラウンドのためベースラインより一方で上がってしまう事がありますが、クリニスキャンはベースラインを斜めに修正することがブラウン管上で簡単にできます。また寒天支持体等の塗布点が表われてしまう場合、その部分を削除することもできますので大変便利です。



8項目自動血球計 ELT-8



三菱化成工業株式会社

東京都千代田区丸の内二丁目5番2号
〒100 TEL (03) 283-6789

概要

ELT-8はヘリウム／ネオンレーザー（632.8nm, 1mW）を、フローセル中を通過する希釈検体に照射し、これによるレーザー光の散乱を測定し血球、血小板の数及びサイズを測定する新しいタイプの血球計です。

特長

1. 血小板を含む8項目が同時に測定できます。
2. 必要サンプルは100 μ lと少量ですみます。
3. 血小板、赤血球、白血球のヒストグラムがディスプレイ表示されます。またヒストグラムはプロッター(別売)によりプリントアウトすることが可能です。
4. キャリブレーションは標準血液を使用し自動的に行なわれます。
5. コントロール検体のデータは60件まで記憶され精度管理が簡単です。
6. フローセルの内径が広く、つまりによるトラブルが殆んどありません。
7. コンパクトな卓上型デザインで床面積を要しません。

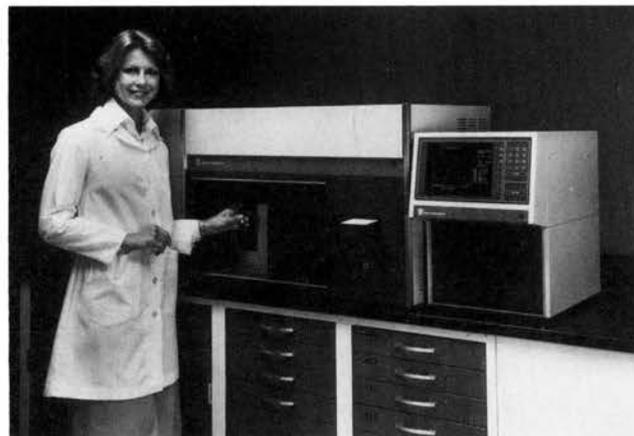
仕様

測定項目、範囲及び精度

RBC	50万～800万個/mm ³
WBC	100～85,000個/mm ³
PLT	1万～100万個/mm ³
HGB	3～23g/dl
HCT	8～66%
MCV	60～120 μ m ³
MCH	20～35 μ g
MCHC	20～40%

利用法、参考事項など

1. ELT-8は希釈された試料中の1個1個の血球及び血小板にレーザー光があたっておこる光散乱を、散乱強度及び測定部通過時間の2つのfactorから測定します。このため従来の方法に比べて赤血球と血小板の分離が正確に行なわれ、特に臨床的に血小板計数に意義のある低値での血小板の測定精度が高くなっています。
CV値 2.0%以下(100,000個/mm³以上)
5.0%以下(100,000個/mm³未満)
2. すべての検体について血小板、赤血球、白血球のヒストグラムがディスプレイされ診断に利用することができます。
3. 毎日の機器スタートアップは「リターンボタン」を押すだけでよく約40秒で測定が可能になります。



概要

免疫グロブリン定量について、精度の向上、経費節減、情報管理、測定時間の短縮など、医師、検査技師の方々の要望にこたえるべく、当社機械部が、日本電気(株)、キャノン(株)など協力会社との連携の基に開発した国産のレーザーネフェロメーターであります。

特長

1. 光源としてレーザー光線を用いており、測定感度が高く、特殊プラスチックセルを使用することにより低濃度域も測定が可能です。
2. LASAC テストキットの抗体力価が高く、高濃度まで測定できる。
3. 操作も簡単であり、SRID法よりも短時間で結果が得られます。
4. 一次免疫拡散法SRID法と相関も良く、再現性も非常に良好です。
5. LASAC 1台あれば、何種類もの血漿蛋白濃度を測定できます。
6. 試薬原価もSRID法に比べ非常に経済的です。
7. LASACは低価格であり使い易さに重点を置き設計されてます。
8. LASAC model IIは、パーソナルコンピューターで検量線をプロットさせ図で確認した後、濃度換算を自動的に行う。

仕様

光源：He-Neガスレーザー	立上り時間：スイッチON時50%
発振波長：633nm(赤色)	
出力：0.5mW	規格出力まで15分
受光管：光電子増倍管	レーザー管寿命：1万時間
散乱測定角度：28°	標準サンプルセル：プラスチックセル
入力電源：AC100V(±10%)、50/60Hz	寸法：幅475×奥行320×高さ140mm

LASAC model I

He-Neガスレーザー光線を抗原抗体反応複合体に照射しますと、光散乱が生じ、その散乱エネルギーが最も強く、タンパク定量に適した28°の角度で光電子増倍管が散乱光をとらえ電気シグナルにLA/D変換し、散乱強度(デジタル値)を表示します。この散乱強度は試料中のタンパク濃度に比例しますので散乱強度を測定することにより、タンパク濃度を知ることができます。

LASAC model II (パーソナルコンピューター附属)

散乱強度(デジタル値)を自動的に入力されたパーソナルコンピューターは、検量線をプロットし、濃度換算を行う。

■LASAC用テストキットは、IgG、IgA、IgM、IgD、C'3、C'4を発売しています。

■パーソナルコンピューターは、精度管理、統計にも御利用いただけるよう豊富なプログラムを用意しております。



エッペンドルフ フォトメーター PCP6121



株式会社 ヤトロン

東京都千代田区東神田 1-11-4
〒101 TEL (03) 862-1766

概要

PCP6121は、定評あるエッペンドルフフォトメーターの信頼性と精度を、コンピューター技術の利用によって一段と高め、より簡便・迅速・正確な測定をと開発された、新しい微量臨床分析システムです。その豊富な付属品群の中から検査室に合わせたシステムが選べ、とくに少数多項目検査、緊急検査、自動分析機のバックアップシステムに最適です。

特長

1. 反応速度法 (Kinetic assay) と終点法 (End point assay) のそれぞれ12項目、計24項目の分析方法をメモリーできます。
2. 測定項目の変更は波長を選定し、2つのキーボードを押すだけです。求めるメソッドが瞬時に準備されます。
3. 内蔵のマイクロコンピューターが、Kinetic法のNon-linearやEnd point法のキャリブレーションミスをチェックし、また光学的な至適レンジへのシフトや増幅率の選定も自動的にコントロールします。
4. 専用のK-キューベット(ディスポです)1つで、試料および試薬のピペッティングから混合、加温、測定までを、一貫して行えます。
5. オートサンプラーやオートダイリ्यूーターもシステムアップできます。
6. 測定精度は研究用光度計としてのグレードを十分に備えています。

仕様

- 光源：水銀スペクトル・ランプ
- 検出器：フォトマルチプライヤー
- スペクトル測定範囲：302~623nm
- 吸光度測定範囲(E)：-0.040~< 4
- 波長設定精度：< 0.1nm
- 表示：吸光度または濃度、デジタル4桁
- キューベット光路幅：2mm(マイクロセル)
- 最大光路長：20mm
- 最少容量：200 μ l (10mm光路)
- 電源：110V、50/60Hz
- 試料温度： $\pm 0.1^{\circ}\text{C}$ (恒温槽接続)
- 消費電力：105VA
- 測定回数：Kinetic 50回/hr.
- 大きさ：34 \times 40 \times 20cm
- Endpoint 250回/hr.
- 重さ：約12kg

利用法、参考事項など

Kinetic	GOT	LDH	ALP	End point	Ca	T. Bil	GLUC
試料量	20 μ l	10 μ l	10 μ l	試料量	10 μ l	50 μ l	50 μ l
試薬量	0.5ml	0.5ml	0.5ml	試薬量	1ml	1ml	1ml
予加温	2分	1分	15秒	反応時間	1分	3分	5分
測定時間	3分	2分	1.5分	反応温度	室温	37 $^{\circ}\text{C}$	37 $^{\circ}\text{C}$
波長	334nm	334nm	405nm	波長	578nm	546nm	334nm
ファクター	4255	8347	2757	測定法	OCPC法	Evelyn-Malloy法	HK-G6PDH法
測定法	SSCC法	SSCC法	GSCC法	試験管に試薬を分注し、必要に応じて予加温する。試料を加えて反応を開始させる。セミマイクロサクシオンセルを使用し、フットスイッチによって連続測定する。 K-キューベットに試薬を分注し、サーモミキサーで約3分間加温する。試料を加えて非特異反応を終了させた後、スタートする。			



血糖測定用 “レフロマート システム”



山之内製薬株式会社

東京都中央区日本橋本町 2 - 5
〒103 TEL (03) 244-3471

概 要

本システムは西独ペーリンガー・マンハイム社で開発された“血糖測定用システム”で、光度計“レフロマート”と試験紙“レフロマートグルコース”より構成されます。

特 長

- 1) 2光源補償方式により、再現性のよい正確な値が得られます。
- 2) 測定値はダイヤル目盛を読みとります。簡単でしかも結果がホールドされるため確実です。
- 3) より正確度を高めるために、スケール目盛は試験紙のロットごとに補正しています。
- 4) 全血・血清（血漿）どちらでも測定可能です。
- 5) 試験紙の判定時の色調が極めて安定しているため、バラツキの少ない結果が得られます。

仕 様

測定方式：2光源補償方式

電 源：AC100V \pm 10%，50/60Hz

消費電力：9 W

光 源：ネオンランプ

外形寸法：250 \times 180 \times 80mm

重 量：1.72kg

操 作 法

- 1) レフロマートを校正する。
- 2) レフロマートグルコースの試験部分に血液または血清を1滴滴下し、1分待つ。
- 3) 脱脂綿で血液または血清を拭きとり、1分待つ。
- 4) レフロマートグルコースを測光部にセットし、ダイヤルでゼロ指針を中央に合わせダイヤル目盛を読みとる。



概 要

複雑化する近代文明は、現在膨大な検査文明を生み出しましたが基礎・臨床を問わずラボラトリーは、ディスプレイな器具使用により、その精度を維持している側面を見逃す事が出来ません。今回ご案内する米国エルケイ社製検査用ディスプレイ製品は、合理的な米国のディスプレイ製品市場の要求する良質で安価なマスプロダクションに成功した本場の専門メーカー品です。

特 長

米国及び欧州各国ではデーターの精度維持の為にディスプレイの思想を創り出したのですが洋の東西を問わず経済的なディスプレイを望んだのは当然の事です。この要求に応えるには、大量生産によるコストダウンを実現する他はありません。

これは多くのユーザーの支持を得て初めて実現するものです。つまり良品質で安価な理由は、今回ご紹介する米国エルケイ社が品質的にも価格的にも諸外国のユーザーの支持を得て大量生産を行っているからです。

自動分析装置用消耗部品

サンプルカップ：種類豊富で各社の自動分析装置からサンプラー付各分析機検体保存等に広範な使用が出来ます。

キューベット：ポリスチレン製で可視部から340nmに至る分析に使用出来るディスプレイキューベットです。丸型角型とあり各々マイクロ用もあります。

その他：ポンプチューブ、メンブレン、チャートペーパー、ガラスコイル等多岐にわたる消耗部品があります。

検査用一般消耗部品

ピペットチップ：各社のマイクロピペットに適合するよう独自に製造されたもので12種に及ぶ品種が揃い更に使用に便利なコンベラック包装のものもあります。

カルチャーチューブ：あらゆる方面の用途に適したプラスチック試験管で、脱着に便利な洩れどめキャップが2種類あり特にRIAチューブとして最適です。

その他、目盛付スピッツ、ディスプレイピペット、血清分離剤、サンプルチューブ等があります。

超微量遠心方式 自動分析装置IL MCA III

医療とのであい



利康商事株式会社

東京都新宿区西五軒町34-6
〒162 TEL (03) 267-1211

概要

遠心方式の自動分析装置は、1960年代後半に米国NASA宇宙計画の中で無重力血液分析装置として提案されたものです。遠心力を利用して検体と試薬を混合、攪拌し回転させながら、その吸光度を多点測定します。この方式は、サンプルの微量化、多項目切り換え使用、高処理能力、操作の簡単さ、メンテナンス等他の分析方式よりも優れています。

特長

1. 20以上の測定項目
2. 超微量サンプルと少ない試薬消費量
3. コンピューターコントロールによる非常に簡単な操作
4. 独自のデスポーザブルキュベットローターの採用
5. 高処理能力：120～350検体/hr
6. 3段階の回転数、ブレインキュベット100rpm、混合4000rpm、測定1000rpm
7. プログラムの各条件を簡単に変えることができます。
8. 実験用のプログラムも用意されています。

仕様

○サンプリングローター

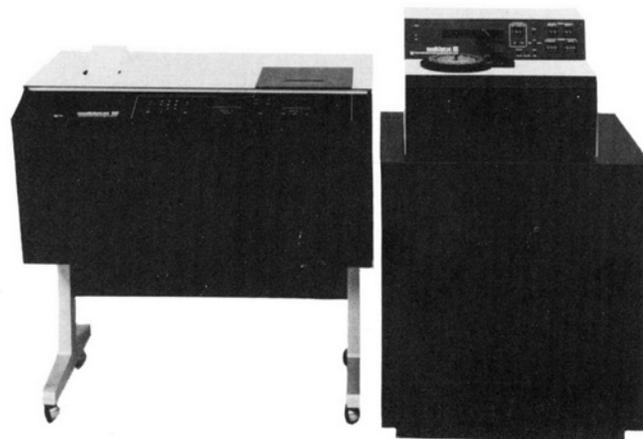
サンプル分注量2～5 μ l、試薬5～250 μ l(第一次)、2～100 μ l(第二次)、
電源115V、3A、所有面積50.8×44.5cm

○アナライザー

20キュベットデスポーザブルローター、キュベット光路長0.5cmキュベット容量150～400 μ l、分光系340～690nm、干渉フィルター、温度20～40℃、2点設定、 \pm 0.1℃以下、コンピューターPDP-8A、電源115V、15A、所有面積92.7×67.3cm、重量(ローター+アナライザー)160kg

利用法、参考事項など

MCA-IIIのプログラムは、カセット方式ですので、プログラムの変更や新しいプログラムをすぐに利用することが出来ます。最近、開発されたEMITテープやprofileテープ(同時3項目測定)が利用出来ます。



レーザーネフェロメーター ZD-801



和光純薬工業株式会社

大阪市東区道修町3丁目10番地
〒541 TEL (06) 203-3741

概要

レーザーネフェロメーターZD-801は、抗原抗体複合物による光散乱強度が試料中の抗原量に比例することを応用した血清蛋白定量用自動分析装置で、He-Neレーザー光線を光散乱測定用光源として用い、マイクロコンピュータ制御により、連続して試液の分注、各々のブランク値及び散乱光強度の測定、濃度換算係数、あるいはこれより得られる抗原濃度値など、各種のデータをプリントアウトします。

特長

- (1)高出力レーザーを光源として用い、抗原抗体反応の初期現象をとらえていますので、微量の試料で各種の血清蛋白を特異的かつ高感度に、しかも従来法に比し極めて短時間内に測定できます。
- (2)分注、攪拌、測定、演算並びに結果のプリントアウトが全て自動的に行われ、操作が極めて簡単です。
- (3)盲検値の補正は各試料について自動的に行われ、面倒なゼロ調整の必要もなく正確な値が得られます。
- (4)項目の切換えは抗血清の取り換えのみですので、一台で多項目の測定を極めて迅速、容易に行うことができます。
- (5)測定値は従来のSRID法などよく相関した値が得られます。

仕様

- 光源：He-Neガスレーザー 632.8nm
- 出力：2mW
- ディテクター：シリコンフォトセル
- 検出方法：直進光部分を除いて
- 試薬分注：0.3ml~1.0ml(0.1mlごと)自動分注器内蔵
- ターンテーブル：最大20検体、温度制御装置付(37℃±0.2℃)
- プリンター：月日、感度、分注量、反応時間、検体No、濃度値、係数の他、入力データ打出し、(内蔵)
- 測定条件：ファンクションキーならびにテンキーによる入力

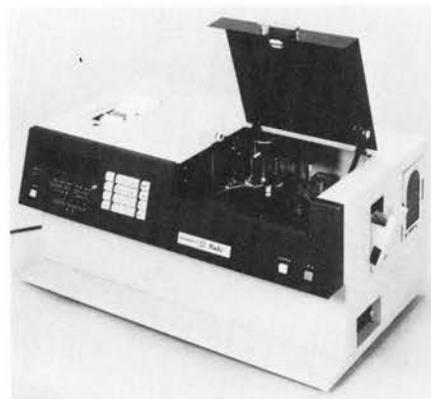
利用法、参考事項など

●レーザー免疫比濁法試薬

(Code No.)	(品名)	(包装)
279-56101	CRP-テストワコー	100回用
277-55801	IgG-テストワコー	100回用
273-55901	IgA-テストワコー	100回用
273-56001	IgM-テストワコー	100回用
274-56301	CRP管理血清	0.5ml
278-56291	免疫グロブリン管理血清	0.5ml
270-56491	CRP基準液	1.0ml

●関連器材

295-05251	ダイリューター・ディスペンサー (SMI社)
537-08101	プラスチック製角型セル No45/104 100コ



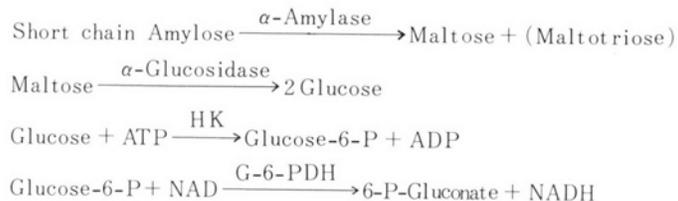


アマパーゼ・K (酵素法)

Kinetic Assay 法による新しい血清アマラーゼ測定用試薬

測定原理

Short chain amylose を基質として血清中の Amylase を作用させると Maltose (Maltotriose) になる。生じた Maltose は α -Glucosidase により Glucose となり、Hexokinase, Glucose-6-phosphate dehydrogenase を作用させ、その時生じる NADH の 340nm の吸光度の増加を測定し α -Amylase 活性を求める。



特 色

- 1) Lag Time が外国製品に比べて短かく、5分間で水解する。
- 2) 反応系の pH が中性付近である。
- 3) 感度が高く、2000 S.U. まで直線性がある。
- 4) 自動分析器への適用が容易である。
- 5) きちんとした Kinetic になっている。(律速的な反応系である。)

試薬内容

酵素試薬(1)	Hexokinase	
	Glucose-6-phosphate dehydrogenase	
	ATP	16ml用×5
	NAD	
116 酵素試薬(2)	α -Glucosidase	2ml用×5
基 質	Short chain amylose	2ml用×5
緩 衝 液		100ml×1

試薬の調整

(自動分析器の場合は、機種により調製法が異なります。)

- 酵素試薬(1) 16ml用1瓶に緩衝液16mlを加えて静かに混和させる。 1
- 酵素試薬(2) 2ml用1瓶に緩衝液2mlを加えて静置後、静かに混和溶解させる。2
(1と2を混合してR-1とする。)
- 基 質 2ml用1瓶に緩衝液2mlを加えて静かに混和溶解させてR-2とする。

測 定 法 (用手法の場合)

R-1 (酵素試薬混合液)	0.9ml	
検 体 (血 清)	0.01ml	—
水 (Blank)	—	0.01ml
37°C, 2~3分間加温		
R-2 (基質緩衝液)	0.1ml	
37°C, 5分間加温後、直ちに340nmにおける $\Delta E/\text{min}$ を測定する。 この試験はBlank反応があるため、測定の際Blankを差引いて計算する。		

試薬の安定性

酵素試薬および基質は溶解後はその日のうちに御使用下さい。

包 装 100ml用



商品名 GOT, GPT活性度測定用

シカオートレート-GOT (堀尾試案に準ずる処法)

シカオートレート-GPT (堀尾試案に準ずる処法)

試薬内容

1. シカオートレート-GOT (300回分)
 - 基質緩衝液・(150ml) …………… 1 瓶
 - α -ケトグルタール酸, L-アスパラギン酸,
リン酸緩衝液 pH7.4含有
 - 酵素・補酵素剤・(12ml相当) ……10瓶
 - NADH₂, MDH, LDH, 含有
2. シカオートレート-GPT (300回分)
 - 基質緩衝液・(150ml) …………… 1 瓶
 - α -ケトグルタール酸, L-アラニン,
リン酸緩衝液 pH7.4含有
 - 酵素・補酵素剤・(12ml相当) ……10瓶
 - NADH₂, LDH含有

特長

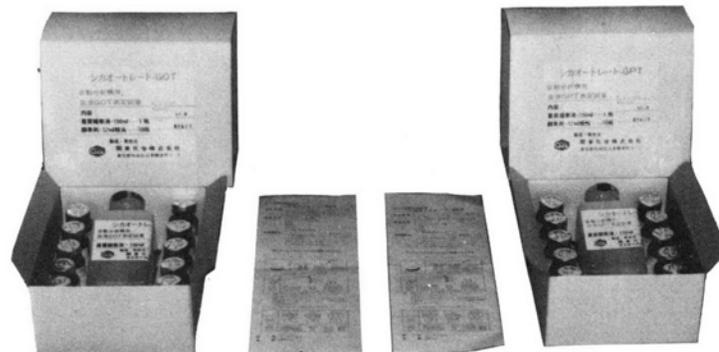
1. 酵素・補酵素剤 1 バイアルを基質緩衝液12mlで溶解するだけで測定できます。
2. 堀尾試案に準じた測定法ですので真のGOT, GPTの活性度を得ることができます。
3. 酵素活性測定法の原則を忠実に守り, 基質濃度, pHは至適条件をそなえた酵素反応初速度法です。
4. 試薬は溶解後 2~10℃で24時間安定です。

適用機種

1. セントリフィケムシステム-300, 400
2. ロト・ケム-36
3. ジェムサック
4. ABA-50, 100, 100VT

その他の展示品目

シカオートレート-LDH, シカオートレート-HBD,
シカオートレート-ALP, シカオートレート-Ch-E,
シカオートレート- γ GT, シカオートレート-LAP,
シカオートレート-GLU, シカオートBUN-UV,
シカオートカラー-Ca, シカオートレート-CPK,
以上適用機種はシカオートレート-GOT, GPTと同じです。
また共に包装は300回分 (セントリフィケムとして) です。





デタミナー®

酵素法分析試薬には主として、オキシダーゼ・パーオキシダーゼ系が用いられております。この系では、ビリルビンの影響が問題になる場合があります。

新しく開発した発色系4・AA-EMAE (4-アミノアンチピリン-N-エチル-N-(3-メチルフェニル)-N'-アセチルエチレンジアミン)はビリルビンの影響を受けません。

総コレステロール定量試薬 デタミナー® TC "555,,

原 理

エステル型コレステロールを加水分解したのち、遊離型コレステロールを酸化し、過酸化水素を生じさせ、次いでこの過酸化水素を当社の開発によるN-エチル-N-(3-メチルフェニル)-N'-アセチルエチレンジアミン(EMAEと略称)と4-アミノアンチピリンを酸化縮合させる新しい発色機構による総コレステロール定量試薬キットです。

特 長

1. 5分以内に反応が完了します。
2. 555nmに極大吸収を示す新発色系により、ビリルビンの影響を受けません。
3. 高脂血清乳濁の影響が少ない。
4. 自動分析装置への適用が容易です。
5. 用手法、HDLコレステロール測定用に小型包装もあります。

遊離型コレステロール定量試薬 デタミナー® FC "555,,

原 理

遊離型コレステロールを酸化し、過酸化水素を生じさせ、次いでこの過酸化水素をEMAEと4-アミノアンチピリンを酸化縮合させる新しい発色機

構による遊離型コレステロール定量試薬キットです。

特 長

1. 5分以内に反応が完了します。
2. 555nmに極大吸収を示す新発色系により、ビリルビンの影響を受けません。
3. 高脂血清乳濁の影響が少ない。
4. 自動分析装置への適用が容易です。

尿酸定量試薬 デタミナー® UA

原 理

ウリカーゼにより、尿酸を酸化して、過酸化水素を生じさせ、次いでこの過酸化水素をパーオキシダーゼ存在下で、EMAEと4-アミノアンチピリンの酸化縮合による高感度発色々素に導く尿酸定量試薬キットです。

特 長

1. 酵素法、ワンステップで操作が簡単です。
2. 5分以内に反応が完了するエンドポイント法です。
3. ビリルビン、ビタミンC(アスコルビン酸)の影響をほとんど受けません。
4. 検体ブランクは不要です。
5. 自動分析装置への適用が容易です。



ロイシンアミノペプチダーゼ測定用試液

基質 (L-ロイシル-3-カルボキシ-4-ヒドロキシアニリド) が水溶性で、G-R法 (β -ナフチルアミン法) によく相関する全く新しい方法であり、次のような特長があります。

- 1) 水溶性基質であるので溶解補助剤を必要とせず、再現性にすぐれています。
- 2) 呈色後が安定であり、反応管やチューブなどへの着色がない。
- 3) 測定波長が635nmと長波長側で測定しますので、血清成分の影響を受けにくい。
- 4) 活性値の単位はL.u./ ℓ 、G-R単位/ ml のいずれでも表わすことができます。

中性脂肪測定用試液

酵素法として従来提案されていた方法論と全く異なった、新しい測定原理にもとづいた酵素法であり、すべての機種に応用でき、次のような特長があります。

- 1) ストッパーの不要な、完全な1ステップ法です。
- 2) 分析機器の定量限界まで直線性があります。
- 3) 生成色素は染色性が少なく、反応管やチューブ等を汚しません。
- 4) 光の影響も受けにくい。

ヤトロン自動分析用試薬は、GOT、GPT 始め20数項目あり、又テクニコン、日立、クリナライザー等 全ての自動化機種に対しての用意をしています。上記2種の試液は、非常に期待の大きな新製品であります。

ハイランド コントロール血清 I

ハイランド コントロール血清 II

長い間検査の精度管理用として御愛用いただいております。自動分析機による分析値も順次とり揃えております。

ハイランド マルチエンザイム血清 A,B,C

ACP, ALP, アミラーゼ, CPK, HBD, LDH, GOT, GPT の8種類の酵素を含んでいます。

A, B, C と活性値が3段階になっており、目的に応じて使用できます。

ハイランド 高脂質コントロール血清

コレステロール、総脂質、リン脂質、トリグリセライドの高値のコントロール血清です。



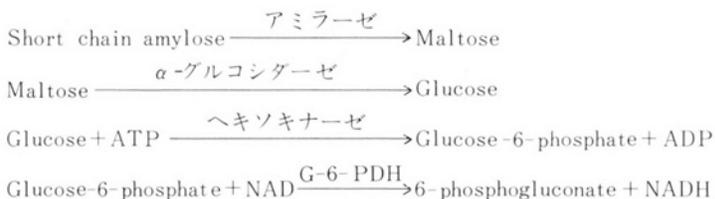
オート試薬AMY

アミラーゼの測定は、膵疾患をはじめとして臨床診断上大きな役割を果たしています。測定法としては、従来Amyloclastic法、Saccharogenic法、Chromogenic法がありますが、自動分析装置への応用という面では、一長一短があります。

ここに紹介する「オート試薬AMY」は、水溶性の基質を用い、UV Kinetic法で、日立706をはじめとして種々の自動分析装置に適応可能なものです。

測定原理

基質に Short chain amylose を用い、アミラーゼによって生じる Maltose を、 α -glucosidase により glucose に水解し、この glucose に hexokinase および glucose-6-phosphate dehydrogenase を作用させ生ずる NADH を測定することにより、アミラーゼ活性を求めようとするものであります。



人血清を用いた検討では、従来法とよく相関し、また Blue Starch 法との比較では、唾液、膵液とも同程度の結果が得られ、臨床的にも同一の評価を与えます。

内因性のグルコース(上限450mg/dl)は反応初期に消費され、アミラーゼの測定結果に影響を与えません。

本法は二液法でも一液法でも充分可能で適用機種も広範囲に互います。

適用可能機種

日立706/706D、日立726、日立712、日電クリナライザー、東芝TBA360、AKES、ABA100、LKB、テクトロン、セントリフィケム、ロットケム、ジェムザック。

日立706への適用データ

同時再現性、日差再現性とも3%以内であり、検量線の直線性も、1500 Somagyi unit迄得られます。アルブミン、ビリルビン、ヘモグロビンについては、実用的にはほとんど影響を与えません。

詳細については当社へお問い合わせ下さい。





RaBA-SUPER

概要

RaBA-Superシステムは、従来のRaBA-3010, MarkIIと専用試薬ユニキットシリーズとから成るシステムをグレードアップしたものである。本システムの大きな特長は、酵素活性が初速度法によって、わずか数分で測定できるようになったことである。

特長

- 初速度と比色法が一台でできる。
- 測定値は直読式でプリントアウトもできる。
- 初速度法では国際単位または慣用単位のどちらでも選択できる。
- 日常検査に必要な生化学検査25項目が測定できる。
- 緊急検査、とび込み検査にも最適である。
- オートブランク機構なので、調節操作はいっさい必要ない。
- 専用試薬にはユニキットシリーズ(比色法用)、ユニキットレートシリーズ(初速度法用)が用意されている。

仕様

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○本体 使用電源-AC100V(50/60Hz) 光源-水銀放電管 測定法-比色法および初速度法 フィルター-366,405,436,546,578nm フィルター切換方式-マニュアル 測定値表示方式-デジタル表示 <li style="padding-left: 20px;">デジタルプリンター インキュベーター-37°C±0.1°C 測光部-37°C±0.1°Cに保温 寸法-480W×390L×200Hmm 重量-14kg | <ul style="list-style-type: none"> ○電源部 使用電源-AC100V(50/60Hz) 消費電力-200W 寸法-136W×295L×96Hmm 重量-3kg |
|--|---|

アミテスト[®]

概要

アミテストは、微量拡散法を応用した血中アンモニア簡易測定試薬である。操作は、すべて室温で、非常に簡単、採血してすぐ全血で測定できるので、副成するアンモニアによる誤差を防げる。測定時間も15分と短時間なので、日常検査はもちろん、緊急検査に好適である。

測定原理

試料(全血)中のアンモニアイオンがアルカリ緩衝剤によってガス化しそれが、ポリプロピレン膜を通過して発色層に移行する。発色層の発色試薬(ブロムクレゾールグリーン)はアンモニアガスの濃度に対応して発色の度合をかえる。この発色度合を標準比色法と比較することによって、血中アンモニア濃度を測定することができる。

特長

- 微量の全血(20 μ l)で測定できる。
- 操作はきわめて簡単で、室温で短時間のうちに測定できる。
- 測定に必要なものはすべて揃っており、いつでも、どこでも測定できる。
- 採血後すぐ測定できるので、副成するアンモニアによる誤差がない。
- 試薬は安定で、室温で保存できる。
- 日常検査はもちろん、緊急検査に適している。

操作

- ①試薬プレートのシールをはがし、試料注入穴を露出させる。
- ②指先、耳朶あるいは肘静脈血を毛细管で20 μ l採取し(採取は標線の2~3mm上まで)、キャップをつけ、血液を試料注入穴に注入する。
- ③シールをもとどおりにして、プレートをかろく振とうする。
- ④血液注入後、15分間正確に室温に放置し、プレートの裏面に出た発色スポットを標準比色法と比較し、アンモニア濃度を読み取る。



自動分析用試薬

弊社では自動分析用試薬を各種販売しております。

項目別では、 γ -GTP、リン脂質、トリグリセライド、総コレステロール、グルコースがあります。

各項目ごとに試薬が各種自動分析装置に適合するように、試薬の容量などを設定し、いくつかのセットにしてありますので各施設での自動分析装置に合わせてセットを選択できます。

適用機種としては、日立400形、日立500形、日立706形、日立706D形、日立716形、オリンパスACA-601形、TBA-360形、セントリフィケム-400形、ABA-100形等です。

自動分析用試薬の原理は、 γ -GTPはOrlowski法で、その外は酵素法によるものです。これらの試薬は、特に試薬の安定性をよくし、使用期限を長くする事に留意してあります。

管理用血清

コンセーラ（正常値）、コンセーラA（異常値）は、ヒト血清を正確に一定量ずつ分注し凍結乾燥したもので、コンセーラA中の一部の成分は異常値を示します。

特 長

- (1) 各コンセーラの含有成分濃度は、同一ロット内では差がないので、精度管理用に好適です。
- (2) 凍結乾燥されていますので、保存による経時変化がきわめて少なく、長時間の使用にたえます。
- (3) 自動分析機の精度管理にも最適です。
- (4) 保存・貯蔵が簡便です。
- (5) 価格が安いので、費用負担が少なくてすみます。

使用法

本品1バイアルにホールピペットで正確に蒸留水3.0ml（または15.0ml）を加えて約20分間室温に放置したのち、ゆるやかに転倒混和して溶解します。

保存法

冷暗所（2～5℃）に保存します。

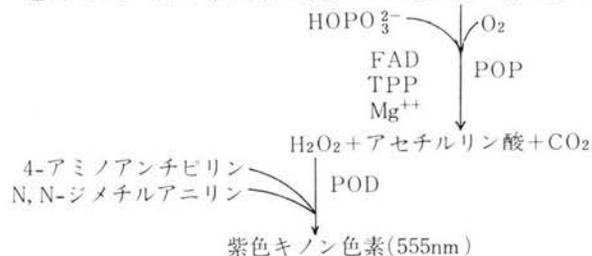
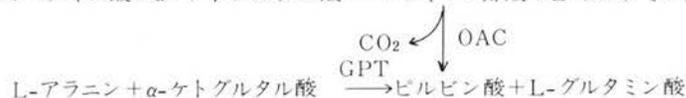
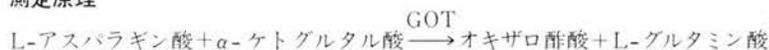


血清トランスアミナーゼ測定用試薬

GOT・GPT-s (POP・酵素法)

GOT・GPT-Sは、オキサロ酢酸脱炭酸酵素 (OAC) とピルビン酸酸化酵素 (POP) を用いた、新しい血清トランスアミナーゼ測定試薬です。

測定原理



GOT: Glutamate oxaloacetate transaminase

GPT: Glutamate pyruvate transaminase

OAC: Oxaloacetate decarboxylase

POP: Pyruvate oxidase (phosphorylating)

POD: Peroxidase

FAD: Flavin adenine dinucleotide

TPP: Thiamine pyrophosphate

試薬内容

GOT 基質緩衝液: L-アスパラギン酸, α -ケトグルタル酸GPT 基質緩衝液: L-アラニン, α -ケトグルタル酸

GOT 酵素試薬: OAC, POP, POD

GPT 酵素試薬: POP, POD

呈色試液: N,N-ジメチルアニリン

反応停止液:

試薬の調製法

GOT 基質緩衝液で GOT 酵素試薬を溶解し、呈色試液を加えて、GOT 基質呈色試液とします。GPT 基質呈色試液も同様に行います。

反応停止液は 3 倍に希釈して用います。

特長

* 従来のライトマン・フランケル法とことなり、検量線は直線です。

* 共存物質の影響が少なく、血清ブランクが不要です。

* カルメン法 (UV 法) とよく相関します。

保存法 2~8℃

自動分析機へのダイアグラム

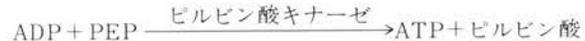
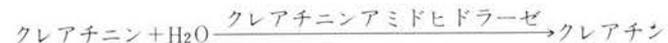
		END POINT 37℃		
		Ⓔ Sample	Ⓕ 基質呈色試液	Ⓖ 反応停止液
日立 400 (1)	400	Ⓔ (15min)	Ⓕ (21min)	Ⓖ
	500	Ⓔ 50 μ ℓ	Ⓕ 1.0ml	Ⓖ 2.5ml
(2)		Ⓔ (20min)	Ⓕ (16min)	Ⓖ
		Ⓔ 25 μ ℓ	Ⓕ 0.5ml	Ⓖ 3.0ml
(3)18分法		Ⓔ (12min)	Ⓕ (6min)	Ⓖ
		Ⓔ 50 μ ℓ	Ⓕ 1.0ml	Ⓖ 2.5ml
日立706, (716)		Ⓔ (10min)	Ⓕ (5min)	Ⓖ (Ⓖ)
		Ⓔ 20 μ ℓ	Ⓕ 0.4ml	Ⓖ 1.0ml
オリンパス ACA・6000		Ⓔ (12' 20")	Ⓕ (3' 40")	Ⓖ
		Ⓔ 25 μ ℓ	Ⓕ 0.5ml	Ⓖ 1.5ml
ABA-100 セントリフィケム ロトケム IIa		Ⓔ (5min)		
		Ⓔ 10 μ ℓ	Ⓕ 250 μ ℓ (or 350 μ ℓ)	



1. クレアチニン・UV・テスト Cat. No. 166413 2×40回〈新発売〉

従来より使用されている Jaffe 反応は非特異的に反応し、種々の薬剤の干渉を受ける。それ故、これらの欠点を解決した特異性の高い酵素法がこの度、ベ-リンガー・マンハイム山之内(株)より発売される事となった。

原 理



NADH量の減少はクレアチニン量に比例するので、減少したNADHを365nm、或は340nmで測定。

特 長

1. 酵素法なので特異性が高い。
2. 再現性が良く、正確です。
3. ビリルビン、薬物による阻害がない。

Kit 内容

ビン1	グリシン緩衝液	100ml×2
ビン2	NADH, ATP	2ml×2
ビン3	酵素剤	2ml×2
ビン4	クレアチニナーゼ	1.3ml×1
ビン5	ピルビン酸	2.0ml×1

試液の調製・安定性

ビン1、ビン2(蒸留水3mlに溶解)、ビン3(蒸留水2mlに溶解)を100:2:2の割合に混合し、試液とする。

2~8℃で24時間、常温で5時間安定。

測定法

	検体盲検	検体
試液 (検体)	2.00ml 0.02ml	— —
よく混和します。		
検体盲検から移す 蒸留水 溶液Ⅳ	1.00ml 0.01ml —	1.00ml — 0.01ml
よく混和し30分間放置後、検体盲検および検体の吸光度を同じキュベットではかります。 Creatininase(溶液Ⅳ)の混入をさける為に、検体測定後は検体盲検液で洗います。 ΔE = E _{検体} - E _{検体盲検} - ΔE _{RB}		

注1). 各シリーズで試薬盲検が心要です。

注2). 365nmで測定の場合、調製法、測定法が変わります。

2. ユニバーサルコントロール血清 〈新発売〉

○プレチノルム®U Cat. No. 171735 4×5ml
171743 20×5ml

人血清由来のユニバーサルコントロール血清で、正常値附近、或は測定し易い範囲内に調整されている。

○プレチバス®U Cat. No. 171760 4×5ml
171778 20×5ml

人血清由来のユニバーサルコントロール血清で、異常値測定用に調整されています。

プレチノルム®U、プレチバス®U共に、酵素、基質、脂質、蛋白質、電解質、甲状腺ホルモン等40以上の血清成分について100以上の分析方法による値が表示されています。


GRAN-U-CHEM

グラニューケムは、米国マリクロット社で開発された、酵素活性の測定に理想的と認められている“UV RATE ASSEY (Kinetic Assay)”用の臨床検査薬です。

このグラニューケムには、従来にない2つの大きな特徴があります。その一つは、検査に必要な総ての成分をそれぞれ特殊コーティングを施した吸湿し難い安定な顆粒に作り上げ、一つの袋にパックしたことです。第二の特徴は、室温で保存して、一年間は品質の安定を保つことです。

特 長

- 測定に必要な総ての成分をそれぞれ吸湿しにくい、室温で安定な、特殊顆粒にまとめ、一つの袋にパックしました。
- パックは、フィルム、アルミ箔、更に外側の厚紙と三層にした材料を使用しており、温度、湿度に対して極めて安定性が高く、室温で保存して一年間は品質の安定を保ちます。
- 測定時に、所定量の蒸留水を取り、パックの内容物を加えるだけで直ちに測定にかかれます。
- 調製を済ませた試薬は、調製後も高い安定性を保ち、例えばLDHは室温で4日間、また冷蔵庫内（4℃）で保管した場合には一ヵ月間は有効です。
- 必要血清量は、CPK、GOT、GPTの測定には各0.1mlの血清量でよく、LDHの測定には0.5mlで測定可能です。

品 目

- グラニューケム CPK-UVキット
- グラニューケム LDH-L-UVキット
- グラニューケム GOT UVキット
- グラニューケム GPT UVキット

展示会社住所録

(五十音順)

社 名	本社及出先機関	〒	住 所	電 話
旭メディカル株式会社	本 社	100	東京都千代田区有楽町1-1-2 日比谷三井ビル	(03) 507-2593
	品川分室	108	東京都港区高輪2-21-46 富士工ビル	(03) 449-3731
	大阪営業所	530	大阪市北区堂島浜1-2-6 新大阪ビル	(06) 347-3858
	名古屋営業所	460	名古屋市中区錦2-2-13 名古屋センタービル	(052) 201-6541
	福岡営業所	810	福岡市中央区天神1-10-17 西日本ビル	(092) 713-5511
	札幌営業所	060	札幌市中央区南1条西4丁目 日之出ビル	(011) 261-5321
朝日ライフサイエンス株式会社	本 社	102	東京都千代田区二番町9番地3	(03) 265-5031
安部商事株式会社	本 社	530	大阪市北区中之島3丁目6番32号	(06) 443-8801
	東京営業所	100	東京都千代田区内幸町1丁目2-2	(03) 502-4101
	中部営業所	453	名古屋市中村区牧野町5-10	(052) 452-1691
	大阪営業所	530	大阪市北区中之島3丁目6番32号	(06) 443-8801
	九州営業所	812	福岡市博多区古門戸町3-12	(092) 281-5675
	筑波営業所	300-21	茨城県筑波郡谷田部町谷田部6117-3	(02975) 6-1442
	科学機器センター	112	東京都文京区小石川1丁目20番10号	(03) 816-4827
アポット株式会社	本 社	105	東京都港区虎ノ門3-8-21	(03) 437-3911
	仙台営業所	980	仙台市木町通2-2-11	(0222) 74-2233
	本社営業部	105	東京都港区虎ノ門3-8-21	(03) 437-3911
	名古屋営業所	450	名古屋市中村区名駅三丁目22-8	(052) 562-0760
	大阪営業所	550	大阪市西区西本町1-10-10	(06) 533-0464
	岡山営業所	700	岡山市表町1-5-27	(0862) 33-7267
	福岡営業所	810	福岡市中央区大名1-14-45	(092) 721-0629
株式会社 アムコ	東京本社	102	東京都千代田区飯田橋4-8-7	(03) 265-4261
	大阪支店	540	大阪市東区釣鐘町2-36 ニュー大阪ビル	(06) 942-5971
	名古屋支店	466	名古屋市昭和区鶴舞3-23-20 鶴舞ビル	(052) 741-6051
	福岡支店	812	福岡市博多区博多駅東1-1-29	(092) 441-7641
	札幌出張所	062	札幌市中央区北三条東2-2	(011) 241-4428
	仙台出張所	980	仙台市春日町3-25 正木ビル	(0222) 23-4060
	金沢出張所	920	金沢市割出町633-1 新保第2ビル	(0762) 37-6490
	広島出張所	730	広島市幟町9-18 藤井ビル	(0822) 23-2511

社 名	本社及出先機関	〒	住 所	電 話
ア ロ カ 株 式 会 社	本 社・工 場	181	東京都三鷹市牟礼6丁目22番1号	(0422) 45-5111
	大 阪 営 業 所	531	大阪市淀川区大淀南2丁目1番14号	(06) 453-0715
	名古屋営業所	460	名古屋市中区栄2丁目6番12号 白川ビル	(052) 203-0571
	福岡営業所	812	福岡市博多区博多駅前3丁目5番7号 博多センタービル	(092) 411-5735
	仙台営業所	980	仙台市国分町3丁目8番3号 新産業ビル	(0222) 62-7181
	札幌出張所	060	札幌市中央区北三条西7丁目 北海道水産ビル	(011) 251-0770
	水戸出張所	310	水戸市大町3丁目2番3号 協和ビル	(0292) 26-2071
	新潟出張所	950-21	新潟市寺尾上5丁目9番10号	(0252) 69-2884
	広島出張所	733	広島市南観音1丁目1番4号 矢島ビル	(0822) 92-0019
	長崎出張所	852	長崎市旭町6番3号	(0958) 61-6384
株式会社 アーンスト・ハンセン商会	本 社	651	神戸市葺合区小野通7丁目1-18	(078)251-3911(代)
	東京営業所	105	東京都港区虎ノ門2丁目3-22	(03) 502-5267(代)
	名古屋営業所	460	名古屋市中区大須4丁目1-3	(052) 241-1936
株式会社 井 内 盛 栄 堂	本 社	530	大阪市北区天満4-10-15	(06) 352-4621
伊藤忠データシステム株式会社	本 社	107	東京都港区北青山2-5-8 ハザマビル17F	(03) 405-5411
	東京支店	107	東京都港区北青山2-5-8 ハザマビル14F	(03) 405-5421
	日本橋分室	103	東京都中央区日本橋本町2-2 エイコービル	(03) 663-4607
	技術センター	135	東京都江東区塩浜2-4-33 城東日立家電ビル3F	(03) 649-2191
	大阪支店	541	大阪市東区北久宝寺町5-25 東明ビル	(06) 252-7161
	名古屋支店	460	名古屋市中区錦3-14-15 カゴメビル	(052) 962-5711
	札幌営業所	060	札幌市中央区北一条西1-5-1 安田生命札幌ビル	(011) 281-2758
	広島営業所	733	広島市鉄砲町5-7 (第2セントラルビル)	(0822) 23-2151
	福岡営業所	812	福岡市博多区博多駅中央街8-36 博多ビル	(092) 441-7734
	水戸営業所	310	水戸市天王町9-23	(0292) 24-8742
株式会社 医 用 技 術 研 究 所	本 社・工 場	190	東京都立川市錦町2-4-4	(0425) 24-0907
エイ、エッチ、エスジャパン株式会社	本 社	107	東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル	(03) 585-3537
	大阪事務所	532	大阪市淀川区西中島4-1-1 日清食品ビル	(06) 305-2951
	福岡事務所	812	福岡市博多区祇園町6-43 祇園柴田ビル	(092) 281-5411
	名古屋事務所	460	名古屋市中区富士見町13-19 ヤギシャトー2号館	(052) 322-2961
	札幌事務所	060	札幌市中央区南1東2 大通バスセンタービル2号館	(011) 221-3875

社 名	本社及出先機関	〒	住 所	電 話
栄 研 化 学 株 式 会 社	本 社	113	東京都文京区本郷1-33-8	(03) 813-5401
	大 阪 支 店	541	大阪市東区淡路町5-15 南星ビル	(06) 202-6471
	野 木 工 場	329-01	栃木県下都賀郡野木町大字野木143	(02805) 6-1221
	研 究 所	124	東京都葛飾区東新小岩4-7-2	(03) 692-1131
英 弘 精 機 産 業 株 式 会 社	本 社	151	東京都渋谷区幡ヶ谷1-21-8	(03)469-4511~6
	大 阪 営 業 所	540	大阪市東区豊後町5 (メデイカルビル)	(06) 941-2157
エ ム エ ス 機 器 株 式 会 社	本 社	530	大阪市北区西天満5丁目13番11号	(06) 313-0537(代)
	東 京 営 業 所	113	東京都文京区本郷3丁目9番5号	(03) 816-6541(代)
	福 岡 営 業 所	812	福岡市東区箱崎2丁目14番31号	(092)631-1012(代)
マイルス・三共株式会社エームス事業部	本 社	104	東京都中央区銀座1-9-7 (大和本社ビル)	(03) 567-5511
	札 幌 営 業 所	060	札幌市中央区大通西9-1-1 (丸菱ビル)	(011) 271-4038
	仙 台 営 業 所	980	仙台市大町1-1-6 (第一青葉ビル)	(0222) 25-2205
	東 京 第 一 営 業 所	104	東京都中央区銀座4-13-18 (医療ビル)	(03) 543-5775
	東 京 第 二 営 業 所	104	東京都中央区築地1-5-8 (極泉ビル)	(03) 543-5795
	名 古 屋 営 業 所	460	名古屋市中区丸の内2-16-1 (マルジュウビル)	(052) 211-6281
	大 阪 営 業 所	541	大阪市東区南久太郎町1-56 (三菱紙販ビル)	(06) 261-6489
	広 島 営 業 所	730	広島市八丁堀1-17 (広島大本ビル)	(0822) 28-8283
	福 岡 営 業 所	812	福岡市博多区綱場町8-31 (福岡松村ビル)	(092) 281-2651
エ ル マ 光 学 株 式 会 社	本 社	101	東京都千代田区鍛冶町2-4-5	(03) 256-0911
	川 口 営 業 所	334	埼玉県川口市根岸2-9-8-5	(0482) 81-1913
	大 阪 営 業 所	530	大阪市北区南森町1-3-9 (柏尾ビル内)	(06) 364-7981
	九 州 営 業 所	812	福岡市東区馬出2-2-6	(092) 651-2377
	札 幌 営 業 所	061-11	札幌市東区南一条1-1-1 (第一ビル)	(011) 231-1111
オ リ ン パ ス 光 学 工 業 株 式 会 社	本 社	101	東京都千代田区神田駿ヶ台3-4 龍名館ビル	(03) 251-9311
	札 幌 支 店	060	札幌市中央区北3条西4丁目 日生ビル	(011) 241-4015
	仙 台 支 店	980	仙台市中央1丁目2の3 第一ビル	(0222) 25-6823
	新 潟 支 店	950	新潟市東大通り1丁目4番1号 マルタケビル	(0252) 45-7339
	金 沢 支 店	920	金沢市尾山町3-25 住友生命金沢ビル	(0762) 63-6848
	名 古 屋 支 店	460	名古屋市中区錦3-23-31 栄町ビル	(052) 961-7451

社 名	本社及出先機関	〒	住 所	電 話
オリンパス光学工業株式会社	大阪支店	542	大阪市南区塩町通3-45 オリンパス大阪センター	(06) 252-6695
	高松支店	760	高松市天神前10-5 高松セントラルスカイビル	(0878) 33-0670
	広島支店	730	広島市八丁堀16番11号 日生第2ビル	(0822) 28-1921
	福岡支店	810	福岡市中央区天神1丁目14-1 日生ビル	(092) 711-1881
片山化学工業株式会社	本社	541	大阪市東区道修町3丁目7番地	(06) 203-3441
関東化学株式会社	本社	103	東京都中央区日本橋本町3-7	(03) 279-1755
	大阪支店	541	大阪市東区瓦町3-1	(06) 231-1672
	札幌出張所	061-01	札幌市豊平区里塚314-3	(011) 882-1511
	仙台出張所	983	仙台市日の出町1-7-9	(0222) 94-0175
	宇都宮営業所	321-01	宇都宮市雀の宮4-737-58	(0286) 53-3724
	埼玉出張所	364	北本市大字北中丸字上手2152	(0485) 92-2361
	静岡出張所	422	静岡市中村町393	(0542) 81-2010
	中京出張所	491	一宮市大和町妙興寺字中之町4	(0586) 24-1725
	広島営業所	730	広島市大州1-7-2	(0822) 85-6221
萱垣医理科工業株式会社	本社	113-91	東京都文京区本郷3-14-16	(03) 812-5285
	名古屋営業所	464	名古屋市千種区下方町7-40-1 大東和ビル3F	(052) 722-0020
株式会社 京都第一科学	本社	601	京都市南区東九条西明田町57番地	(075) 672-5311
	東京営業所	103	東京都中央区日本橋兜町2-55 共同ビル	(03) 664-1841
協和酸酵工業株式会社	本社	100	東京都千代田区大手町1-6-1	(03) 201-7211
	東京支社	104	東京都中央区八丁堀2-27-10 (東八重洲ビル)	(03) 552-5201
	大阪支社	530	大阪市北区梅田1-8-17 (第一生命ビル)	(06) 341-0051
	名古屋支社	450	名古屋市中村区名駅3-25-9 (堀内ビル)	(052) 563-1231
	九州支社	812	福岡市博多駅前2-2-1 (福岡センタービル)	(092) 473-5631
	札幌支店	062	札幌市白石区東札幌4条1-2-20 (安全ビル)	(011) 812-1121
	仙台支店	980	仙台市本町1-12-12 (DIK文京ビル)	(0222) 62-7691
	広島支店	730	広島市大手町2-2-18 (日生広島大手町ビル)	(0822) 47-9121
	四国支店	790	松山市一番町1-15 (住友生命松山ビル)	(0899) 46-1287

社 名	本社及出先機関	〒	住 所	電 話
協 和 精 密 株 式 会 社	本 社	181	東京都三鷹市大沢1丁目2番41号	(0422) 31-5691
	大 阪 営 業 所	533	大阪市東淀川区山口町299番地 新大阪丸ビル	(06) 323-6139
久 保 田 商 事 株 式 会 社	本 社	113	東京都文京区本郷3-29-9	(03) 815-1331
	札 幌 出 張 所	001	札幌市北区北32条西2丁目	(011) 753-3920
	仙 台 出 張 所	980	仙台市上杉5-1-1	(0222) 23-4927
	新 潟 出 張 所	950	新潟市堀之内字前沢164-2	(0252) 41-8407
	名 古 屋 出 張 所	460	名古屋市中区新栄1-17-24	(052) 262-3705
	大 阪 出 張 所	540	大阪市東区内久宝寺町4-3	(06) 762-8471
	広 島 出 張 所	730	広島市南竹屋町2-12	(0822) 43-6514
	四 国 出 張 所	790	松山市西長戸町132-1	(0899) 24-4596
	福 岡 出 張 所	812	福岡市東区宮松1-6-11	(092) 621-1161
国 際 試 薬 株 式 会 社	本 社 事 務 所	650	神戸市生田区東町113番地の1	(078)392-1451(代)
コ ス モ 株 式 会 社	本 社	113	東京都文京区本郷3-26-10	(03) 811-6477
コ ー ニ ン グ 株 式 会 社	本 社	107	東京都港区赤坂1-9-20 興和ビル16ビル別館	(03) 586-1055
株式会社 サイエンスラボラトリー	本 社	107	東京都港区南青山2-24-12 青山ハニービル	(03) 470-6330(代)
三 共 株 式 会 社	本 社	104	東京都中央区銀座2丁目7番12号	(03) 542-3511
	東 京 第 一 支 店	103	東京都中央区日本橋本町3-1-6	(03) 279-1511
	東 京 第 二 支 店	103	東京都中央区日本橋本町2-9 薬業会館	(03) 279-2871
	大 阪 支 店	541	大阪市東区道修町1-20	(06) 203-3421
	福 岡 支 店	812	福岡市博多区下呉服町1-6	(092) 281-8121
	仙 台 支 店	980	仙台市国分町1-7-16	(0222) 21-2191
	名 古 屋 支 店	460	名古屋市中区丸の内3-4-36	(052) 951-1191
	札 幌 支 店	060	札幌市中央区大通西8-1	(011) 241-6191
	広 島 支 店	733	広島市土橋町6-8	(0822) 93-5111
	高 松 支 店	760	高松市中新町13-1	(0878) 31-0221
三 光 純 薬 株 式 会 社	本 社	101	東京都千代田区岩本町1-10-6	(03) 863-3261
	大 阪 支 店	532	大阪市淀川区宮原5-8-5	(06)391-2501~6
	福 岡 営 業 所	815	福岡市南区清水3-1-2	(092) 511-0611
	札 幌 営 業 所	065	札幌市東区北六条東2-8	(011) 711-3696

社 名	本社及出先機関	〒	住 所	電 話
三 光 純 薬 株 式 会 社	仙台営業所	980	仙台市一番町1-15-11	(0222) 67-2291
	名古屋営業所	453	名古屋市中村区長坂町5-49	(052) 412-3772
	広島営業所	734	広島市東雲本町2-21-17 和興ビル	(0822) 83-8271
シノテスト商事株式会社	本 社	102	東京都千代田区麹町3の2 第3麹町ビル	(03) 239-3741(代)
	札幌店	060	札幌市中央区北大通り西16丁目 大重ビル3F	(011) 641-1878
	仙台店	980	仙台市北目町2の39 東北中心ビル	(0222) 62-5708
	東京第1店	102	東京都千代田区麹町3の2 錦屋ビル6F	(03) 262-3576
	東京第2店	102	東京都千代田区麹町3の2 錦屋ビル6F	(03) 230-4568
	名古屋店	460	名古屋市中区新栄1の27の27 広瀬ビル	(052) 261-5818
	大阪店	550	大阪市西区靱本町2の2の22 ウツボパークビル	(06) 448-3101
	広島店	730	広島市鶴見1の6 ひらのビル4F	(0822) 44-3051
	福岡店	812	福岡市博多区博多駅前3-5-7 博多センタービル	(092) 473-0261
株式会社 島津製作所	本 社	604	京都市中京区河原町通二条南	(075) 251-2811
	東京支社	101	東京都千代田区内神田1丁目14-5	(03) 296-2243
	大阪支社	530	大阪市北区芝田1丁目1-4 阪急ターミナルビル14階	(06) 373-6547
	福岡支店	812	福岡市博多区冷泉町4-20	(092) 271-0331
	名古屋支店	450	名古屋市中村区名駅3丁目28-12 大名古屋ビル5階	(052) 562-3522
	広島支店	730	広島市袋町4-21 富国生命館7階	(0822) 48-4311
	仙台支店	980	仙台市二日町1-23 熱海ビル3階	(0222) 21-6231
	札幌支店	060	札幌市中央区北二条西4丁目1 北海道ビル6階	(011) 231-8811
	京都営業所	604	京都市中京区河原町通二条南	(075) 251-2853
	神戸営業所	650	神戸市生田区西町36 三菱信託銀行ビル8階	(078) 331-9661
株式会社 常 光	本社・東京営業所	113	東京都文京区本郷3-19-4 常光ビル	(03) 815-1717
	大阪支店	530	大阪市北区天満4-14-19 高橋ビル東7号	(06) 353-2441
	名古屋支店	460	名古屋市中区千代田5-8-30 第1三英ビル	(052) 251-4271
	福岡支店	812	福岡市博多区古門戸3-12 やま利ビル	(092) 281-5757
	広島営業所	730	広島市竹屋町3-22 米田ビル	(0822) 41-3252
	仙台営業所	980	仙台市卸町1-6-15 卸町セントラルビル	(0222) 96-0972
	札幌支店	001	札幌市北区北7条西2丁目 常光ビル	(011) 731-1311

社 名	本社及出先機関	〒	住 所	電 話
株式会社 常 光	帯広営業所	080	帯広市東3条南10丁目 常光ビル	(0155) 24-3057
	旭川営業所	070	旭川市神楽2条4丁目 常光ビル	(0166) 61-1381
	東京技術研究所	213	川崎市高津区宇奈根字山野731	(044) 811-9211
白井松器械株式会社	本 社	540	大阪市東区森ノ宮中央1-19-16	(06) 942-4181
住友電気工業株式会社	本 部	554	大阪市此花区島屋1丁目1-3 (大阪製作所)	(06) 461-1031 (内3520)
	東京事務所	107	東京都港区元赤坂1丁目3-12 (赤坂センタービル)	(03)478-3111 (大代)
	中部支社	461	名古屋市東区東桜町1丁目1-6 (住商名古屋ビル)	(052) 963-2828
	福岡支店	812	福岡市博多区博多駅中央街8-36 (博多ビル)	(092)441-1791(代)
株式会社 セントラル科学貿易	本 社	103	東京都中央区日本橋小網町9-2 秋山産業ビル	(03) 668-1401(代)
	大阪営業所	550	大阪市西区新町1-3-12 四ツ橋セントラルビル	(06)541-7283~5
	福岡営業所	810	福岡市中央区大名1-15-38 福岡パレスビル	(092) 741-1884
第一化学薬品株式会社	本 社	103	東京都中央区日本橋3-13-5	(03) 272-0671
	東京営業所	103	東京都中央区日本橋3-13-5	(03) 272-0671
	大阪営業所	540	大阪市東区大手通2-32	(06) 941-8091
	札幌営業所	060	札幌市中央区北一条西9-3	(011) 281-2281
	福岡営業所	812	福岡市博多区博多駅南4-2-1	(092) 451-0511
立石電機株式会社	本 社	616	京都市右京区花園土堂町10	(075)463-1161(代)
	東京支社・健康機器事業部	105	東京都港区西新橋3丁目23-5 第24森ビル	(03) 436-7078
	札幌支店	060	札幌市中央区南1条東2丁目 大通バスセンタービル2号館8階	(011)271-7821(代)
	名古屋支店	450	名古屋市中村区名駅3-28-12 大名古屋ビル4階	(052)561-0621(代)
	京都支店	600	京都市下京区四条通室町東入ル函谷鉦町80 京都産業会館5階	(075)211-5491(代)
	大阪支店	541	大阪市東区北久太郎町4-68 大阪センタービル9階	(06) 253-0481(代)
	広島支店	730	広島市基町11-10 千代田生命ビル5階	(0822)28-4101(代)
	福岡支店	812	福岡市博多区博多駅前3-2-1 日本生命博多駅前ビル9階	(092) 451-5622
	本 社	101	東京都千代田区岩本町1-10-6	(03) 862-8251
中外製薬株式会社	東京第一支店	160	東京都新宿区西新宿1-19-5 第2明宝ビル	(03) 346-0211
	東京第二支店	160	東京都新宿区西新宿1-21-1 明宝ビル	(03) 346-0231
	札幌支店	060	札幌市中央区大通り西15-3	(011) 631-6311
	仙台支店	980	仙台市一番町4-7-17 小田急不動産仙台ビル	(0222) 25-8551

社 名	本社及出先機関	〒	住 所	電 話
中外製薬株式会社	名古屋支店	460	名古屋市中区丸の内3-21-20 千代田生命ビル	(052) 961-8511
	大阪支店	541	大阪市東区平野町3-6-1 平野センチュリービル	(06) 222-5533
	広島支店	733	広島市中広町2-24-5	(0822) 93-4333
	福岡支店	812	福岡市博多区博多駅南1-3-11 博多南ビル	(092) 451-8181
	高松営業所	760	高松市番町2-17-15 第2讃機ビル	(0878) 22-2871
テルモ株式会社	本 社	151	東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1	(03) 374-8111
	㈱テルモジャパン本社	151	東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1	(03) 374-8103
	〃 札幌支店	062	札幌市白石区中央三条3-6-33	(011) 812-1258
	〃 仙台支店	983	仙台市伊在字扇田1-2	(022) 88-7086
	〃 関東支店	371	前橋市大利根町2-31-1 朝日ビル	(0272) 53-1230
	〃 東京支店	151	東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1	(03) 374-8211
	〃 神奈川支店	227	横浜市緑区市ヶ尾町1050-1	(045) 973-2441
	〃 名古屋支店	465	名古屋市名東区猪高町大字上社	(052) 702-2121
	〃 大阪支店	564	大阪府摂津市千里丘6-4-2	(06) 387-4800
〃 福岡支店	816	福岡市博多区麦野3-8-6	(092) 582-1241	
東亜医用電子株式会社	本 社	652	神戸市兵庫区大開通6丁目3番19号	(078) 576-0334
	営業本部	675	加古川市野口町北野314の2	(0794) 24-1171
	札幌営業所	063	札幌市中央区北四条西18番地(富士ビル)	(011) 631-5914
	仙台営業所	980	仙台市原町小田原天還前南35番地	(022) 91-2194
	大宮営業所	330	大宮市吉敷町4丁目61番の1(高橋ビル)	(0486) 44-5533
	東京営業所	113	東京都文京区本郷3丁目3番12号	(03) 814-5046
	横浜営業所	220	横浜市西区浅間台15番6号	(045) 314-2892
	名古屋営業所	461	名古屋市東区葵町48番地の1(双栄ビル)	(052) 937-5587
	大阪営業所	532	大阪市淀川区西中島5丁目9番2号 新大阪サンアールビル東館	(06) 301-9352
福岡営業所	812	福岡市博多区山王1丁目17番17号(第3よしみビル)	(092) 411-4314	
東亜電波工業株式会社	本 社	160	東京都新宿区高田馬場1-29-10	(03) 202-0211
	狭山工場	350-13	埼玉県狭山市大字北入曾613	(0429) 57-6151
	札幌営業所	011	札幌市北区北6条西6丁目2 福徳ビル	(011) 721-9859
	仙台営業所	983	仙台市小田原弓の町5 弓の町ビル	(0222) 91-1676
	筑波営業所	300-31	茨城県新治郡桜村東岡宇天神脇489	(0298) 57-4091

社 名	本社及出光機関	〒	住 所	電 話
東 亜 電 波 工 業 株 式 会 社	名古屋営業所	460	名古屋市中区丸の内1-8-39 三信ビル	(052) 231-2291
	大阪営業所	541	大阪市東区淡路町3-6 船場ビル	(06) 202-0131
	広島営業所	730	広島市千田町3-9-25 広島工業会館内	(0822) 44-6419
	九州営業所	802	北九州市小倉北区京町3-14-17 五十鈴ビル	(093) 551-0588
株 式 会 社 東 京 計 器	本社・工場	144	東京都大田区南蒲田2-16	(03) 732-2111
	東京営業所	144	東京都品川区西五反田1-31-1 日本生命ビル	(03) 490-0821
	札幌営業所	060	札幌市中央区南一条西1-14 第2有楽ビル	(011) 281-3781
	名古屋営業所	450	名古屋市中村区名駅3丁目28-12 大名古屋ビル	(052) 561-6571
	大阪営業所	541	大阪市東区今橋2-7 神戸北浜ビル	(06) 231-6101
	広島営業所	730	広島市大手町1-2-1 東京海上ビル	(0822) 49-4661
	北九州営業所	802	北九州市小倉北区京町2-7-8 小倉ビル	(093) 531-6881
東 芝 化 学 工 業 株 式 会 社	本 社	101	東京都千代田区鍛冶町1-10-4	(03) 252-5716
	新潟工場	959-16	新潟県五泉市南本町1-2-2	(02504) 3-4111
	東京営業所	101	東京都千代田区鍛冶町1-10-4	(03) 252-5716
	新潟営業所	959-16	新潟県五泉市南本町1-2-2	(02504) 3-4111
東 芝 メ デ ィ カ ル 株 式 会 社	本 社	113	東京都文京区本郷3-26-5	(03) 815-7211
	北海道支店	060	札幌市中央区北三条西4丁目2 (日生札幌ビル)	(011) 231-9116
	東北支店	980	仙台市支倉町3-1	(0222) 62-3511
	関東支社	330	大宮市桜木町4-256 (マキノビル)	(0486) 44-4361
	東京支社	104	東京都中央区京橋1-19-8 (大野ビル)	(03) 562-0211
	中部支社	450	名古屋市中村区広小路西通1-20 (ガーデンビル)	(052) 581-9311
	関西支社	530	大阪市北区西天満5-2-18 (高橋東ビル)	(06) 362-6341
	中国支店	730	広島市紙屋町1-2-22 (第1広電ビル)	(0822) 48-2421
	四国支店	760	高松市寿町1-3-2 (高松第一生命ビル)	(0878) 51-3786
	九州支社	810	福岡市中央区渡辺通2-1-82 (電気ビル)	(092) 712-5811
長瀬産業株式会社 医療システム部	東京本社	103	東京都中央区日本橋小舟町2-3	(03)665-3174~7
	大阪本社	503	大阪市西区新町1-1-17	(06) 535-2612
	名古屋支店	406	名古屋市中区丸の内3-20-22	(052) 951-6281
	福岡支店	812	福岡市博多区店屋町4-16 土居ビル6F	(092) 281-0945

社 名	本社及出先機関	〒	住 所	電 話
株式会社 日 科 機	本 社	102	東京都千代田区一番町22-1 (一番町セントラルビル)	(03) 264-8191
	札幌支店	060	札幌市中央区大通西10-4 (南大通ビル)	(011) 271-1935
	盛岡支店	020	盛岡市北山1-5-35 (第二芳野ハイツ)	(0196) 24-5867
	仙台支店	980	仙台市上杉1-6-10 (仙台北辰ビル)	(0222) 63-0991
	名古屋支店	461	名古屋市東区代官町35-16 (第一富士ビル)	(052) 932-1971
	大阪支店	550	大阪市西区立売堀北通1-3-13 (第三富士ビル)	(06) 534-0131
	広島支店	733	広島市河原町13-1 (渡田ビル)	(0822) 94-3831
	福岡支店	812	福岡市博多区博多駅前1-3-2 (八重州博多駅前ビル)	(092) 441-8187
	目科機 ラボトリー	243	厚木市岡田字エガラ728	(0462) 24-8232
日 機 装 株 式 会 社	本 社	150	東京都渋谷区恵比寿3-43-2	(03) 442-8311
	大阪支店	541	大阪市東区大川町27	(06) 203-3491
	九州営業所	802	北九州市小倉北区堺町1-9-10	(093) 531-7036
	名古屋営業所	460	名古屋市中区丸の内3-4-10	(052) 971-1505
	広島営業所	730	広島市小町2-26	(0822) 41-5231
	仙台営業所	980	仙台市一番町2-8-18	(0222) 62-0420
	北海道営業所	060	札幌市中央区南一条東2-11	(011) 261-5561
	高松出張所	760	高松市寿町2-3-8	(0878) 22-5033
	新潟出張所	951	新潟市関屋浜松町118	(0252) 31-2752
	浜松出張所	430	浜松市神立町137-3	(0534) 63-5903
二 光 機 材 株 式 会 社	本 社	141	東京都品川区西五反田2-7-11 光洋ビル	(03) 490-6411
	大阪営業所	533	大阪市東淀川区南方1092-1	(06) 323-0218
日商メディ・サイエンス株式会社	本 社	105	東京都港区芝大門2-10-1 第一大門ビル	(03) 433-7635
	大阪営業所	550	大阪市西区江戸堀1-6-13 堀田ビル	(06) 444-0191
日 水 製 薬 株 式 会 社	本 社	170	東京都豊島区駒込2-5-11	(03) 918-8161
	東京営業所	170	東京都豊島区駒込2-5-11	(03) 917-6711
	日本橋分室	103	東京都中央区日本橋本町3-3	(03) 241-1747
	札幌出張所	060	札幌市中央区北八条西20-2-3	(011) 642-6222
	仙台営業所	980	仙台市錦町2-1-3	(0222) 22-1406
	名古屋営業所	456	名古屋市熱田区新尾頭町30	(052) 682-2818

社 名	本社及出先機関	〒	住 所	電 話
日 水 製 薬 株 式 会 社	大阪営業所	540	大阪市東区常盤町2-6	(06) 942-5661
	広島営業所	733	広島市中島町10-3	(0822) 43-2235
	福岡営業所	815	福岡市南区塩原字大坪575-1	(092) 512-1251
日本ウォーターズ リミテッド	東京本社	102	東京都千代田区紀尾井町3 秀和紀尾井町パークビル	(03) 264-8005
	大阪営業所	532	大阪市淀川区西中島7-4-21 第2進徳ビル	(06) 304-8885
日本光電工業株式会社	本社・工場	161	東京都新宿区西落合1-31-4	(03)953-1181大代表
日本商事株式会社	本社・大阪営業所	540	大阪市東区石町2丁目30番地	(06) 941-0301
	東京支店	101	東京都千代田区鍛冶町2-8-12	(03) 252-4131
	横浜駐在所	232	横浜市南区白妙町3-41	(045) 261-9649
	札幌営業所	060	札幌市中央区北4条西18-7	(011) 631-4651
	仙台営業所	980	仙台市北目町4-2	(0222) 66-4901
	名古屋営業所	460	名古屋市中区丸の内2-6-11	(052) 211-4641
	金沢営業所	920	金沢市小金町9-20 (万石ビル3階)	(0762) 52-1921
	高松営業所	760	高松市瓦町2-11-6	(0878) 31-6442
	広島営業所	730	広島市幟町11-4	(0822) 21-2954
	福岡営業所	810	福岡市中央区渡辺通3-10-5	(092) 751-5054
日本テクトロン株式会社	本 社	184	東京都小金井市中町4-13-14	(0423)84-7011(代)
	八王子工場	192	東京都八王子市中野上町8番5号	(0426) 26-7194 26-7196
	関西地区 サービスセンター	542	大阪市南区順慶町通2-38	(06) 271-5727
	九州地区 サービスセンター	810	福岡市中央区赤坂2-6-23 グリーンハイツ赤坂404号	(092) 751-0718
日本テクニコン株式会社	本 社	107	東京都港区北青山2-5-8 ハザマビルヂング	(03) 405-7311(代)
	大阪支社	541	大阪市東区安土町2-30 大阪国際ビルディング	(06) 264-7311(代)
	九州支店	812	福岡市博多区博多駅前3-27-25 第2岡部ビル	(092)471-7311(代)
	名古屋営業所	460	名古屋市中区錦2-17-30 河越ビル	(052) 231-7895
	広島営業所	730	広島市宝町1-15 宝町ビル	(0822) 49-3611
日本電子株式会社	本社・昭島製作所	196	東京都昭島市中神町1418	(0425) 43-1111
	東京営業所	100	東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビル	(03) 211-8611
	東京第二営業所	160	東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル	(03) 348-6321
	札幌営業所	001	札幌市北区北15条西4丁目 NRKビル	(011) 721-9680

社 名	本社及出先機関	〒	住 所	電 話
日 本 電 子 株 式 会 社	仙台営業所	980	仙台市大町1-1-10 第2青葉ビル	(0222) 22-3324
	筑波営業所	300	土浦市大手町9-10 住友海上火災ビル	(0298) 24-1286
	名古屋営業所	450	名古屋市中村区名駅4-4-8 第2中経ビル	(052) 581-1406
	大阪営業所	532	大阪市淀川区西中島5-14-22 リクルート新大阪ビル	(06) 304-3941
	広島営業所	730	広島市袋町3-19 広島東邦生命ビル	(0822) 48-2831
	高松営業所	760	高松市今新町7-17 第2穴吹ビル	(0878) 21-8487
	福岡営業所	812	福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル	(092) 411-2381
日 本 ト ラ ベ ノ ール 株 式 会 社	本 社	530	大阪市北区堂山町3-3 (日生梅田ビル)	(06) 315-8915
	東京支店	103	東京都中央区日本橋本町4-8 (中尾ビル)	(03) 662-1021
	福岡営業所	810	福岡市中央区大名2-8-17 (伊藤久ビル)	(092) 712-6166
	名古屋営業所	450	名古屋市中村区名駅3-23-13 (名古屋フクトクビル)	(052) 571-2458
	札幌営業所	060	札幌市中央区大通東2-3 (松村ビル2号館)	(011) 261-6622
日 本 フ リ ー ザ ー 株 式 会 社	本 社	113	東京都文京区湯島3-19-4	(03) 831-7643
株式会社 日本分光メディカル	本 社	113	東京都文京区本郷3-18-16 (岩片ビル3F)	(03) 816-4351
	大阪営業所	530	大阪市北区万才町4-12 (浪速ビル)	(06) 315-7353
	広島営業所	733	広島市中広町2-25-9 (佐々木ビル)	(0822) 93-3541
日 本 モ ニ タ ー 株 式 会 社	本 社	106	東京都港区西麻布4-16-13	(03) 499-2215
株式会社 バイオメディカル システムズ	本 社	113	東京都文京区本郷2-10-9 (富士ビル)	(03) 816-2883
	大阪センター	533	大阪市東淀川区山口町325-1 (星和地所ビル)	(06) 325-3621
	九州営業所	810	福岡市博多区中州5丁目6-20 (明治生命館三菱化成内)	(092) 291-6680
株式会社 パシフィック科学貿易	本 社	104	東京都中央区八丁堀2-3-2 小林ビル3F	(03) 553-5211
	大 阪 支 社	550	大阪市西区西本町1丁目13番38号 新興産ビル620	(06) 533-1512
日 立 製 作 所	(株)日立製作所	105	東京都港区虎ノ門1-26-5 第17森ビル	(03) 504-7855
	(株)日立メディコ	101	東京都千代田区内神田1-1-14	(03) 292-8111
	日製産業(株)	105	東京都港区虎ノ門1-26-5 第17森ビル	(03) 504-7260
	日立工機(株)	312	茨城県勝田市武田1060	(0292) 73-8111
	平沼産業(株)	310	茨城県水戸市元吉田町一里塚1739	(0292) 47-6411
	(株)堀場製作所	601	京都市南区吉祥院宮の東町2	(075) 313-8121
富 士 工 業 株 式 会 社	本 社	113	東京都文京区湯島4-1-14	(03) ₈₁₄ ⁸¹¹⁻¹⁰⁴⁸ -3621-5

社 名	本社及出先機関	〒	住 所	電 話
藤沢メディカルサプライ株式会社	本 社	541	大阪市東区道修町4丁目3番地	(06) 202-1141
	大阪営業所	541	大阪市東区道修町4丁目3番地	(06) 202-1141
	東京営業所	103	東京都中央区日本橋本町2丁目7番地	(03) 279-0871
	名古屋営業所	460	名古屋市中区丸の内2丁目1番36号	(052) 211-3401
	福岡営業所	812	福岡市博多区下川端町10番18号	(092) 281-8241
	広島営業所	730	広島市松川町3番26号	(0822) 62-0156
	仙台営業所	980	仙台市1番町1丁目1番30号	(0222) 66-1621
	札幌営業所	060	札幌市中央区大通東2丁目3 松村ビル	(011) 261-8141
フナコシ薬品株式会社	本 社	101	東京都千代田区神田駿河台2-3	(03) 293-2341
ヘキストジャパン株式会社	本 社	107	東京都港区赤坂8-10-16	(03)479-5111(大代)
	札幌営業所	060	札幌市中央区南一条西14丁目	(011)231-2211(代)
	仙台営業所	980	仙台市本町1-5-31	(0222)63-5111(代)
	新潟営業所	950	新潟市米山4-1-31	(0252)45-5561(代)
	東京営業所	107	東京都港区赤坂8-10-16	(03)479-5111(大代)
	名古屋営業所	460	名古屋市中区栄1-31-41	(052)203-1291(代)
	大阪営業所	540	大阪市東区農人橋1-6	(06) 942-1271(代)
	広島営業所	730	広島市八丁堀2-31	(0822)21-1816(代)
	福岡営業所	812	福岡市博多区奈良屋町1-1	(092)281-3161(代)
ベックマン・ジャパン株式会社	本 社	105	東京都港区西新橋2丁目21番2号 第一南桜ビル	(03) 438-1871
	大阪営業所	533	大阪市東淀川区山口町314番地 新大阪ヒカリビル	(06) 323-9311
	土浦営業所	300	茨城県土浦市文京町5番4号 阿部ビル	(0298) 24-4308
ペーリಂಗーマンハイム山之内株式会社	本 社	101	東京都千代田区神田多町2丁目9番地 神城ビル	(03) 252-6521
	東京支店	101	東京都千代田区神田多町2丁目9番地 田中ビル	(03) 252-2784
	大阪支店	541	大阪市東区平野町4-4 山之内製薬(株)大阪支店内	(06) 226-0501
	札幌営業所	060	札幌市中央区南大通西5-8 山之内製薬(株)札幌支店内	(011) 271-1134
	仙台営業所	980	仙台市大町2-2-28 山之内製薬(株)仙台支店内	(0222) 25-5111
	名古屋営業所	461	名古屋市中区泉1-6-25 山之内製薬(株)名古屋支店内	(052) 962-5111
	広島営業所	730	広島市鞆町13-6 山之内製薬(株)広島支店内	(0822) 23-1893
	福岡営業所	812	福岡市博多区奈良屋町3-1 山之内製薬(株)福岡支店内	(092) 271-5111
不二光学機械株式会社	本 社	113	東京都文京区本郷3-35-4 不二光学ビル	(03) 813-3511

社 名	本社及出先機関	〒	住 所	電 話
株式会社 ヘレナ研究所	本 社	336	埼玉県浦和市常盤9-21-19	(0488) 33-3208
	大 阪 支 社	540	大阪市東区農人橋2丁目7番地 第6松屋ビル	(06) 945-1070
堀井薬品工業株式会社	本 社	540	大阪市東区内淡路町1丁目37番地の2	(06) 942-3481
	東 京 店	112	東京都文京区後楽2丁目1番8号	(03) 814-5921
	名 古 屋 店	460	名古屋市中区千代田3丁目1番11号	(052) 331-7960
	営業所及び出張所		札幌・仙台・大宮・金沢・広島・福岡	
三菱化成工業株式会社	本 社	100	東京都千代田区丸の内二丁目5番2号	(03) 283-6789
	大 阪 支 店	541	大阪市東区伏見町五丁目1番	(06) 208-4562
	バイオメディカルシステムズ 本 社	113	東京都文京区本郷2-10-9 (富士ビル)	(03) 816-2883
	大阪センター	533	大阪市東淀川区山崎町325-1 (星和地所ビル)	(06) 325-3621
武藤化学薬品株式会社	本 社	113	東京都文京区本郷3丁目36-7	(03) 814-5511
	大阪営業所	550	大阪市西区靱本町2-2-23 (第二谷垣ビル)	(06) 443-3181
株式会社 ヤ ト ロ ン	本 社	101	東京都千代田区東神田1-11-4	(03) 862-1766
	大 阪 営 業 所	541	大阪市東区高麗橋1-22-2	(06) 202-3085
	福 岡 出 張 所	812	福岡市博多区博多駅南1-10-5	(092) 471-7188
山之内製薬株式会社	本 社	103	東京都中央区日本橋本町2-5	(03) 244-3471
株式会社 ユニフレックス	本 社	113	東京都文京区本郷2-26-3	(03) 816-1004
	東 海 地 区	435	静岡県浜松市十軒町381-1	(0534) 64-9030
	大 阪 地 区	532	大阪市淀川区西中島7-1-3	(06) 305-0775
理学電機工業株式会社	本 社	101	東京都千代田区神田駿河台町2-8 瀬川ビル	(03) 295-3062
利康商事株式会社	本 社	162	東京都新宿区西五軒町34-6	(03) 267-1211
	福 岡 営 業 所	812	福岡市博多区博多駅南3-13-17	(092) 441-0178
	大 阪 営 業 所	550	大阪市西区西長堀南通1-44	(06) 541-0125
	名古屋出張所	450	名古屋市中村区柵直町4-29	(052) 581-2491
	仙 台 出 張 所	980	仙台市木町通2丁目5-28	(0222) 74-2611
	札 幌 出 張 所	060	札幌市中央区北二条西十丁目一	(011) 241-4691

社 名	本社及出先機関	〒	住 所	電 話
和 光 純 薬 工 業 株 式 会 社	本 社	541	大阪市東区道修町3丁目10番地	(06) 203-3741
	支 店	103	東京都中央区日本橋本町4丁目7番地	(03) 270-8571
	札幌出張所	065	札幌市北区北十五条西4丁目10番地	(011) 741-5057
	仙台出張所	980	仙台市小田原6丁目8番34号	(0222) 22-3072
	名古屋出張所	465	名古屋市名東区猪高町猪子石字小坂23番8	(052) 772-0788
	広島出張所	735	広島県安芸郡府中町緑ヶ丘6番40号	(0822) 85-6381
	福岡出張所	813	福岡市東区松島3丁目8区16番	(092) 622-1005
	筑波出張所	300-21	茨城県筑波郡谷田部町大字谷田部字藤ヶ入6117-3	(02975) 5-1741

編集後記

第11回日本臨床検査自動化研究会展示目録作成に当っては今回の学会長であられる大阪大学 林助教授のご助言と、私共業務委員の協議、並に出展各社のご協力に依りこゝに発行することが出来ました。

基本的には従来の様式に準じましたが今回は展示各社の出展品の中からメインとする商品につき、主要商品紹介覧として写真入りで紹介させて頂き、内容の充実を図ったつもりです。

但し原稿の締切に間に合わなかった数社につきましては残念ながら掲載することが出来ませんでしたのでご諒承下さい。

尚この目録を、展示会終了後も有効にご利用頂くために出展会社（81社）全社の住所録も掲載させて頂きましたので、ご活用願えれば幸いです。

(1979. 9.)

展示業務委員会

昭和54年度業務委員会

KK島津製作所	(福 島 育 郎)
"	(今 西 富 夫)
国際試薬KK	(福 田 悦 磨)
藤沢メデイカルKK	(松 井 三 郎)
片山化学工業KK	(水 野 昇)
和光純薬工業KK	(泉 谷 千 代 明)
"	(岩 谷 勲)
安部商事KK	(藪 内 弘)

第11回日本臨床検査自動化研究会

EXHIBITORS' CATALOGUE

発 行：日本臨床検査自動化研究会・展示業務会

印 刷：共栄写真印刷

1979年 9月15日印刷・発行

(非売品・禁複写)

問い合わせ先：(有)春光社

〒540 大阪市東区船越町2-31(船越ビル)

T E L (06) 941-2475~6

JSCLA